令和元年度

事 業 報 告 書

《理念》

共生　協働　自律

社会福祉法人　大館市社会福祉事業団

目次

令和元年度　大館市社会福祉事業団　本部　事業報告 1

令和元年度　大館市養護老人ホーム成章園　事業報告 10

令和元年度　大館市特別養護老人ホームつくし苑　事業報告 19

令和元年度　大館市デイサービスセンター大滝　事業報告 35

令和元年度　大館市社会福祉事業団ホームヘルパーステーション事業報告 40

令和元年度　ケアプランセンターおおたき　事業報告 44

令和元年度　ケアプランセンターはぎのだい　事業報告 48

令和元年度　大館市地域包括支援センターおおたき　事業報告 51

令和元年度　大館市ケアハウスほうおう　事業報告 60

令和元年度　大館市立老人福祉センター　事業報告 71

令和元年度　大館市ふれあいセンターやまびこ　事業報告 75

令和元年度　大館市へき地保育所　事業報告 81

令和元年度　年間事業報告（二井田保育所） 82

令和元年度　年間事業報告（真中保育所） 84

令和元年度　年間事業報告（下川沿保育所） 86

令和元年度　年間事業報告（沼館保育所） 89

令和元年度　年間事業報告（花岡保育所） 91

令和元年度　年間事業報告（矢立保育所） 94

令和元年度　年間事業報告（長木保育所） 96

令和元年度　大館市社会福祉事業団　本部　事業報告

大館市から指定管理者の指定を受けて管理運営している高齢者福祉施設については、公募による譲渡の方向性が示されている。このことから平成３１年３月に策定された「大館市社会福祉事業団（福祉施設譲渡にかかる）自立化計画書」に沿って、令和元年度は大規模修繕並びに備品更新に係る大館市との協議を行い、令和５年度までの期間における大規模修繕等の実施計画案を策定することができた。また、大館市へき地保育所については指定管理の更新申請を行い、令和６年度末までの５年間の指定を受けることとなった。

経営の自立化を図るうえでの最重要課題として、高齢者福祉事業の収支の適正化を図っているが、令和元年度においてもこれまで同様に費用の節減に向けて細かな検討を重ねた。特に経費上昇の大きな要因となっている委託業務について重点的に検討し、令和３年４月から厨房業務を直営化するとの方向性を見出すことができた。

また、平成３１年４月１日に施行された「働き方改革関連法」への対応にも取り組んだ。特に、残業時間の上限規制並びに年５日以上の年次有給休暇の取得については、各事業所の取組状況を法人全体で把握しつつ、法規制が要求する水準をしっかりと超えることができた。人口減少に伴う介護人材の確保がその重要性を増す中で、職員の採用活動などの場において魅力ある職場であることの発信に努めた。さらに、キャリアパスに基づく人財育成、メンタルヘルス、また職員の健康づくりなど、職員の労働環境を改善するための支援に努めた。年度末には、ハラスメント行為防止に関する規程類の制定につなげ、安心して働くことができる環境を整えた。

令和元年６月１日には、ケアプランセンターはぎのだいを開設した。過疎地域の高齢者数の減少傾向となっていることに伴い、居宅介護支援の利用者数は漸減傾向にある中で、大館市中心部に近いところに新規事業所を開設した。今後は、市内の関係機関との連携を深め、また設置場所である上川沿地区との連携を取りながら事業を安定化させていきたい。

令和２年２月以降、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、法人全体で感染予防対策に努めた。今後も予断を許さない状況であるが、「持ち込まない・持ち出さない・拡げない」という感染予防対策の原則に立ち返り、高齢者及び児童の健康を守る。

令和３年４月には介護報酬の改定が予定されている。制度改正の動向をにらみながら、職員が安心して働くことができるよう、経営の安定化並びに労働環境の改善に努める。また、利用する高齢者及び児童、並びに家族や地域住民が安心してサービスを利用できるよう、役職員が一丸となって取り組んでいくことを誓い、事業報告とする。

令和２年３月３１日

社会福祉法人大館市社会福祉事業団
理事長　長岐　利堅

1.　部会・委員会活動報告

□　人財育成委員会

令和元年度の品質目標は「三つの階層別のグループスーパービジョンの実施」であった。職員の育成に関して、法人を横断的に上司と部下そして同僚との支え合いの仕組みを持つことを目的とし、キャリアパスにおける「ステップ５・指導職・監督職」の階層でスーパービジョンを実施した。研修参加者からは「引き続き研修を受けたい」との声も聞かれ、目的の理解は得られたようだが、「スーパーバイザーの育成」と「スーパービジョン実施後の状況確認」という課題があがった。引き続き、令和２年度の課題として取り組む。

人財育成を目的として運用している力量評価については、「力量評価表」に基づく運用を行っているが、令和元年度は「一般職」「指導職」に加え「監督職」用の力量評価表を新たに制定して実施した。令和２年度は、この新たな「力量評価表」の評価を行い、必要に応じ修正を加える。

研修実績

階　層	実施月	テーマ
ステップ０（経験０～１年）	4～3	新採用職員研修
ステップ１（経験１～２年）	6	コミュニケーション
	１１	サービス管理とリスク管理Ⅰ
ステップ２（経験２～３年）	7	グループスーパービジョン
	8	介護保険制度の理解
	１２	サービス管理とリスク管理Ⅱ
ステップ３（経験４～５年）	6	介護（看護）過程の理解
	8	リーダーシップの理解
ステップ４（６年～）	9	原因分析と再発防止
ステップ５（指導職候補）	1	グループスーパービジョン
指導職（副主任）	１１	グループスーパービジョン
監督職（主任・係長）	１２	グループスーパービジョン
	1	外部研修の復命研修「福祉職員キャリアパス対応生涯研修過程（チームリーダーコース）」
ステップ１～監督職	4	品質目標活動報告会（高齢者事業所のみ）

□　衛生委員会

衛生委員会は、職員の健康の維持増進を図り、また働きやすい職場環境の整備について取り組んできた。

「健康増進法」の改正に伴う「受動喫煙防止対策」については、平成３０年度より建物内禁煙としてきたが、秋田県受動喫煙防止条例にさきがけ令和２年１月から敷地内禁煙とした。なお、全職員にアンケートを行い、喫煙者、非喫煙者それぞれの意向を把握した。このアンケート調査では、喫煙者の禁煙に対する関心が薄いことも分かり、今後も禁煙者を増やすための普及啓発等について継続して取り組む。

「事業団健康マイレージ（健康づくり支援策）」は平成２９年度から取り組んできたが、令和元年度はこの活動への参加率の向上を図るため、付与ポイントや対象となる活動内容の見直しを行い、職員へのアピール活動に努めた。その結果、参加状況は予想を上回り、多くの職員がポイントを達成することができた。この活動は、令和元年度にて終了としたが、今後も、職員の健康づくりを支援していく。

「おらほの腰痛予防活動（腰痛予防対策）」は、事業所や部門ごとに計画を立てて取り組んできた。その取り組み状況としては、継続的な取り組みが定着した事業所がある中で、活動が定着できなかった事業所も見られている。今後は、取組が定着できていない事業所へのアプローチが課題となる。

「ハラスメント対策」については、「労働施策の総合的な推進並びに労働者の雇用の安定及び職業生活の充実等に関する法律（通称：労働施策総合推進法）」の改正に対応し、法人内の仕組みを整備した。まず、法人内のハラスメントに関する実態をアンケート調査により把握し、その回答内容から取り組むべき課題も見えた。今後は整備した仕組みと調査から見えた課題をつなぎ合わせ、ハラスメントのない職場、働きやすい職場づくりを目指して活動を継続していく。

□　感染症予防対策委員会

令和元年度は、「法人内において感染症情報を迅速に把握し共有する」こと、そして「利用者や地域住民など対象に応じた感染症予防の情報を発信する」活動を行った。

感染症情報を迅速に把握する取り組みは、PC ネットワークにおける共有フォルダを活用し、全事業所の感染症の発生状況の把握と、予防と拡大防止に向けた情報発信を行った。結果、タイムリーに情報の共有ができ、各事業所の対策開始時期にばらつきがなくなり、法人内での統一された動きにつながった。

利用者、地域住民などを対象にした感染症予防の情報発信する取り組みは、施設内への感染症持ち込みを予防するために、利用者とその家族を対象に行った。ポスター掲示、ご家族宛の手紙、ホームページを活用した情報発信に取り組んだ。1 月からは新型コロナウイルス感染症の予防と拡大防止に関する検討を行い、厚生労働省等の情報を収集し、職員、委託業者、外部からの入館者に向けた感染拡大防止のための情報を発信した。感染症

予防に対する情報は日々更新されるため、迅速に情報提供できるよう継続して取り組む。令和２年度も広報誌など、情報発信に使えるツールを用いて感染予防に向け啓発を行う。

そのほか、職員の感染症り患時の出勤停止期間の見直しなど、新しい情報に合わせた見直しも行うことができた。

□　災害・防犯委員会

災害部門では、これまで未実施であったへき地保育所三か所への駆けつけ訓練を実施し、有事の際の連携を確認することができた。今後は休日の有事を想定した、土日日直当番職員対象の駆けつけ訓練を実施していきたい。

防犯部門では、当初防犯ガイドラインの整備を目指していたが、策定途中において、不審者対応時の職員間の合言葉や伝達サインを法人として統一する必要性が生じたことから、年度途中で目標を変更し、法人として統一した不審者対応が出来るよう防犯マニュアルを整備した。今後は法人で整備した防犯マニュアルを職員に周知しながら各事業所での防犯研修の実施を目指し、新年度は管理職を対象とした防犯訓練講習会を開催して、各事業所が防犯に関する共通認識を持てるように努めていきたい。

□　広報委員会

事業団広報誌「ほほえみ」と、事業団職員向け広報誌「なごみ」は、それぞれ年２回の発行することで、外部に向けての情報発信と職員間のコミュニケーションを図る手段となっている。

特に、「ほほえみ」は、外部に向けての情報発信手段であることから、誰に対し情報発信していくのかを明確にし、配布先の見直しの検討も必要である。

「事業団ホームページの閲覧状況を把握し、コンテンツを充実させる」を重点目標とし、毎月のホームページ閲覧数、コンテンツ別の閲覧状況の確認を行った結果、コンテンツが更新されるとページ別アクセスランキングも連動して変化することが見て取れ、定期的なホームページの更新と情報発信が大切であることが分かったが、コンテンツを充実させるまでには至らなかった。

令和２年度は、法人の情報発信の重要な役割を担うホームページのレイアウトならびにデザインの変更を行いながら、引続きコンテンツの充実を図ることで、ホームページ閲覧者数を令和元年度比で 10%以上アップさせたい。

2.　役員会の状況

(1) 理事会・評議員会

開催年月日	会場	出席数	付 議 事 項 等	顛末
令和元年 5 月 29 日	つくし苑	理事　7 名	・定款の一部を改正する定款案	承認

開催年月日	会場	出席数	付 議 事 項 等	顛末
定時理事会	会議室	監事　3 名	・就業規則の一部を改正する規則案 ・旅費規則の一部を改正する規則案 ・平成 30 年度事業報告書 ・平成 30 年度決算報告書 (監事監査報告) ・2019 年度第一次資金収支補正予算案 ・令和元年度職員採用計画案 ・定時評議員会の招集案 ・法人役員候補者の選任案	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認
令和元年 6 月 12 日 定時評議員会	つくし苑 会議室	評議員 8 名	・定款の一部を改正する定款案 ・平成 30 年度事業報告書 ・平成 30 年度決算報告書 （監事監査報告） ・社会福祉充実残額の算定結果案 ・法人役員の選任案	承認 承認 承認 承認 承認
令和元年 6 月 12 日 理事会	つくし苑 会議室	理事　7 名 監事　3 名	・理事長及び副理事長の選任案	承認
令和元年 11 月 20 日 理事会	つくし苑 会議室	理事　7 名 監事　3 名	・職員就業規則及び給与規則の一部を改正する規則案 ・2019 年度第二次資金収支補正予算案	承認 承認
令和 2 年 3 月 25 日 定時理事会	つくし苑 会議室	理事　7 名 監事　3 名	・職員就業規則の一部を改正する規則案 ・ハラスメント行為の防止に関する規程の制定案 ・2019 年度第三次資金収支補正予算案 ・令和 2 年度事業計画書案 ・令和 2 年度資金収支予算案 ・厨房業務直営化への転換案 ・令和 2 年度職員採用計画案 ・事業団福祉サービス苦情解決第三者委員の選任案 ・施設長及び管理者の選任案	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認

(2) 監事・監査会

開催年月日	会場	出席数	付 議 事 項 等	顛末

令和元年 5 月 15 日	つくし苑 会議室	3 名	・平成 30 年度事業の執行及び収支決算について	承認

3.　職員の状況

令和２年３月31日現在　※兼務委託は実数に含まず

施設名	本部	成章園（特定含）	つくし苑（短期含）	ほうおう（特定含）	デイサービス	地域包括支援	居宅介護支援事業	事業団ヘルパー	やまびこ・森のおうち	へき地保育所	老人福祉センター	合計
定員		80	120	50	35							
事業開始日	H10.1.1	H10.4.1	H11.2.1	H11.2.1	H11.4.12	H11.4.1	H12.4.1	H11.4.2	H11.4.1	H22.4.1	H15.4.1	
事務局長 施設長・管理者	兼１	1	1	1	兼１	兼１	兼１	兼１	兼１	1	兼１	4
主幹・次長 施設長補佐	兼４	1	2	1	1		兼１					5
事業責任者					兼１	兼１	兼１	兼１				0
医師		嘱１	嘱１						嘱２	嘱10		嘱14
事務員	1 兼２	2	2 兼１	1	兼１	兼１	兼１	兼１	兼１	兼１	兼１	6
パート事務員			2						兼１	1		3
生活相談員 社会福祉士		2 兼１	4	1 兼１	3	2						12
介護支援専門員 （計画作成担当）			兼３	兼１		兼３	7 兼１					7
看護職員		2	7	1	2	1						13
機能訓練指導員		1	1	兼１	1 兼２							3
介護職員		20	50	7 兼１	8 兼２							85
パート介護員 （介護補助）		2	2									4
サービス提供 責任者								3				3
ヘルパー								3				3
登録ヘルパー								1				1
管理栄養士		1	1	1								3
調理員		委託	委託	委託	委託							0

施設名	本部	成章園（特定含）	つくし苑（短期含）	ほうおう（特定含）	デイサービス	地域包括支援	居宅介護支援事業	事業団ヘルパー	やまびこ・森のおうち	へき地保育所	老人福祉センター	合計
定員		80	120	50	35							
事業開始日	H10.1.1	H10.4.1	H11.2.1	H11.2.1	H11.4.12	H11.4.1	H12.4.1	H11.4.2	H11.4.1	H22.4.1	H15.4.1	
技能員			2 兼 1						兼 1	1		3
パート技能員・配達員・運転員			2	2	3							7
保育士									3 兼 2	33		36
保育補助 (パート)										常勤 1 ・24		25
児童支援員									2 兼 2			2
支援員補助									1			1
合　　計	1	32	76	15	18	3	7	7	6	61	0	226
うち産休・育休・病休	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	4
※参考 合計（前年度末）	0	31	81	14	18	4	8	8	6	58	0	228
増減	1	1	-5	1	0	-1	-1	-1	0	3	0	-2

	H28.3.31		H29.3.31		H30.3.31		H31.3.31		R2.3.31	
正　職　員	131		139		150		152		158	
準　職　員	30		29		30		27		21	
臨時職員 （パート再掲）	74	(36)	62	(42)	52	(40)	49	(38)	47	(39)
小　　計	235	(36)	230	(42)	232	(40)	228	(38)	226	(39)
嘱託職員 （嘱託医再掲）	18	(14)	16	(14)	19	(14)	14	(14)	14	(14)
合　　計	253	(50)	246	(56)	251	(54)	242	(52)	240	(53)

4.　苦情・事故の状況

項　目 ＼ 事業所名	本部事務局	成章園	つくし苑	ほうおう	デイサービス	地域包括支援	居宅介護支援	事業団ヘルパー	やまびこ・森うち	へき地保育所	老福センター	合計	前年度実績	前年差
苦情・相談・要望	0	7	11	5	7	0	3	4	0	2	14	**53**	57	-4
利用者への対応	0	1	10	4	7	0	2	1	0	1	2	**28**	30	-2
家族等への対応	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	**3**	6	-3
利用者間トラブル	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	**2**	2	0
制度・設備・環境	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	10	**11**	10	1
その他	0	3	0	1	0	0	0	3	0	0	2	**9**	9	0
（申出人再掲）														
本　人	0	6	2	3	1	0	0	1	0	0	14	**27**	29	-2
家　族	0	1	9	2	6	0	3	2	0	2	0	**25**	27	-2
その他	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	**1**	1	0
事故・怪我	0	19	69	13	6	0	0	0	2	52	2	**163**	202	-39
骨　折	0	3	5	8	0	0	0	0	0	0	0	**16**	12	4
骨折外の大怪我	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	**4**	6	-2
軽　傷	0	10	47	5	6	0	0	0	2	48	0	**118**	129	-11
その他	0	5	14	0	0	0	0	0	0	4	2	**25**	55	-30
（原因別再掲）														
転倒・衝突	0	8	17	11	4	0	0	0	1	34	0	**75**	67	8
転落・ずり落ち	0	4	3	0	1	0	0	0	0	2	0	**10**	17	-7
誤嚥・異食	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	**4**	5	-1
その他	0	5	49	2	1	0	0	0	1	14	2	**74**	113	-39
【介護ミス※再掲】	0	5	36	1	6	0	0	0	0	0	0	**40**	55	-15
ヒヤリハット	0	58	224	59	14	0	0	3	0	9	0	**367**	392	-25
不適合サービス	1	37	179	12	16	9	9	7	0	0	0	**270**	254	16
合　　計	**1**	**121**	**483**	**89**	**43**	**9**	**12**	**14**	**2**	**63**	**16**	**853**	905	-52
前年度実績	0	91	511	121	47	11	14	18	0	78	14	905		
前年　差	1	30	-28	-32	-4	-2	-2	-4	2	-15	2	-52		

（参考）

是正処置数	1	8	84	13	1	1	1	2	0	0	0	**111**	98	13

令和元年度　大館市養護老人ホーム成章園　事業報告

□　大館市養護老人ホーム成章園

少子高齢化や地域社会などの影響を受け、高齢者を取り巻く環境は変化しており、成章園の利用者についても、その状況は多様化してきている。

利用者の入所受入れについて、適時適切なタイミングで入所が可能となるよう大館市への働きかけにより、これまで年１回であった入所判定委員会は、次年度以降年２回へと増回されることとなった。

施設生活においては、個人の尊厳を守り、思いに寄り添ったケアを実践するために、利用者を取り巻く社会や生活背景を理解し、そして、施設内の様々な活動を通じて、利用者とコミュニケーションを図るよう努めた。

このような関わりにより、利用者が自身の生活や将来について自ら考え、また、施設行事や環境整備などについては、利用者が主体的に意見を出し合い活動することができた。

令和元年度は新型コロナウイルスの影響により、利用者の生活にも様々な制限が生じ、生活のしづらさを抱えたまま年度を超すに至った。

引き続き、利用者一人ひとりの理解に努め、自己決定支援や生活のしやすさを考えサービス提供に臨んでいきたい。

□　成章園一般型（介護予防）特定施設

成章園では平成３０年１０月、「一般型特定施設」へ転換し、個々のニーズに応じたケアを提供してきた。

サービス計画作成にあたっては、利用者の自立と生きがいある生活を目指した最良のサービスに繋げるため、会議の場に利用者参加を基本とし、家族や施設専門職と情報を共有し支援内容を検討した。

経営安定化への対策としては、空床期間の短縮を図ることに努めた。

成章園では、高齢化に伴い重度の要介護者も増加している。令和元年度は、特別養護老人ホームへ移設となった利用者が４名おり、利用者の重度化への対応と事業運営のバランスを図ることは今後の課題と考える。

職員が一丸となり、経営の安定化と、そして個々の利用者の自立支援に力を入れていくことを誓い、事業報告とする。

令和２年３月３１日

大館市養護老人ホーム成章園
施設長　成田　真紀子

1.　部門別事業報告

【相談部門】

成章園の利用者については、身元引受人が不在である場合や親族との関係が希薄となっている場合が増加傾向にあり、適切な医療が受けられない、心身機能の低下等により成章園での生活が難しくなった際の移設がスムーズに行えないなどの課題が生じている。

このような背景から、令和元年度は『身元引受人不在者等の対応手順について整備する』ことを目標として取り組んだ。

措置機関である大館市の担当者と協議しながら手順を整えた結果、利用者の意向が明確となり、また現状と今後の対応について整理することができた。

【支援部門】

現状の生活支援上の課題を洗い出した結果、次の 5 点となった。

①　個別リハビリの効果、変更・追加の周知

②　寝具類や衣替えを含めた環境の整備

③　自由風呂の在り方、入浴できていない方へのアプローチ

④　介護部門内の情報周知・共有の在り方

⑤　個別外出、生きがい、生活のメリハリ

令和元年度は①の個別リハビリの効果、変更・追加の周知に特化して取り組んだ。リハビリ内容のエビデンス、またリハビリ内容の変更や追加に関しても随時把握できるよう仕組みを整えた。今後も利用者の自立した生活を目指し、機能維持、回復に努めたい。

【看護部門】

令和元年度は、利用者の健康管理の一環として血圧の自己測定を働きかけてきた。これまでは、週 2 回の定期血圧測定を殆どの利用者に対して看護師が行ってきたが、自己測定可能と思われる利用者にとっては自らの健康状態を把握する良い機会であり、また自立支援の側面からも有意義なものと考えた。

ナースカンファレンスにて自己測定の対象者を選出し、同意を得て測定方法を説明後、週 2 回の定期血圧測定日に合わせて開始した。また、5 月には利用者対象の健康教室で、血圧をテーマに研修を行った。

活動前は、自動血圧計で自己測定をしている利用者は 5 名程度であった。途中 ADL の低下や、自動血圧計では値が高く出てしまうなどの理由で断念した利用者もいたが、新規に入所した利用者は全員自己測定が可能であり、現在は 22 名の利用者が自己測定している。

値が高い場合やまた低めに出た時には、利用者の方から看護師に相談するなど血圧の変動に気をつけるようになった方もおり、以前に比べて自身の血圧に気をつける利用者が増えている。

今後も自己測定を通して、利用者ご自身による健康管理を継続していきたい。

【栄養部門】

平成３０年度より取得している口腔衛生管理体制加算については、様式・書類に不備があった為、以下の書類について修正を加えた。

「口腔機能維持管理にかかわる助言内容」「口腔衛生管理体制加算フローチャート」「施設口腔ケアマネジメント計画」を栄養委員会で周知し、活用できている。

歯科衛生士からの助言を把握できるシステムとして、ケース記録への入力・栄養委員会での検討内容とし、各部門への周知を徹底した。

食事形態を見直し、極刻みを廃止し軟菜食の形態を新たに開始した。極刻み食は口腔内で食塊を形成しづらく、誤嚥しやすく危険なため、義歯使用のない無歯の利用者 5 人から開始した。現在は 15 人に提供し喫食状況を確認しており、個々に合わせた安全な食事を提供できるよう今後も継続していく。「食事マニュアル」についても現状に合わせて改定した。

食事環境を改善するため、食事テーブルとイスの更新を行い、食堂の印象は大きく変わった。椅子は肘掛付きとなり立ち座りしやすく、座面の高さも高齢者向けの物を選定し、利用者に応じて高さの調節も可能となった。結果として、安全な食事提供の為の見守りや食事介助等の状況に合わせたテーブル配置が可能となった。

【事務部門】

事務部門では、事務が管理している施設内のランニングコストについて、その内容を精査しながら適宜見直しを図るため、まずは園内に設置されているコピー機の事務関連経費についてコスト削減と業務効率化を両立させられるよう、以下の実施事項を掲げ活動を展開した。

① 回覧文書等の電子化や、複数枚コピー・プリントアウトの両面印刷や集約印刷の推奨

② コピー・プリントアウト使用枚数及び使用コストの推移を管理しながら、前年度実績を上回らないように努める。

その結果、今年度の園内コピー機のコピー・プリントアウト総使用枚数実績を、前年度対比で約４,０００枚削減することが出来た。

今後もコピー機を含め事務が管理している施設内のランニングコストについては、引き続きその内容を精査しながら、コスト削減と業務効率化を両立させられるように努めていきたい。

2. 利用者状況報告

集計期間　平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日

集計日　　令和 2 年 3 月 31 日現在

(1) 年齢別・性別の状況（単位：人）

年齢／性別	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	計
男	0	0	1	2	4	2	1	0	0	10
女	0	1	3	5	13	1 1	12	10	0	55
計	0	1	4	7	17	13	13	10	0	65
平均男（81.7）　女（86.9）　全体（86.1）　最高（99）　最低（68）										

(2) 在所期間の状況（単位：人）

期間／性別	1 年未満	1 年以上 3 年未満	3 年以上 5 年未満	5 年以上 10 年未満	10 年以上 15 年未満	15 年以上 20 年未満	20 年以上 25 年未満	25 年以上	計
男	1	4	1	2	2	0	0	0	10
女	8	17	8	13	4	5	0	0	55
計	9	21	9	15	6	5	0	0	65
平均　男（4 年 9 月）、女（5 年 3 月））、全体　（5 年 2 月）、　最高　男（12 年 11 月）、女（19 年 8 月）									

(3) 入退所の状況（単位：人）

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
新規入所者	男	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	女	0	0	0	1	0	1	0	1	1	1	2	1	8
退所者	男	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	女	0	1	1	2	0	1	2	2	0	1	0	1	11
（死亡者）		0	0	0	2	0	0	1	1	0	1	0	1	6

(4) 介護度別の状況（単位：人）

区分	未認定	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	支援 1	支援 2	事業対象	計
男	4	1	1	2	0	1	0	0	1	10
女	24	4	7	7	9	0	0	1	3	55
計	28	5	8	9	9	1	0	1	4	65

(5) 短期宿泊事業　利用状況（単位：日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女	7	0	0	0	0	0	0	10	31	31	19	0	79
計	7	0	0	0	0	0	0	10	31	31	19	0	98

(6) 在所延べ人数（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
成章園	1,147	1,156	1,046	1,105	1,073	1,028	1,020	963	1,043	1,031	1,006	1,107	12,725
特　定	900	930	896	857	877	881	900	876	855	908	836	877	10,593
計	2,047	2,086	1,942	1,962	1,950	1,909	1,920	1,839	1,898	1,939	1,842	1,984	23,318

3.　事業実績管理関係

月日	管理関係	月日	行事関係
4. 1 4.11 4.24 4.24 4.24 4.25	辞令交付式・仕事始め式(つくし苑) グリストラップ蓋取手交換修理 グリストラップ汲取り 定期清掃（リノリウム床） 大型洗濯機漏水修理 浄化槽合併処理施設保守点検	4.1 4.11 4.14 4.18 4.18～25 4.18.22.25 4.22 4.23	体重測定 福寿会 ミュージックケア 市長・市議会議員不在者投票 お花見散歩 お花見ドライブ 歯科衛生士訪問 定例会
5.1 5.11 5.15 5.20 5.23 5.28 5.29 5.30 5.31	グリストラップ蓋修理 あさがお通り漏水パネルヒーター撤去 監事監査 大浴場・中浴場の手すり修理 ねずみ・衛生害虫防除作業 グリストラップ汲取り 理事会 定期清掃（リノリウム床） 浄化槽合併処理施設保守点検	5.3 5.5.11.19.25 5.24 5.25 5.25 5.27	体重測定 喫茶 歯科衛生士訪問 定例会 健康教室 鍋っこ昼食会
6.3 6.7 6.7 6.10 6.12 6.12 6.21 6.24	大浴場・中浴場浴室内カビ除去洗浄 浄化槽法定検査 ガス遮断装置修理 大浴場・中浴場浴室換気扇修理 理事会 評議員会 浄化槽合併処理施設保守点検 貯水槽清掃	6.3 6.5.11.19.25 6.13 6.24 6.25 6.25 6.27	体重測定 喫茶 福寿会 歯科衛生士訪問 定例会 栄養教室 初夏のバイキング

月日	管理関係	月日	行事関係
6.25 6.27	グリストラップ汲取り 定期清掃（リノリウム床）		
7.1～2 7.4 7.4 7.4 7.17～21 7.24 7.25 7.25 7.30	法人職員健康診断 貯湯槽内清掃作業 大館市災害支援ネットワーク避難訓練 地下タンク等定期点検 ガラスクリーニング、網戸清掃、床ワックス清掃 厨房定期点検保守整備 定期清掃（リノリウム床） 浄化槽合併処理設備保守点検 グリストラップ汲取	7.1 7.3.9.17.31 7.6 7.11 7.16 7.22 7.25 7.29 7.30 7.30	体重測定 喫茶 ミュージックケア 参議院通常選挙不在者投票 買物ツアー 避難訓練 にぎやか音楽会 歯科衛生士訪問 定例会 健康教室
8.24 8.27 8.27 8.28 8.29 8.22～30	消防用設備等点検 グリストラップ汲み取り 浄化槽合併処理施設保守点検 建築物・電気設備等点検 定期清掃（リノリウム床） 外部大谷石ブロック塀地震対策工事	8.1 8.14.21.27 8.5 8.8 8.12 8.20 8.22 8.26 8.27 8.29	福寿会 喫茶 体重測定 成章園夏祭り 買物ツアー 二十日盆の法要 ミュージックケア 歯科衛生士訪問 定例会 桜田衣料販売会
9.3 9.16～27 9.24～28 9.26	電気設備点検 誘導灯交換工事 厨房換気扇工事 定期清掃（リノリウム床）	9.2 9.3 9.4.18 9.8 9.18 9.27 9.28 9.30	体重測定 敬老会 喫茶 買物ツアー 念仏数珠回し 定例会 歯科衛生士訪問 利用者健康診断
10.25 10.28 10.29 10.31	浄化槽合併処理施設保守点検 館内排水配管洗浄 グリストラップ汲み取り 定期清掃（リノリウム床）	10.2.9.16.30 10.3 10.7 10.9 10.10.17.24 10.21 10.25 10.26 10.30 10.31	喫茶 ミュージックケア 体重測定 福寿会 外出レク (回転寿司、買物、紅葉鑑賞) おやつ作り 定例会 大館男声合唱団演奏会 歯科衛生士訪問 お楽しみ昼食会

月日	管理関係	月日	行事関係
11.6 11.20 11.20 11.24 11.24 11.24～29 11.27 11.28 11.29	入所判定委員会 レジオネラ属菌検査（大浴室・中浴室） 臨時理事会 浄化槽合併処理施設保守点検 定期清掃（リノリウム床） 特別清掃 電気設備点検 苦情第三者委員報告会 厨房ねずみ害虫駆除作業	11.5.12.20.26 11.4 11.10 11.10 11.12 11.25 11.26 11.26	喫茶 体重測定 避難訓練 ミュージックケア インフルエンザ予防接種 歯科衛生士訪問 定例会 栄養教室
12.2.3 12.9.12 12.17 12.20 12.23 12.26 12.27 12.30	特別清掃 ボイラー室ばい煙濃度測定検査 37 号室ストーブ修理 浄化槽合併処理施設保守点検 大浴室洗い場照明器具交換工事 定期清掃（リノリウム床） 仕事納め式 浄化槽・原水槽フロートスイッチ取替工事	12.4.18.24 12.2 12.9 12.12 12.23 12.25 12.26	喫茶 体重測定 おやつ作り 福寿会 歯科衛生士訪問 クリスマスバイキング 定例会
1.14 1.14 1.20 1.21 1.21 1.27 1.28 1.30	ボイラー室有圧換気扇取替修繕 ３６.50 号室 FF ストーブ修理 大浴室洗場照明器具修繕工事 居住棟換気扇清掃・管理棟空調設備清掃 管理棟・居住棟換気扇清掃、エアコン・フィルター清掃 浄化槽合併処理施設保守点検 グリストラップ汲み取り 定期清掃（リノリウム床）	１.8.15.28 1.6 1.13 1.20 1.27	喫茶 体重測定 レクリエーション 新年会 歯科衛生士訪問
2.14 2.21 2.22 2.24 2.25 2.27	ボイラー室換気扇修理 全自動洗濯機購入 消防設備等点検 浄化槽合併処理施設保守点検 グリストラップ汲み取り 定期清掃（リノリウム床）	2.3 2.4.12.19.26 2.5 2.6 2.16 2.17 2.25	節分豆まき 喫茶 体重測定 福寿会 ミュージックケア 歯科衛生士訪問 定例会
3.4 3.4 3.7 3.16 3.17 3.18 3.18	浄化槽清掃 あじさい通り西廊下 18 号室前のパネルヒーター修理 厨房混合栓漏水修理 入浴リフト修理 50 号室石油暖房機修理 汚物処理パネルヒーター修理 正面玄関誘導灯交換工事	3.2 ３.4.11.18.25 3.9 3.18 3.23 3.31	ひな祭り 喫茶 体重測定 念仏数珠廻し 歯科衛生士訪問 定例会

月日	管理関係	月日	行事関係
3.19 3.20 3.23 3.26 3.30 3.31	園内手洗い排水溝清掃作業 排水清掃 浄化槽合併処理施設保守点検 定期清掃（リノリウム床） 食堂ストーブ修理 グリストラップ汲取り		

4.　研修実施状況

（1）内部研修

月　日	研修内容	対　象	担当職員
6.27	個浴研修	介護員	入浴委員会 虻川寛昭
7.10.30	感染症対策研修	全職員	感染症対策委員会
7.23、8.27	救命研修	全職員	主任看護師
8.22、29	介護技術研修	介護員	岩谷明美 小林諒磨
8.26	身体拘束①	全職員	身体拘束委員会
9.17、24	排泄用品説明会	介護員	白十字株式会社
10.8	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程チームリーダーコース復命研修	武廣眞貴子、山内和市 町井美輝子、石田夕子	特養つくし苑 高橋介護員
11.18	入浴技術研修	介護員	入浴委員会
12.24	感染症対策研修	全職員	感染症委員会
1.30～31	身体拘束②	全職員	身体拘束委員会

（2）外部研修

番号	期　間	研 修 名	場　所	参 加 職 員
1	6.20	秋田県栄養士会県北地区研修会	北秋田市	石田夕子
2	6.30	介護技術向上セミナー	弘前市	岩谷明美　小林諒磨
3	7.7、8.10	第一種衛生管理者受講準備講習	秋田市	畠山美香
4	8.27	特定給食施設等関係者研修会	北秋田市	石田夕子
5	9.12	職場におけるメンタルヘルス対策等説明会	大館市	畠山美香
6	9.17	施設給食担当職員研修	秋田市	石田夕子
7	9.30	平成 31 年度 OJT リーダー研修	秋田市	乳井進一郎

番号	期　間	研 修 名	場　所	参 加 職 員
8	10.16～17	県北地区老人福祉施設・在宅・包括研修会	大館市	虻川寛昭　伊藤みさと 畠山美香
9	10.23	秋田労災病院　他施設合同研修会	大館市	畠山美香
１０	10.28	食中毒予防セミナー	大館市	石田夕子
１１	10.28～29	キャリアパス対応生涯研修課程　管理職コース	秋田市	畠山美香
１２	10.30～31	養護老人ホーム合同職員研修会	秋田市	平澤幸子　菊沢美華
１３	11.5	養護・軽費老人ホーム・ケアハウス研修会	秋田市	児玉朋子
１４	11.6	県北地区老人福祉施設連絡協議会施設長研修	大館市	成田真紀子　畠山美香
１５	11.7	口腔外科領域における感染対応	大館市	武廣眞貴子 小松安優美
１６	11.9	生涯教育カリキュラム・日本人の食事摂取基準（2020 年度版）	秋田市	石田夕子
１７	12.8	最後まで口から食べる県　秋田実技セミナー	秋田市	畠山則子
１８	12.10～11	平成 31 年度課題別研修	秋田市	岩谷明美
１９	12.16～17	安全衛生推進者養成講習	盛岡市	山内和市

令和元年度　大館市特別養護老人ホームつくし苑　事業報告

つくし苑では、たん吸引や経管栄養、また看取りケアへの取り組みなど、医療的ケアに係る比重が年々増してきている。平均要介護度は 4.14 と、ここ数年低下傾向にはあるものの、利用者の重度化への対応は必須であり、多職種での連携を深め対応している。

長時間の拘束による夜勤職員の労働負荷については、8 時間夜勤を含む三交替制の検討を行ってきた。これについては、平成３０年度に一度は議論が中断したものの、その後交替勤務可能な職員数を確保するなどし、令和２年１月からの三交替制導入を実現することができた。職員の労働環境の改善を図ることを目的とした体制変更であったが、勤務時間の変更に当初は対応できない職員もおり、仕事と私生活とのバランスをとるのに苦慮した職員も見られフォローしてきた。現時点では少しずつ慣れてきているようだが、今後も職員とコミュニケーションを図りながら対応する。

感染症対策も施設の重要な取り組みとなっており、施設内における感染予防の対策の検討並びに周知徹底を図った。令和元年度においては、インフルエンザや集団風邪などの、施設内感染の拡大は見られなかった。しかし、今年に入って新型コロナウイルス感染症の出現により、利用者や職員に掛かる負担や不安は増大している。つくし苑では、標準予防策（スタンダードプリコーション）により、感染対策を実践しているが、最新の情報や地域の現状を踏まえ、より慎重に注意深く感染症と向き合っていく。

委員会活動や施設内研修にも力を入れ、特に認知症推進委員会では、認知症介護実践者研修修了者を増やし、認知症ケアを現場に推進していった。また、施設内研修では、身体拘束等適正化委員会による研修で、実際の援助場面の事例から身体拘束の捉え方を学ぶ機会を設けた。

安定的な収入確保のため、ベッドコントロールの手順を整理し取り組んだ。これにより令和元年度はこれまでに比べ安定したベッド稼働率を残した。また、経費節減を図るため、業務内容の見直し並びに職員の配置の見直し、また委託業務の見直しに係る検討を重ねた。

つくし苑は、経営の安定化や労働環境の改善、またサービス内容の見直し等、検討を要す課題は多い。このような状況において、施設が目指す方向性に対し職員が一丸となって理念及び方針に沿った経営を行うことを誓い、事業報告とする。

令和 2 年 3 月 31 日

大館市特別養護老人ホームつくし苑
施設長　鎌田　俊

1.　部門別報告

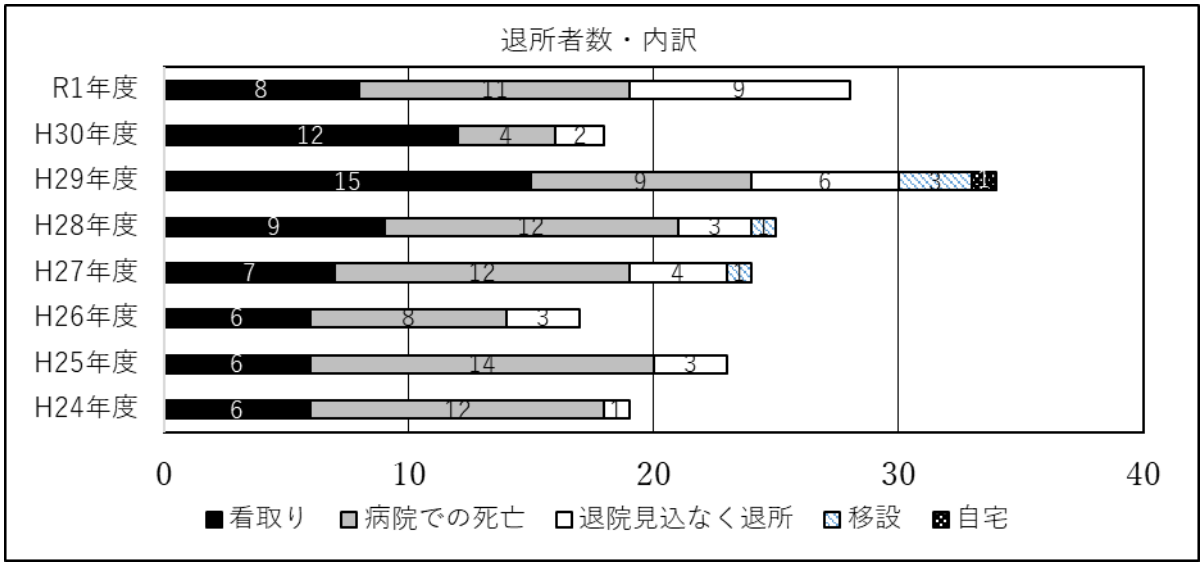
【相談部門】

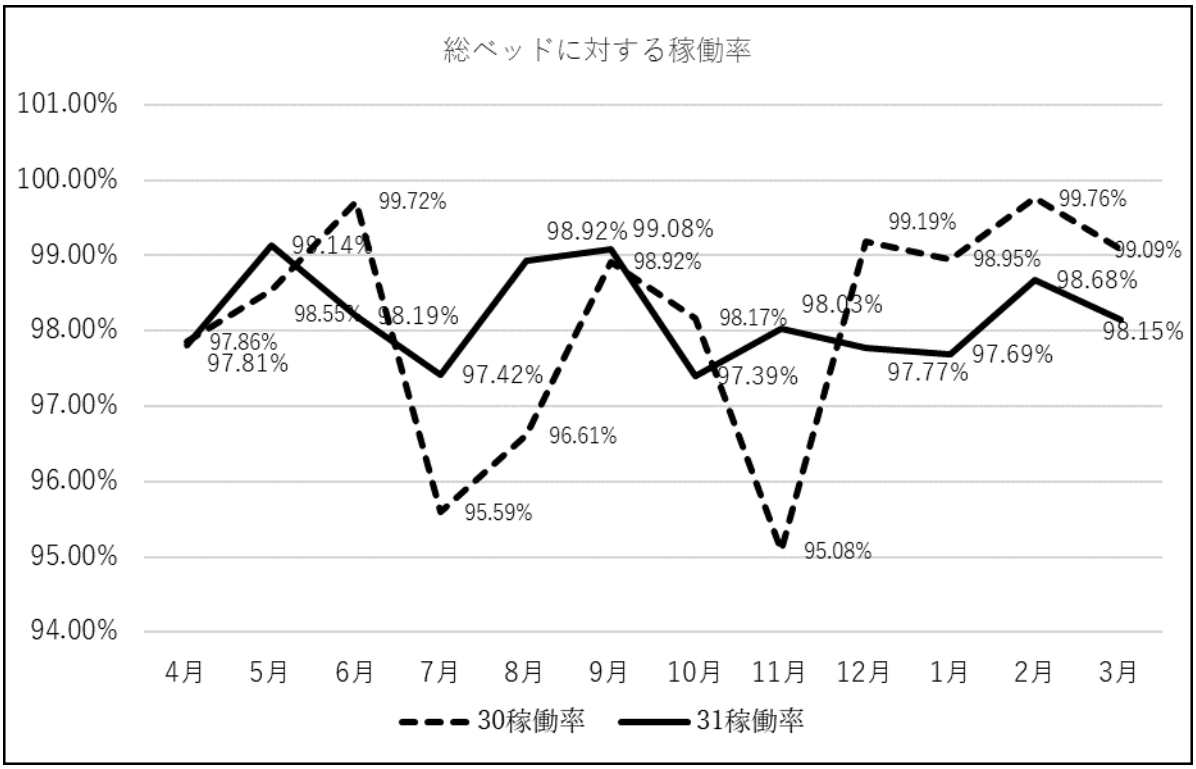
相談部門では、施設のケア内容や取り組みについて家族との相互理解に努めることを目標とし、平成３０年度と同様に、利用者家族並びに地区民生委員を対象として実践報告会を開催し、20 名の方の参加を得た。参加者からは、頑張ってくれている事がわかった、自分自身にとっても勉強になったとの感想を得た。今回は、食事の摂食介助や食事形態、経口維持加算の取り組みを紹介する内容であり、経管栄養の利用者の家族にとっては興味を持ちにくい内容であった。したがって、令和２年度は、誰でも興味を持ち参加できるような内容による実践報告会を開催したい。

令和元年度の退所者数は２８名と例年より多く、医療機関での死亡退所者が 11 名、医療機関からの退院不可での退所者が９名と全体の 71%を占めた。施設での看取り介護を受け施設で看取った利用者は８名と全体の 29%であり、比較的少なかった。多疾患を抱えている利用者が多いため、入所後も嘱託医への移行ができず、これまでの医療機関に継続して通院を要す利用者が増えており、通院する中で容態に変化が訪れ、入院を経て、死亡退所や退院不可での退所となるケースが目立った。

また、平成３１年４月１日から入所のベッド数が 10 床増えショートステイ 10 床減ったことで生活相談員の配置数も変更となっている。この変更に伴い、業務の整理を行い、併せて各マニュアルも見直した。

空床数の削減については継続して取り組んだ。平成３０年度の入院や退所から入所までの空床数合計は、1,154 床（うち入院 887 床)、令和元年度は 1,309 床（うち入院 996 床)、またショートステイでの空床利用は、平成３０年度 328 床（活用率 28%)、令和元年度 512 床（活用率 39%）と約 10%上昇した。短期入所を含む施設全体のベッド稼働率平均は、98.12%から 98.19%へと、わずかながら上昇した。





【介護部門】

令和元年度は、三つの棟それぞれに介護主任を配置する体制となり、情報収集や業務伝達が滞りなく行なえるように努めた。

また、新しい移乗介護の技術についても、介護力向上委員会を中心とし研修等に参加し技術習得に力を入れたが、勉強会の開催不足もあり技術習得はもちろん、現場での実践にも至っていない。これについては、積み残した課題として継続して取り組む。新しい介護技術を習得する目的は「利用者を元気にする」という想いがあるという実践報告を聴く機会があったため、今後の取り組みのキーワードとして介護職員間で共有して取り組む。

環境の整備に対しても取り組みが不十分で、結果的に家族からの苦情・要望にもつながったことは反省点である。今後は、より具体的な達成目標を設定し改善に努めていく。

【看護部門】

令和元年度は、利用者の健康観察の強化と体調管理を徹底するため、他職種と連携し業務内容の見直しとマニュアルの変更を行った。業務内容として簡素化できるものは簡素化し他職種に委託できるものは委託した。

看取りケアと家族支援の強化として事前に他職種連携し嘱託医に報告するとともに、医師からの指示を受け、家族へ病状説明を適宜行った。

感染予防の取り組みとして、感染予防委員会や部門間・身体拘束委員会と連携し感染拡大防止に努めた。

現状においても、マニュアルの見直し等の課題が残っているため、引き続き他職種と連携・協働し取り組む。

【機能訓練部門】

「寝たきり利用者の離床率の向上を図る」を重点目標に引き続き、個別リハビリ実施者以外の利用者の離床の機会を継続的に設けていくと共に、それに向けた業務の改善と新たなグループレクのメニューの発案に取り組んだ。

まずは健康面に配慮した業務策として、各棟からそれぞれ利用者を混成して実施していたものを、棟単位で行った方が感染の拡大リスクの低減に繋がると考え、月～土曜日の６日間を各棟２回のペースでリハビリを実施するように週間スケジュールを変更した。しかし、結果として離床率は平成３０年度より下回ることとなってしまった。今後は更なる業務の改善に取り組み、他職種との連携も視野に入れ、引き続き寝たきり利用者の離床も含め、関われる利用者の実施率を高めていきたい。

【栄養部門】

(1) 多職種との連携による経口摂取維持の取り組み

経口維持加算の取り組みについては、加算対象者を絞り込むことによりきめ細かいケアサービスにつなげ、また近隣の病院の口腔リハビリ科とも情報を共有して安全な経口摂取に取り組むことができた。

また、摂食スクリーニング、カンファレンスへの看護職員の参加が定着できたことにより情報共有ができ、利用者の状態に合わせた柔軟な対応ができた。また、現場から摂食スクリーニングの実施依頼が増え、経口維持加算についての認識も広がった。利用者の嚥下状態は徐々に低下が見られており、少しでも安全に長く口から食べられるよう今後も支援を続けていきたい。

(2) 食事形態を見直し、嚥下摂食機能に合わせた食事の検討を行う。

令和元年度は、軟菜食についての情報収集を行い、軟菜食とはどのような食事形態なのかを知ってもらう活動に終わった。今後は軟菜食の提供開始を目指し、成章園で実際に提供している軟菜食を参考にしながら取り組む。

【事務部門】

令和元年度は、四半期ごとの収支の状況を部門内で確認し、運営委員会を通して全職員に伝えることにより、収支を意識した業務活動になるように働きかけた。収入面においては、ベッド稼働率を維持してもらうために、当該年度予算と前年度実績、当年度の実績を比較しながら各委員に説明を行った。支出面では年間における消耗品の支出割合を確認した。突出して注意が必要となる項目は見られなかったものの、今後は支出を抑えて行く働

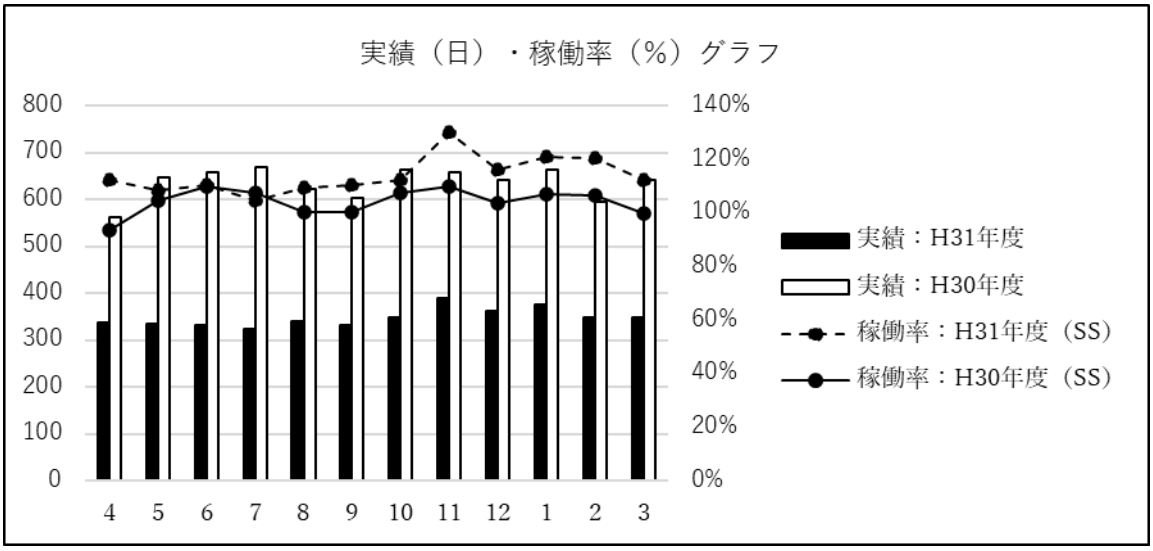
き方が必要であることから、これまでの活動を基盤とし、各部門に意識してほしい必要な支出項目を絞り込んで伝えて行く予定である。

【短期入所生活介護事業所】

令和元年度の利用実績は、年間延べ 3,836 日であった。平成３１年４月よりベッド数が 10 床に半減したため、年間の延べ日数を実数で比べられないが、「受け入れ可能日数に対する稼働率（退所や入院による正規入所の空床も含む）」は平均して 114%と前年度対比で 10%あまりの上昇となった。正規入所の利用者のベッドを空床利用しているが、その際に正規入所の生活相談員が病院への入院日数の確認や新規利用者の受け入れを計画的に行っていたことで、スムーズにショートステイで空床利用できたことが、上昇の要因として考えられる。定期利用している利用者の心身状況の低下により家族の介護負担が増え、介護負担軽減の為の利用延長の希望が多い傾向にあった。利用実人員では 49 人で年間延べ 332 人の利用があった。一人当たりの平均利用日数は 12.5 日で、平成３０年度の 14 日に比べて減少している。

地区別の利用者数では、十二所地区の方の利用が全体の 7 割以上となった。これまでよりも十二所地区の方の利用割合が増え、送迎にかかる時間が短縮されている。

要介護度区分別では、要介護 1～3 の方が全体の 66%であった。介護度の軽い方の利用が多いが、心身状況の低下により途中で要介護度の区分変更申請を行い、要介護度が重くなっている方が増えている。また定期利用の方の継続利用が多く、令和元年度の新規利用の受け入れは 7 名であった。定期利用の方の受け入れでベッドが埋まっている状況で、新規利用者の受け入れを積極的にすることはできなかった。利用のニーズとしては、心身機能の低下により在宅生活の継続が困難、病院退院後に在宅生活での生活に不安がある方、長期ショート、介護者の外出や入院による不在の依頼であった。



2.　委員会活動

【運営委員会】

運営委員会では、リスクマネジメント、サービスの質の管理、そしてコスト管理に取り組んだ。

施設経営に係る情報を共有し、現場の職員へ伝わるよう働きかけた。また、委託業務の直営化に係る検討や、特定処遇改善加算の配分など、法人全体で取り組んでいる事項に関しても情報共有を行った。

三交替勤務が開始となったことで、積極的に実施状況を確認しながら課題の抽出を行い、必要に応じ修正に向けた意見交換を行った。まだ、課題も残されているが、労働環境の整備としては大きな前進であった。

施設内の事故や苦情等の検証も行った。再発防止に向けた対策の検討や、多職種による意見交換もあった。また、是正処置の在り方なども共有する場ともなり、不適合報告書の効果的な使用を改めて考える場となった。

【感染症予防対策委員会】

本委員会では、随時委員会を開催し発生動向や対策の実施状況の把握と、面会・行事等の制限や感染者への個別の対応・手指消毒などの感染予防の周知徹底に努めた。また集団発生時の対応の振り返りを行うとともに、現行の感染マニュアルを市内の流行レベルに合わせて見直し、流行レベルに応じた面会方針を作成した。

インフルエンザについては、当苑においても職員に発症者が散発したが、現場の迅速かつ的確な対応により、集団発生に至ることなく終息に向かうことができた。

予防策の強化としてポスターを掲示し、全体の意識化を図り、標準予防策（スタンダードプリコーション）に関してはルール化した。

【身体拘束等適正化委員会】

令和元年度は、全職員を対象とした身体的拘束適正化並びに高齢者虐待防止に関する研修として、前期は各部門、棟会議で業務内での事例を元に、身体拘束や虐待について話し合い、日頃の業務を振り返る機会とした。後期では、グレーゾーンと思われるケアについて、その事例について参加者に根拠や理由を考えてもらうという内容で研修を行った。

職員個々の「キラッとひかるケア」について、毎朝の朝礼で発表することとしていたが、その活動は定着させられなかった。その為、令和２年度の目標・活動として取り組みを変えて優れた実践を共有できるよう取り組む予定である。

【部門間連携委員会】

本委員会では、各部門との情報共有や意見交換、業務改善に向けた話し合いの場として取り組んだ。これまでの活動を継続して、利用者情報の共有方法として、iPad の使用状況等について確認した。

年度の後半には、介護部門の三交替勤務（8 時間夜勤）への体制変更が本格化となり、その実施に向けた状況の確認や部門間での課題を検討した。実際に移行した後に出た課題等も継続的に話し合い、修正に向けた話し合いを行うことができた。

【医療的ケア対策推進委員会】

委員会の活動方針に基づき、褥瘡の予防機能強化、喀痰吸引等の医療行為の一定水準保持に取り組んだ。

介護職員のたん吸引に係る安全確実な手技の取得とその根拠となる知識の確認を目的として、本委員会主催の内部研修を年 1 回実施し、ブランクのある職員へのフォローアップを行い、介護職員が一定の水準を保持できるように努めた。

定例委員会において不適合報告内容を共有し、その対応経過について検証し、再発防止を図った結果、利用者の健康状態に影響する事例の発生はなかった。

介護職員の喀痰吸引等研修事業の実地研修は、介護職員 2 名を対象に実施し、終了している。

褥瘡については、定例の委員会において褥瘡発生状況の把握と、ブレーデンスケール（褥瘡リスクのスクリーニング用シート）のスコア確認を随時施行し、各委員がハイリスク項目や身体状況を共有出来た。

【介護技術向上委員会】

本委員会では一点目として、根拠に基づく介護技術の習得と技術の現場展開、またスーパートランスファーの実践　二点目として、事故及び怪我防止として高リスク者のケア内容の見直し、移乗アセスメントシートの見直しを目標に掲げて活動した。

スーパートランスファーに関しては、委員のメンバーと介護技術に関心のあるメンバーとで外部研修にも参加し、技術向上に努めてきましたが、スーパートランスファーを施設で指導できるスタッフが少なく、職員が習得するまでが難しい状況で、現場での展開が出来ていないのが現状である。今後はスーパートランスファーに拘らず、介護技術の基本動作に力を入れて技術の向上を図りたい。

【栄養委員会】

本委員会は、利用者が最期まで口から食べられる楽しみが得られるよう、「経口維持管理加算（Ⅰ）」を継続し、嘱託医や歯科衛生士など多職種の連携により、より専門的な視点から利用者の経口摂取を維持できるよう活動した。

口腔衛生については、歯科衛生士による口腔衛生指導を毎月行い、指導内容を現場の職員に周知することにより適切な口腔ケアが行え、結果として利用者の口腔内を健康な状態で保つことができた。今後は、口腔ケアチェックシートを利用し、より一層効果的な口腔ケアに取り組んでいきたい。

また、口腔ケア物品の購入についての見直しを行い購入物品の統一化を図った。今まで曖昧になっていた施設購入、利用者購入の色分けをはっきりさせ双方が不利益にならないよう対策を講じることができた。

【排泄ケア向上委員会】

排泄ケアに関するアセスメントツールとして「排泄アセスメントシート」を作成した。当初の予定では利用者数名で運用し、課題を抽出しながら随時改善を図る予定としていたが、アセスメントシートの内容について、委員以外の意見も確認すると修正箇所が見つり、年度内での運用に至らなかった。このため、排泄マネジメントプロセスを改善するまでは至らなかった。

膀胱留置カテーテルが挿入されている利用者の採尿方法が三棟でそれぞれ異なっており、更にはESBL（多剤耐性菌のひとつ）の保菌者がいるにも関わらず、きちんとした手順と物品で採尿が実施されていないことを指摘し、感染症予防委員会と連携しながら、感染症のリスクを軽減する採尿方法へと統一した。

今後は排泄用品のメーカーの変更が予定されている。排泄用品の正しい使用方法については数年研修も行っておらず、これを機にメーカーからアドバイザーを招いての研修を実施した。2回の研修を予定していたが、うち1回は新型コロナウイルスの影響で中止となり、研修に参加することができた職員は予定の半分以下になってしまった。

【認知症ケア推進委員会】

令和元年度、認知症介護実践者研修に1名参加し、認知症リーダーとして求められる指導力やチームケアを進める技能を身に付けることができた。また新しい委員が加わり、その委員が担当職員としてモデルとなる利用者を選定し、アセスメントシート記入、個別計画書立案、作成を経てケアを行った。委員以外の職員にもケアの目的を説明しながら展開して行くことで、日頃のケアの質の向上にもつながった。

重点目標として「認知症ケアの継続的な取り組みの実現に向けた体制の整備」と「認知症ケアに係る質の向上への取り組みの実施」の二点に取り組んだ。なお、当初は重点目標に挙げていた「内部研修（認知症サポーター養成講座　未実施者対象）を実施し、認知症高齢者を支援するための知識や技術を学び、質の向上を図る」については、対象者が少ないため実施していない。

(1) 認知症ケアの継続的な取り組みの実現に向けた体制の整備

認知症ケアに関する実践リーダーの育成として、９月から１１月に掛けて認知症介護実践者研修に１名参加し、必要な知識や技術を学んで無事に課程を終了した。

(2) 認知症ケアに係る質の向上への取り組み

１０月に青森市で行われた「認知症タイプ別ケア研修」と「秋田県北地区老人福祉施設・在宅・包括職員研修会」に委員が参加し、認知症利用者への対応や知識について学んだ。「認知症ケア専門士」資格を新たに取得した委員もおり、今まで以上の質の向上に期待ができる。

【災害対策委員会】

本委員会では緊急連絡網の見直しを行った。連絡網は整備されているが、実際にどの程度機能するのか不透明な部分があり、より確実性のある連絡方法を見出すべく委員内で話し合った。結果として、新たな連絡網を整備することはできなかったが、それ以外の部分では緊急時の使用物品のチェック、保管場所の再確認をすることができた。実際は委員だけでなく全職員に保管場所や使用方法を理解してもらう必要があるが、年度内の活動ではそこまで至ることができなかった。

3. つくし苑　利用者状況報告

集計日　　令和 2 年 3 月 31 日現在

(1) 年齢別・性別の状況（単位：人）

年齢／性別	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	計
男	0	0	4	3	4	5	6	4	1	27
女	0	3	4	4	8	20	26	15	3	83
計	0	3	8	7	12	25	32	19	4	110
平均男（86.3）女（88.8）　全体（88.2）　最高（109）　最低（69）										

(2) 在苑期間の状況（単位：人）

期間／性別	1 年未満	1 年以上 2 年未満	2 年以上 3 年未満	3 年以上 4 年未満	4 年以上 5 年未満	5 年以上 6 年未満	6 年以上 7 年未満	7 年以上	計
男	9	4	4	3	4	2	0	1	27
女	22	9	15	10	7	5	4	11	83
計	31	13	19	13	11	7	4	12	110
平均：男（2 年 6 月）女（3 年 7 月）　最高：男（8 年 9 月）女（20 年 11 月）全体（3 年 4 月）									

(3) 入退所の状況（単位：人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者	男	3	0	1	1	2	0	1	0	1	1	1	0	11
	女	8	2	0	1	1	1	2	3	3	1	3	1	26
退所者	男	1	0	0	3	0	0	1	1	1	0	1	1	9
	女	1	1	1	0	2	2	0	6	0	1	3	2	19
月末在所者数	男	26	26	27	25	27	27	27	27	26	27	27	27	
	女	83	83	82	83	82	81	83	80	83	83	83	83	
	計	109	109	109	108	109	108	110	107	109	110	110	110	

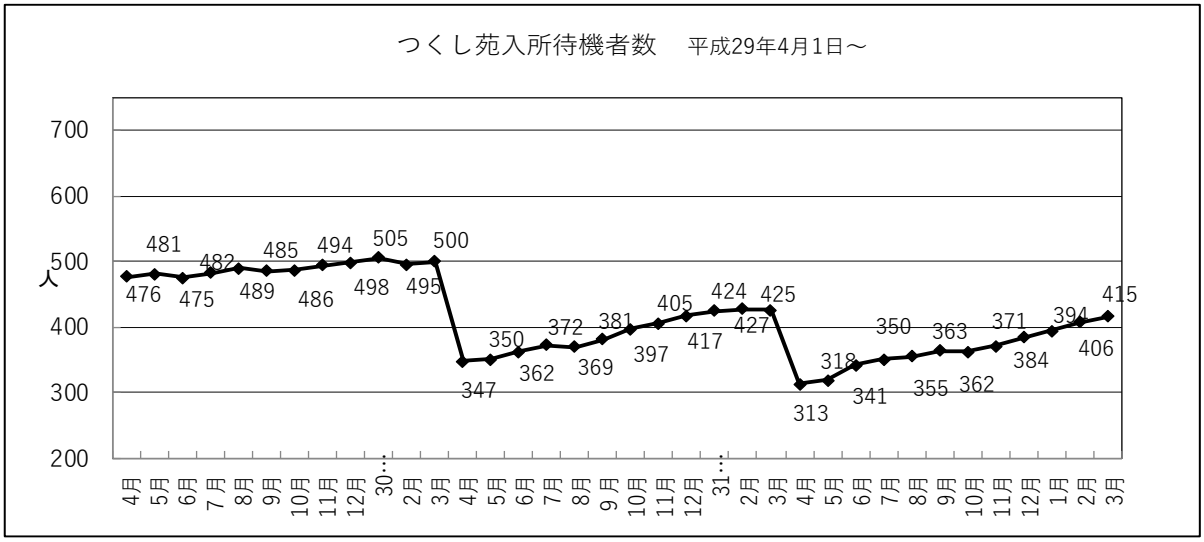
(4) 利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ベッド数	3,300	3,410	3,300	3,410	3,410	3,300	3,410	3,300	3,410	3,410	3,190	3,410	40,260
利用（延）	3,184	3,352	3,204	3,299	3,340	3,237	3,724	3,140	3,275	3,257	3,082	3,317	39,060
稼動率	96.4	98.2	97.0	96.7	97.9	98.0	96.0	95.1	96.0	95.5	96.6	97.2	97.0

(5) 介護度別の状況（単位：人）

要介護度	介1	介2	介3	介4	介5	計	平均
平成31年3月末	1	2	12	43	41	99	4.22
令和2年3月末	2	3	15	48	42	110	4.14
増　　減	1	1	3	5	1		

(6) 入所待機者数



4.　事業実施関係

月	日	管理関係	日	行事ほか	日	実習・研修
4	1 10 12 19 24	年度始め式、辞令交付式 給水ポンプ交換打合せ エリア内クリーンアップ スノーレンジャー反省会議 評議員選任・解任委員会	17 26 28.30	不在者投票（市長、市議会） 賀寿祝（1 名） 観桜ドライブ	23	比内支援学校実習担当者との打ち合わせ
5	11 15 16 20 21～23 29	秋田看護福祉大学合同就職面談会 監事監査会 入所調整委員会 自動ドア保守点検 ガラス清掃 定時理事会	3 12～26 24 26	賀寿祝（1 名） 大相撲星取り 賀寿祝（1 名） おやつ作り	17 22 23	ボランティア（ポケットの会） 安全運転管理者講習（1 名） 安全運転管理者講習（1 名）
6	3～5 4 4 5 20 24～28	棟内薬戸棚修繕工事 苦情解決第三者委員報告会 自立化計画に関する長寿課との意見交換会 駐車場ライン引き工事 避難訓練 床ワックスがけ	9 13 21	外出レクリエーション 野外昼食会 外出レクリエーション	3～21 6 6 17～19 21 26	比内支援学校実習（1 名） 比内支援学校一年生施設見学（15 名） ボランティア（更生保護の会） 職員内部研修（感染予防） ボランティア（ポケットの会） タオル寄贈（老人クラブ連合会より）
7	1.2 2 4 23 30.31	職員健康診断 エアコン室外機点検 大館市災害支援ネットワーク避難訓練（大館南ガーデン） 高卒者求人情報交換会（クラウンパレス秋北） 給排水設備メンテナンス	2 18 7～21	利用者健康診断 不在者投票（参議院） 大相撲星取り	10 19 25 25	音楽クラブ ボランティア（ポケットの会） 若葉サークル（大正琴慰問） 介護実習指導者連絡会議（秋田看護福祉大学）
8	5 21 26 27 28 30	へき地保育指定管理者現地説明会 自動ドア保守点検 ボイラー点検 ボランティアフェスティバル実行委員会 社会福祉法人連絡会 法人自立化に係る市との打合せ	3 10 14 16 28	つくし苑ほうおう夏祭り 賀寿祝（1 名） 音楽クラブ 外出レクリエーション 賀寿祝（1 名）	1 1 8 19～9/10 23 28	ボランティア（更生保護の会） 高校生福祉セミナー 中高生介護職場体験 秋田看護福祉大学介護実習 ボランティア（ポケットの会）

月	日	管理関係	日	行事ほか	日	実習・研修
						進路研究校外学習セミナー
9	3 6 12 13 16 24 28	定期人事異動ヒヤリング 十二所地区敬老会会場設営手伝い 計量器検査 10 月定期人事異動内示 消防設備点検 職員採用試験（新卒者） 厨房エアコン工事 利用者処遇等事業調査	4 8～22 18	結核検診（X 線） 大相撲星取り つくし苑敬老会	15 27	十二所地区祭典（天鳴太鼓来苑） ボランティア（ポケットの会）
１０	8 15 16 17 23 29	給水管調査 停電検査 自動車ロックパトロール（十二所地区交通安全協会） 障がい者雇用企業見学会 給水加圧装置交換工事 大館市災害支援ネットワーク幹事会	9 17 17	音楽クラブ きりたんぽ鍋づくり 賀寿祝（１名）	3 8 15 18	ボランティア（更生保護の会） 施設視察受入（岩手県特養ふれあい荘） 秋田看護福祉大学看護学科実習 ボランティア（ポケットの会）
１１	5 6 8 13 17 19 20 21 24 28	介護のお仕事 PR 隊活動（1 名） 防火設備点検 地下油槽タンクに対する消防の査察 自動ドア保守点検 合同避難訓練（ケアハウス・消防団） 簡易専用水道検査 臨時理事会 秋田県総合県税事務所調査（自動車税免除にかかる） 採用試験（登用にかかる） 苦情解決第三者委員報告会	5.12 10～24 13 16 25	インフルエンザ予防接種 大相撲星取り 音楽クラブ 実践報告会（家族対象） 賀寿祝（1 名）	67 11 15 25 27 28	ボランティア（更生保護の会） 2019AKITA 介護ロボット展 ボランティア（ポケットの会） 喀痰吸引事業者説明会 秋田労災病院多機関合同研修 成章小 5 年生との交流

月	日	管理関係	日	行事ほか	日	実習・研修
１２	3.4 9 10 27	内部監査（2 部門） 厨房機器定期点検 スプリンクラー保守点検 ハチ公スノーレンジャー出陣式 仕事納め式	9 9 27	レクリエーション（遊びりテーション） おやつづくり 三交替勤務開始（夜勤 8 時間化）	2 20	福祉・介護事業採用力アップセミナー ボランティア（ポケットの会）
1	6	仕事始め式	16 24	利用者新年会 賀寿祝（百賀）１名	～30 10 20 27 29 29	※インフルエンザ警報発令によりボランティア等の受入を中止 職員内部研修（新採用） 職員内部研修（管理職） 職員内部研修（ステップ５） 実習指導者連絡会議（秋田看護福祉大学） 職員内部研修（身体拘束）
2	3 5 12 13 13 14	大館北秋田地区企業説明会 職員健康診断 自動ドア保守点検 介護職イメージアップ動画撮影 女性活躍・パワハラ説明会 社会福祉法人等指導監査（大館市福祉部総務課）	12	音楽クラブ	5 12 13 17 19～ 21	職員内部研修（身体拘束） 職員内部研修（新採用） ボランティア（更生保護女性の会） ボランティア（十二所婦人会） ソーシャルワーク実習（秋田看護福祉大学） 介護実習（秋田看護福祉大学） ボランティア（ポケットの会）
3	2 6 8 25 26	辞令交付（3/1 付け採用） 4/1 付異動内示（一次） 新採用職員オリエンテーション 定時理事会 4/1 付異動内示（二次）	18 21	賀寿祝（1 名） 寿祝（1 名）	2～	※新型コロナウイルス感染症の予防のため面会、ボランティア等の受入制限

5. 研修実施状況

(1) 内部研修　※法人合同研修含む

番号	実施日	時　間	対象	内　　容	講　　師	参加数
1	H31.4/1～ R2.3/31	計 2.700 分	新採用職員	＜主な内容＞ ①オリエンテーション１ （労務関係の説明） ②オリエンテーション２ （各施設見学） ③法人理念と品質マネジメント概論 ④社会人マナー ⑤オリエンテーション３ （配属先勤務体制、業務内容） ⑥オリエンテーション４ （福祉機器の理解と使用方法） ⑦感染症の知識と予防 ⑧個人情報とプライバシー保護 ⑨介護の基本（概論・接遇） ⑩介護技術の基本（移乗・移動） ⑪介護技術の基本（入浴・更衣） ⑫介護技術の基本(排泄用品の知識) ⑬介護技術の基本（排泄） ⑭オリエンテーション５ OA 機器、電話機、ナースコール ⑮先輩職員との交流 （1 ヵ月の振り返り） ⑯介護技術の基本（食事） ⑰オリエンテーション６ 消防設備の使用方法 ⑱介護職員に必要な薬の知識 ⑲介護記録の基本 ⑳事故・苦情・ヒヤリハットの対応 （3 ヵ月の振り返り） ㉑職種間の連携とコミュニケーション（6 ヵ月の振り返り） ㉒援助の考え方と自立支援 ㉓オリエンテーション７ 力量評価の手順と内容の理解 ㉔権利擁護と虐待・身体拘束 ㉕福祉専門職の倫理とコンプライアンス（1 年間の振り返り）	法人内職員 （研修担当： 人財育成委員）	2
2	4/9	20 分	掃除委託業者	感染症予防	小畑　廷洋	4

番号	実施日	時　間	対象	内　　容	講　　師	参加数
3	4/24	60 分	法人全職員	部門目標活動報告会	担当 人財育成委員会	50
4	6/13	65 分	ステップ 1	コミュニケーションについて	能登谷　直美	2
5	6/15	105 分	ステップ 3	介護過程の理解	伊藤　政利 小畑　廷洋	4
6	6/17-19	各 60 分	全職員	感染症対策研修① 「手洗い・感染症別対応の理解」	感染症予防対策委員	52
7	8/27	65 分	ステップ 2	介護保険制度の理解	平澤　陽	5
8	9/4、 9/10、9/18	70 分 60 分 60 分	ステップ 4	原因分析と再発防止	小畑　廷洋 能登谷　直美 高橋　由香	19
9	9/25-27	各 30 分	介護職員	医療的ケア研修①（褥瘡）	阿部　剛悦 谷　百合子 片山　貴博	47
10	10/8	90 分	法人監督職	福祉職員キャリアパス対応生涯研修過程「チームリーダーコース」　復命研修	高橋　由香	7
11	10 月－11 月	各 20 分	介護職員	感染症研修②「吐物処理」	片山　貴博 谷　百合子 高橋　辰也	48
12	11/21	40 分	ステップ 1	「サービス管理とリスク管理 1」	小畑　廷洋	2
13	12/18	50 分	ステップ 2	「サービス管理とリスク管理 2」	和田　誠美 石田　浩幸	6
14	12/24、 12/26	各 30 分	介護職員	医療的ケア研修②「痰吸引」	平澤　真紀子 菅原　敏光	31
15	1/21-24 1/27	60 分	ステップ 5	スーパビジョンの意義と実際	畠山　美香 和田　誠美 小畑　廷洋 町井　美輝子 能登谷　直美	12
16	1/20、 1/29、 2/5、3/6	60 分	全職員	虐待防止・不適切ケアを考える 「感染予防は身体拘束か」	能登谷　直美 苗代沢　輝栄 小畑　廷洋	60

(2) 外部研修

番号	期　間	研 修 名	場　所	参 加 職 員
1	4/23	秋田県老人福祉施設連絡協議会 第 1 回理事会	秋田市	鎌田　俊
2	4/24	認定調査員新任者研修	秋田市	糸田　恵
3	4/26	秋田県老人福祉施設連絡協議会　総会	秋田市	鎌田　俊
4	7/24	令和元年度　秋田県経営協セミナー	秋田市	伊藤　政利
5	8/27	秋田県北特定給食施設等関係者研修	北秋田市	滝沢　紀子
6	8/26-27	福祉職員キャリアパス対応生涯研修過程	秋田市	高橋　由香

番号	期　間	研 修 名	場　所	参 加 職 員
		「チームリーダーコース」		
7	8/28-30 9/10-11 9/24、11/6	認知症介護実践者研修	秋田市	山城屋　茜
8	10/4-5	栄養指導技術研修会・学術集会	秋田市	滝沢　紀子
9	10/16-17	秋田県北地区老人福祉施設・在宅・包括職員研修	大館市	糸田　恵 羽沢　奈津子 神田　千夏子
10	10/18	医療的マインドを持った介護職講座 （フィジカルアセスメント）	大館市	長田　美穂子 松田　亜奈
11	10/30-11/1	秋田県北・山本地区　老人福祉施設連絡協議会 生活相談員研修	能代市	能登谷　直美
12	10/23	労災病院多職種合同勉強会	大館市	伊藤　政利 小畑　廷洋 能登谷　直美 苗代沢　輝栄
13	11/5	介護の仕事 PR 隊活動（長木小学校）	大館市	佐藤　薫子
14	11/6	秋田県北地区老人福祉施設連絡協議会 施設長研修	大館市	鎌田　俊 伊藤　政利 小畑　廷洋
15	11/11	2019AKITA 介護ロボット展	秋田市	小畑　廷洋 高橋　由香 高橋　辰也 谷　百合子
16	11/27-28	秋田県老人福祉施設長研修	秋田市	鎌田　俊
17	11/27	労災病院多職種合同勉強会	大館市	伊藤　政利 小畑　廷洋 能登谷　直美 苗代沢　輝栄
18	12/2	福祉・介護事業所採用力アップセミナー	秋田市	伊藤　政利
19	2/20	第 20 回厨房設備機器展示会（幕張メッセ）	千葉市	滝沢　紀子
20	2/19	介護職員のたん吸引等研修	秋田市	長内　和希 中村　優花

令和元年度　大館市デイサービスセンター大滝　事業報告

令和元年度は、４月から７月にかけて高い利用実数だったが、７月以降実数を落とし続け、なかなか実績を上げられない状況が続いた。原因としては、７月以降、週に複数回利用している利用者の施設入所や、入院による利用停止が重なったことが挙げられる。その後に新規利用者を受け入れるが、実績を戻しきるには至らなかった。平成２９年度の年間延べ利用人数 10,503 人に対し、平成３０年度は 10,292 人、令和元年度は 10,143 人と利用人数も減少しており厳しい事業運営となっている。このような状況に加え、今後も地区内の高齢者数ならびに要介護高齢者数については増加が見込めないため、事業実施体制（営業日・営業時間・人員体制等）について検討をしていく必要がある。

また、令和元年度は介護支援専門員に対し、利用者の利用状況に加え身体機能維持、向上に関する情報も提供できるよう「情報提供票」の見直しを行った。加算要件を満たすためには、介護支援専門員への情報提供と情報共有が重要になってきており、サービス提供が利用者の自立支援に資する結果につながっているか、成果が求められている。今後も他職種と連携した援助を提供する仕組みを整える。

重点目標は、「送迎時、危険個所のマップを作成する」ことに取り組んだ。障害物に擦るなど軽微な事故が続いた他、過去に事故が起きた同じ場所で、再び事故を起こしていることがあり、事業所としてリスク管理できていないことが挙げられた。事故予防と再発防止の観点から、危険個所のマップを作成し、危険個所を把握していく取り組みを行った。その結果、令和元年度は年間を通して無事故を達成することができた。

令和元年度の顧客満足度調査では、余暇活動に関する調査を行った。「普段の生活で出来ないことがしたい」「楽しみながら運動したい」との声を拾うことが出来た。デイサービス内のメニューは、比較的、集団的に行う活動が多く、利用者の個別のニーズに合わない状況もある。一日のサービススケジュールと援助に係る人員等の見直しも必要となる。

利用者一人ひとりのニーズに沿った援助を提供することにより、自宅において可能な限り自立した生活を継続していくことができるよう引き続き支援していく。またそのためには、自らの業務を振り返りつつ、課題に謙虚に向き合い、話し合いながら改善していくことを誓い事業報告とする。

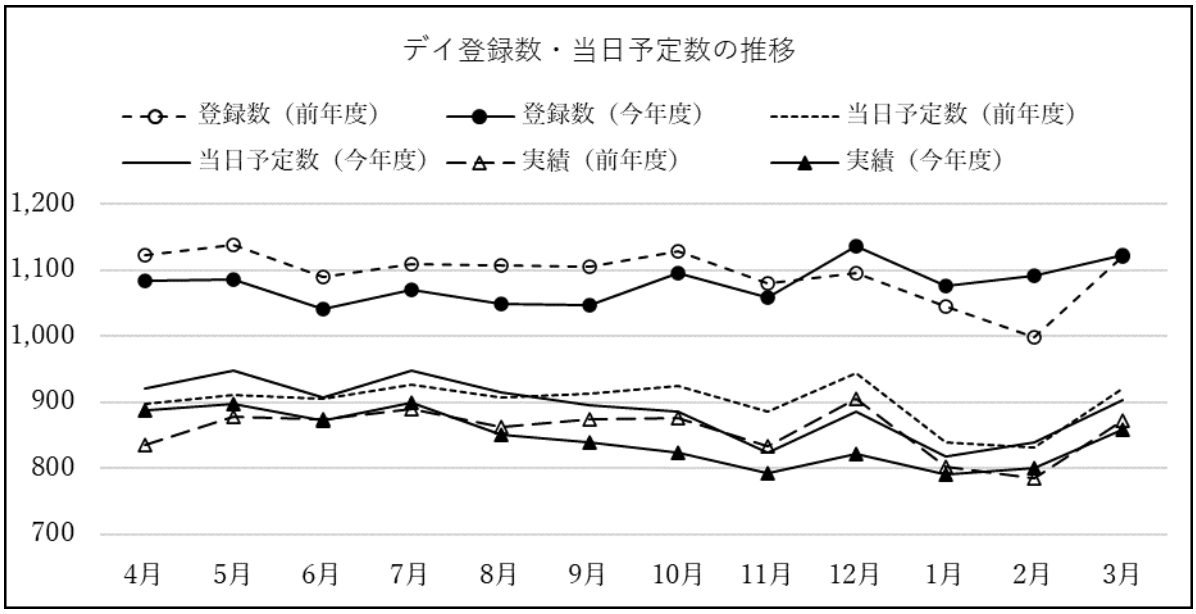
令和２年３月３１日

大館市デイサービスセンター大滝
管理者　和田　誠美

１．事業実績

(1) サービス実績

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年
営業日数	30	31	30	31	30	30	31	30	31	29	29	31	362	362
登録者数（延）	1,085	1,086	1,041	1,071	1,050	1,047	1,095	1,060	1,137	1,077	1,092	1,124	12,965	13,143
当日予定（延）	921	949	908	948	916	895	887	825	887	819	840	904	10,699	10,813
利用人数（延）	889	898	873	900	851	840	824	794	822	792	800	860	10,143	10,292
上：予防/総合実	51	49	50	49	48	50	48	51	51	51	50	47	591	603
中：介護実	82	82	82	82	83	79	76	73	79	77	75	76	731	951
下：合計	133	131	132	132	131	129	124	127	130	128	125	123	1322	1554



(2) 要介護度別利用者数

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	延人数	構成比
事業対象者	20	20	21	21	20	17	17	17	17	19	18	16	223	16.9%
要支援１	4	3	3	3	4	5	7	8	8	8	8	8	69	5.21%
要支援２	27	26	26	25	24	24	24	26	26	24	24	23	299	22.6%
要介護１	37	37	39	39	38	39	32	32	32	33	30	30	418	31.6%
要介護２	28	28	26	26	27	27	27	29	32	29	30	33	342	25.9%
要介護３	13	13	12	13	13	13	12	10	11	10	11	9	140	10.6%
要介護４	1	1	1	1	1	1	2	3	2	3	2	1	19	1.4%
要介護５	3	3	4	4	4	3	3	2	2	2	2	3	35	2.3%
計	133	131	132	132	131	129	124	127	130	128	125	123	1,322	100%

2.　行事実施状況

月	行事・レク名	実施日		延人数
4	観桜ドライブ	4/25（水）～5/1（火）	7 日間	71 名
5	外出レク買物（ダイソー）	5/27（月）～6/3（日）	7 日間	62 名
6	十二所保育園交流会	6/21（金）	1 日	29 名
7	外出レク買物	7/22（月）～7/31（水）	9 日間	58 名
8	デイ夏祭り	8/19(月)～8/25(日)	7 日間	200 名
9	敬老会	9/23（月)～9/29(日)	7 日間	199 名
１０	外出レク紅葉ツアー	10/24（月）～10/30（日）	7 日間	75 名
１１	森のおうち交流会	11/22（水）	1 日	30 名
１２	クリスマス会	12/23（月)～12/29(日)	7 日間	181 名
1	お正月を楽しもう	1/6（月）～1/12（日）	7 日間	182 名
2	節分	2/3（月）	1 日	28 名
3	デイオリンピック	3/9（月）～3/15（日）	7 日間	189 名

3.　研修参加状況

(1) 内部研修

月	場　所	研　修　名	講　師
5	居宅面談室	スーパービジョン（相談員）	川嶋慎一
6	デイホール	認知症ケアについて	虻川侑希
7	デイホール	接遇研修	宮崎恭子
１０	デイホール	スーパービジョン	川嶋慎一
１１	デイホール	感染症について（実技・講義）	北林綾

(2) 外部研修

月	研　修　名	場　所	参加者
１０	秋田県北地区老人福祉施設連絡協議会職員研修	大館市	虻川侑希

4.　品質目標活動報告

【部門目標】　　「送迎時危険箇所のマップを作成する」

【設定理由】

デイサービスの送迎業務は、利用者の安心・安全を心掛け行っているが、しばしば送迎時に車を障害物にこするなどの軽微な事故が見られていた。平成 30 年 4 月から無事故連続達成に向け、連続無事故日数をカウントするなどして注意喚起を行ってきたものの、平成３０年９月以降、４か月連続でこすり事故の報告があり１２月にも２件の報告が上がった。こうした軽微な事故の発生の際は、これまで、申し送り等の機会に口頭で確認し注意を促してきたが、数年前に車両をこすった同じ場所で再びこすり事故が発生するなど、デイサービス全体で危険個所を共有できていないことがわかった。そこで、まずは危険個所の共有を目的としたマップを作成した。

【使用方法の共有】

「マップをどのような場面で活用、使用していくのか」

- 送迎担当職員が自身の送迎担当時などに随時確認する
- 新採用や異動してきた職員が利用する
- 危険箇所として、利用者宅敷地内だけではなく、送迎途中の危険箇所、道路交通法上、留意しなければならない場所を覚える、確認できる
- 随時更新し、職員間で危険箇所情報として共有できるもの

「マップのイメージ」

- ファイリング方式

視覚的にわかり易いように危険箇所を写真で取り、個人宅ごとファイルする

【現状把握】

危険箇所の洗い出しにより２１か所の危険個所を抽出

【対策の実施】

「ファイルの作成」

- 危険個所の写真撮影
- 現場の状況や、運転上の注意を記載。運用しながら随時、修正・追加

【歯止め】

運用しながら、継続するための課題を確認した

新規作成したものについて、全職員が確認したかわからない→新規作成した「利用者の名前」「作成の日付」を載せた確認用紙を作成しチェック機能とした

継続して更新する仕組みをどのようにするか→次年度に「役割分担（係)」とし追加。継続して更新できる仕組みにした

【まとめ】

取り組みを行うにあたって、職員全体で送迎時の危険箇所の情報を共有したことで、安全運転を行う意識が増したように思う。結果、無事故推進運動に取り組んで 1 年以上を経

過した現在でも事故 0 を更新している。今後も安全な運転、安全な送迎に取り組んでいく。

令和元年度　大館市社会福祉事業団ホームヘルパーステーション事業報告

令和元年度は、一人暮らしの認知症高齢者や悪性腫瘍などの疾患を抱える高齢者の利用が目立った。その中で、地域住民や医療専門職を含む多職種でのチーム支援を意識し、少しでも生活面での不安が軽減できることを目指してサービスを提供した。

多職種でのチーム支援は年々その重要性を増しており、部門内においてもホームヘルパーに必要なアセスメントについて学んでいる。ホームヘルパーを含む介護職員は、利用者と濃密かつ長期にわたる関わりがあるため、利用者の生活のちょっとした変化を敏感に察知できることを再確認している。ほんの少しの変化でも必要に応じてケアマネジャーへ報告し、多職種でのチーム支援へとつなげることができた。

令和元年度の訪問件数は、１２月までは月当たり７００件前後を推移していた。しかし、１２月下旬ころより、毎日の身体援助が必要な利用者の援助中止が続き、２月以降は月当たり５００件弱まで落ち込んでいる。援助中止の理由としては、認知症状が進み一人暮らしが継続できなくなり、長期のショートステイ利用への切り替えとなった、あるいは病状が悪化し入院・死亡のため援助中止となった、またケアハウス特定施設入居者生活介護との契約による訪問介護の終了ということであった。

新規の依頼における援助内容で多かったのは、平成３０年度と同様に通院援助であった。通院援助を手始めに必要に応じて身体介護や生活援助につなげていくことを考えた。しかし、想定したほど身体介護や生活援助の依頼にはつながらなかった。

福祉有償運送サービスの実利用者数の年間延べ件数は、平成３０年度と比べ４０名ほど増えている。しかし、延べ利用件数は３０件ほど減少している。減少の理由としては、透析通院のために週に複数回定期利用していた利用者の入院や死亡が続いたことであった。依然として病院への交通手段に困っている高齢者は多く、福祉有償運送サービスの依頼は増加している。低額な負担で利用できるこの事業は社会福祉法人の責務として今後も継続する。

重点目標においては、「分かりやすい記録の書き方を学ぶ」とし取り組んだ。その結果、記録のポイントを意識しながら書くことで、文章が整うことが目に見えてわかるようになり、記録に要する時間も短くなっている。また、不適合報告書の原因分析を掘り下げやすくなり、再発防止につながっている。

最後に、訪問介護は在宅介護の最前線に位置する重要なサービスであり、様々な生活スタイルで暮らす地域の高齢者に寄り添いながら、その人らしい生活を支えていくことに誇りを持ち業務に取り組むことを誓い、事業報告とする。

令和２年３月３１日

大館市社会福祉事業団ホームヘルパーステーション
管理者（サービス提供責任者）　伊藤　裕子

1.　事業実績

(1) 利用人数（実）

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	構成比
訪問型（総合）	25	25	25	24	26	24	29	26	30	27	25	24	310	44.3%
訪問介護	33	35	32	36	35	31	28	24	27	25	26	28	360	51.5%
障がい者支援	3	3	2	3	1	3	2	3	2	3	2	2	29	4.1%
福祉輸送（再掲）	22	19	24	23	24	23	27	19	22	23	18	20	264	
計	61	63	59	63	62	58	59	53	59	55	53	54	699	100.0%

(2) 活動件数

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	構成比
訪問型（総合）	113	118	106	114	109	110	130	117	120	105	95	92	1,329	15.7%
訪問介護	466	463	479	479	479	456	463	439	446	357	267	294	5,088	50.0%
障がい者支援	6	5	3	7	1	6	5	9	6	6	9	8	71	9.2%
福祉輸送	133	156	134	114	141	94	129	105	122	110	112	100	1,450	25.1%
計	718	742	722	714	730	666	727	670	694	578	483	494	7,938	100.0%

(3) 要介護度別利用者数

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	構成比
事業対象者	15	14	15	13	13	12	13	12	12	12	12	11	154	23.1%
要支援Ⅰ	3	3	2	4	4	4	6	6	7	7	7	7	60	9.0%
要支援Ⅱ	7	8	8	7	9	8	10	8	11	8	8	6	98	14.7%
要介護１	11	10	9	12	12	9	8	7	5	5	5	6	99	14.8%
要介護２	15	16	15	16	15	15	13	11	15	14	14	13	172	25.7%
要介護３	7	7	7	7	7	6	6	5	6	5	5	7	75	11.2%
要介護４	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	4	0.6%
要介護５	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	6	0.9%
計	58	59	57	60	61	55	57	50	57	52	52	50	668	100.0%

2.　研修参加状況

(1) 内部研修

月	研　修　名	場　所	講　師	人数
4	マニュアルの見直し	事業所	小松　政子	9
	安全配慮義務を考慮した移送サービス（福祉有償運送講習参加内容）	駐車場、敷地内道路	小林　幸子	6
5	糖尿病に留意した食事について学ぶ	在宅事業所　面談室	小松　政子	6
6	接遇・サービスマナー	在宅事業所　面談室	工藤　恵子 伊藤　裕子	8

月	研　修　名	場　所	講　師	人数
7	認知症ケア	在宅事業所　面談室	小松　政子 小林　幸子	7
8	コンプライアンス規定について	事業所	伊藤　裕子	8
9	分かりやすい記録の書き方について学ぶ①	在宅事業所　面談室	伊藤　裕子	7
１０	介護職のフィジカルアセスメント	在宅事業所　面談室 事業所	小林　幸子	8
１１	分かりやすい記録の書き方について学ぶ②	在宅事業所　面談室	伊藤　裕子	7
１２	感染症対応について	事業所	工藤　恵子	6
1	危険予知・原因分析・再発防止について～振り返り～	在宅事業所　面談室	伊藤　裕子	7
2	分かりやすい記録の書き方について学ぶ③	事業所	伊藤　裕子	7
3	利用者の疾病を知る　～統合失調症について～	事業所	工藤　恵子 小松　政子	7

3.　品質目標活動報告

【部門目標】　「分かりやすい記録の書き方について学ぶ」

【設定理由】

平成 30 年度まで「危険予知・原因分析・再発防止について学ぶ」ことに取り組んできた。取り組みの中で、原因分析し、再発防止を検討していくためには、分かりやすい報告書が大切であることを感じている。そこから、令和元年度の目標を、「分かりやすい記録の書き方を学ぶ」とし、誰が見ても分かりやすい記録を作ることが出来、気づきのレベルアップに繋げることを目標とし、学習していくこととしている。

【活動状況】

月	取組事項	内　容
6	報告書作成についてのアンケート実施	記録の書き方の勉強会を行っていく前に、ヘルパー全員を対象に、報告書作成に要する時間や困っていること・気を付けていること・知りたいことや、勉強してみたい内容について、アンケートを行っている。
7	アンケート集計・報告	アンケート結果を集計し、報告している。 アンケート結果を基に、今後の活動（研修）を進めていく事を、ヘルパー間で確認している。
8・9	研修内容調べ	研修担当者が、研修内容を調べている。

月	取組事項	内　容
１０	「分かりやすい記録の書き方」について学ぶ①	・アンケート結果で、皆がどんな記録を書きたいか、どんなことで悩んでいるのかを確認している。また、勉強しながら、悩んでいることが解決できるまで取り組んでいく事を確認している。・介護記録の書き方～基本的なポイントと効率化のコツ～５W1H と客観・主観を分けて書くことを詳しく学んでいる。
１１～３	基本的なポイントと効率化のコツを確認しながら記録してみる。	介護記録の書き方～基本的なポイントと効率化のコツ～を、パソコン入力の際確認できるように掲示し、確認しながら記録している。
１２	「分かりやすい記録の書き方」について学ぶ②	・前回の研修を復習している。その後、良い書き方と好ましくない書き方の例文を読み、良いところと、ポイントを確認している。
2	・「分かりやすい記録の書き方」について学ぶ③ ・報告書作成についてのアンケート実施	・前回の研修を復習している。その後、他事業所の文章を読み、どこが分かりやすくなっているか確認している。 ・6 月に行った報告書についてのアンケートと同じ質問でアンケートを行い、学習後の変化を確認している。

【まとめ】

記録の書き方の基本的なポイントを意識しながら記録することで、文章が分かりやすく変化していくことを実感することが出来ている。

日々の記録の入力時間は、短くなっている傾向がある。また、記録の内容について、再確認しなければいけないことが、以前より少なくなってきている。

ヒヤリハット・不適合・苦情報告書に関しては、提出された報告書の発生状況で、原因分析を掘り下げることが出来、再発防止につながっている。

課題として挙げられることは、ヒヤリハット報告書４件の提出に対し、不適合報告書が７件とヒヤリハットを上回り、ヘルパーの気づきのレベルアップに繋がっているとは言えないことである。

令和２年度は、学習したことを定着させる活動を行い、「気づき」を分かりやすく文章にまとめ、事故や不適合に繋がらないように取り組んでいく予定である。

令和元年度　ケアプランセンターおおたき　事業報告

令和元年６月にケアプランセンターはぎのだいが開設され、それに伴い当事業所もケアプランセンターおおたきと事業所名を変更した。センターが二カ所になっても居宅介護支援部門としての会議や内部研修等については二事業所合同で開催し、関連する取り組みは協働しながら業務を行っている。

事業実績については、当事業所単独で見ると請求実利用者数は増加傾向にあるが、居宅介護支援部門全体としては前年比で漸減傾向となっており、引き続き、新規利用依頼が受けられるように取り組む必要がある。

ほか、平成３０年度に引き続き、「大館市居宅介護支援事業所連絡会」への参加協力、その他市立総合病院や秋田労災病院などで行われた医療介護関連の研修に参加するなど、居宅介護支援事業所として関係機関と連携の機会を持ち、信頼関係の構築に努めてきた。

部門内の重点目標としては、「業務のムダをなくす」と設定し取り組んだ。会議開催の時間変更や文書の回覧方法の変更、サービス提供票及び別表配布の分担など、効率が悪かった業務の見直しを行うことができた。今後もムダの排除に向け改善に努めたい。

最後になるが、ケアマネジャー個々の力量向上こそが居宅介護支援業務全体の質の向上へつながり、そのことが利用者、家族そして地域の関係機関からの信頼獲得へとむすびついていくことを踏まえ、日々研さんに努めていくことを誓い、事業報告とする。

令和２年３月３１日

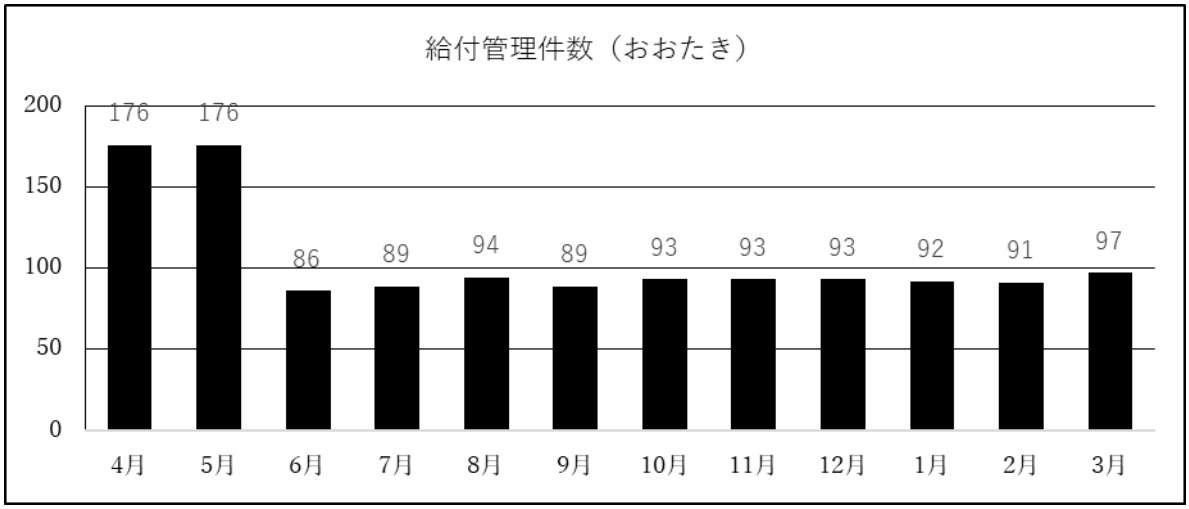
ケアプランセンターおおたき
管理者　伊藤　政利

１．事業実績

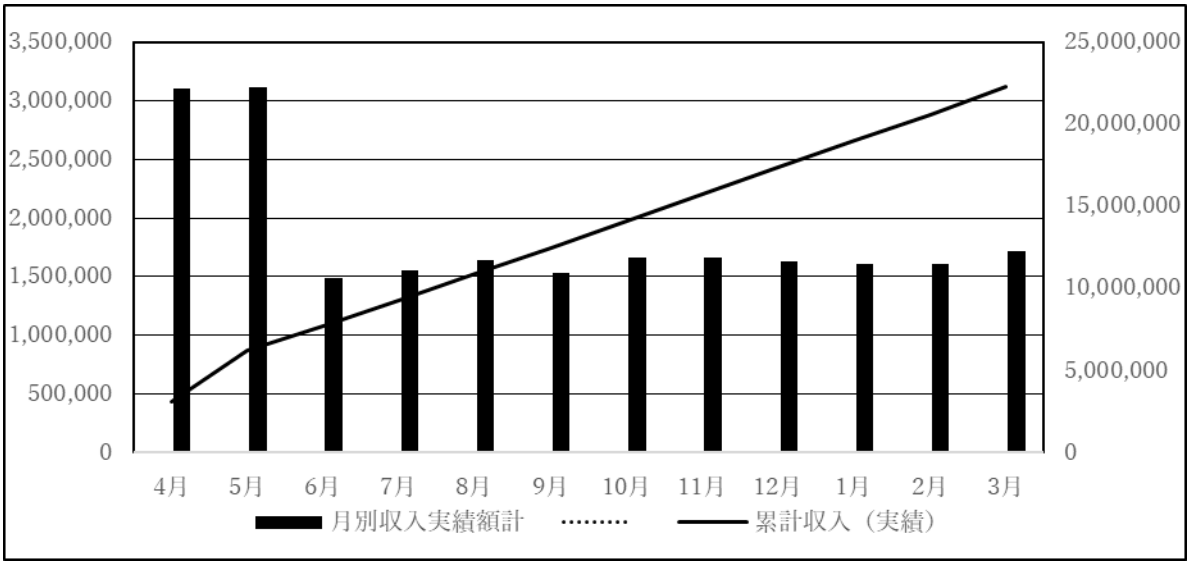
(1) サービス実績

	年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
請求実利用者数	R1	176	176	86	89	94	89	93	93	93	92	91	97	1,269
予防受託件数	R1	15	15	7	5	4	3	2	2	3	4	4	4	68

(2) 請求実利用者数



(3) 月別収入実績



(4) 要介護度別利用者数

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	延数	構成	計
要介護 1	65	65	26	28	34	32	35	31	30	30	28	29	433	34.2%	67.4%
要介護 2	51	51	33	34	30	31	30	31	33	32	31	33	420	33.2%	
要介護 3	35	32	17	15	15	15	16	16	17	18	20	22	238	18.8%	32.6%
要介護 4	18	19	9	9	10	8	9	11	10	9	9	10	131	10.4%	
要介護 5	7	9	1	2	3	3	3	3	3	3	3	3	43	3.4%	
計	176	176	86	88	92	89	93	92	93	92	91	97	1,265		

2. 研修参加状況

(1) 内部研修

月	研 修 名	場 所
4	あいまいになりがちな法令上の知識を学ぶ①	在宅事業所面接室
6	あいまいになりがちな法令上の知識を学ぶ②	ケアアプランセンターはぎのだい
7	あいまいになりがちな法令上の知識を学ぶ③	ケアアプランセンターはぎのだい
8	求められている記録とは何か	ケアアプランセンターはぎのだい
9	デスカンファレンス	ケアアプランセンターはぎのだい
１０	居宅療養管理指導とは－基礎編－	ケアアプランセンターはぎのだい
１２	居宅療養管理指導とは－応用編－	ケアアプランセンターはぎのだい

(2) 外部研修

月	研 修 名	場 所	参 加 者
6～8	秋田県介護支援専門員更新研修	秋田市	児玉京子
10～11	秋田県主任介護支援専門員研修	秋田市	石垣恵美子
9～10	秋田県主任介護支援専門員更新研修	秋田市	平澤陽
10	秋田労災病院　他機関合同研修①	大館市	伊藤政利、児玉京子
10	医療的マインドを持った介護職講座	大館市	児玉京子
11	秋田労災病院　他機関合同研修②	大館市	伊藤政利、児玉京子、平澤陽

3. 品質目標活動報告

【部門目標】　　業務のムダをなくす。

【設定理由】

ケアマネジメント業務を行なうにあたり、目の前の業務の対処で精一杯となり、ルーティンで行なうべき業務やそれに関係する記録類が滞る状況等が生じる。日々の業務における非効率な業務の抽出を行ない、業務の見直しを図る。

【活動状況】

月	取組事項	内　容
4	ゴールの共有、年間の取組み内容の決定	方向性の確認を行なう
5	現状の把握	「ムダと思われる業務」の確認
6	〃	〃
7	対策の実施	回覧が必要な書類と不要な書類に区別して回覧する

月	取組事項	内　容
8	効果の確認、現状の把握、対策の実施	請求業務を一人で行う
9	効果の確認、現状の把握、対策の実施	会議の時間を変更する
１０	効果の確認、現状の把握	
１１	現状の把握	
１２	対策の実施	会議の記録と電話当番を輪番にする。提供票配布の準備作業を行う。
1	効果の確認、対策の実施	手順を変えて提供票を配布する
2	効果の確認、次年度の取組み内容を検討	
3	まとめ	報告書の作成

【まとめ】

ムダと思われる業務を洗い出し、業務の見直しを行った。結果、まだ改善が必要な部分は残っているものの、取り組んだ業務全般の手間は減り一定の効果が得られた。また、取り組みによって、改善の仕組みに目を向けることが出来たのは大きな成果であった。

令和元年度　ケアプランセンターはぎのだい　事業報告

令和元年６月１日に、小館花字萩野台にケアプランセンターはぎのだいを開設した。

地域の住民が安心して暮らせるよう、気軽に相談できるような場所でありたいと努めてきたが、どのように周知をしたら良いのか戸惑いながらの事業運営であった。業務もある程度軌道に乗っているため、今後は地域住民への働きかけが必要だと感じている。

部門内の研修では、あいまいになりがちな法令上の知識を学び、根拠をもって業務を遂行できるよう取り組んだ。また、活用の少ない居宅療養管理指導についての知識を広げ、よりケアマネジメント業務にいかしていけるようスキルアップを図った。

外部研修については、各団体や組織が企画する研修に参加し、関連領域に関する学びの機会を設けることができた。このほかにも、大館市居宅介護支援事業所連絡会や地域包括支援センターが定期で開催している事例検討会に参加し、知識や技術の研鑽を図っている。

また、大館市在宅介護医療連携推進協議会における各取り組みにも参加し、行政を含む関係機関と協働しながら大館市の在宅医療の普及啓発等について取り組んできた。

今後も、ケアプランセンターおおたきとの協働を図りながら、ケアマネジャー個々の資質向上に努めると共に、医療機関や地域包括支援センターとの信頼関係を構築し、安心して連携できる事業所を目指し、地域の居宅介護支援事業所として今後も大館市全体の利益を見据え活動していくことを誓い、事業報告とする。

令和２年３月31日

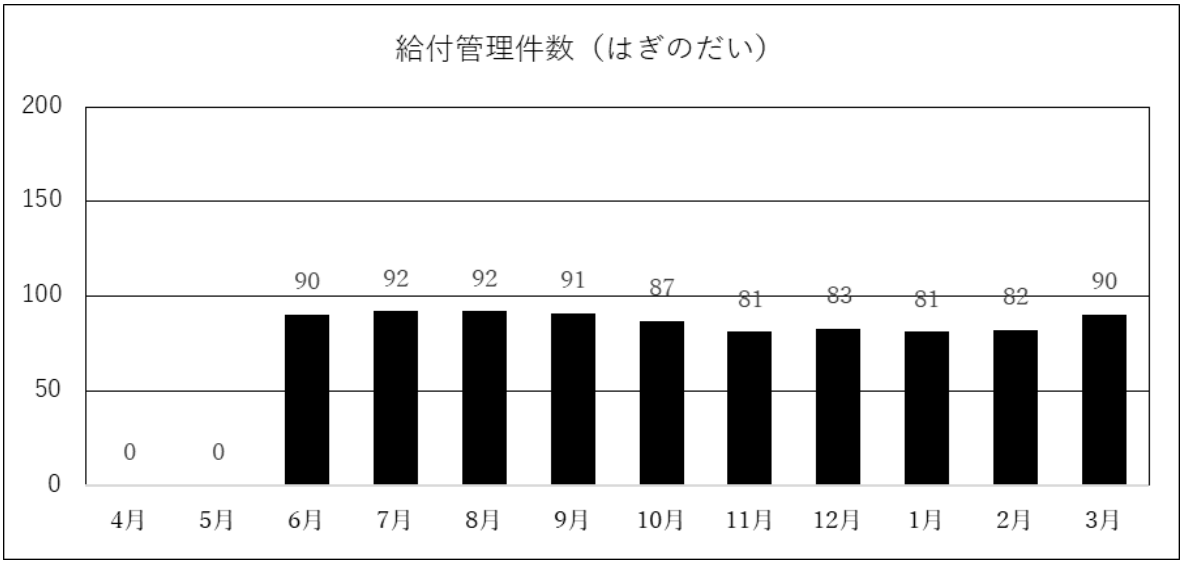
ケアプランセンターはぎのだい
管理者　伊藤　恵子

1.　事業実績

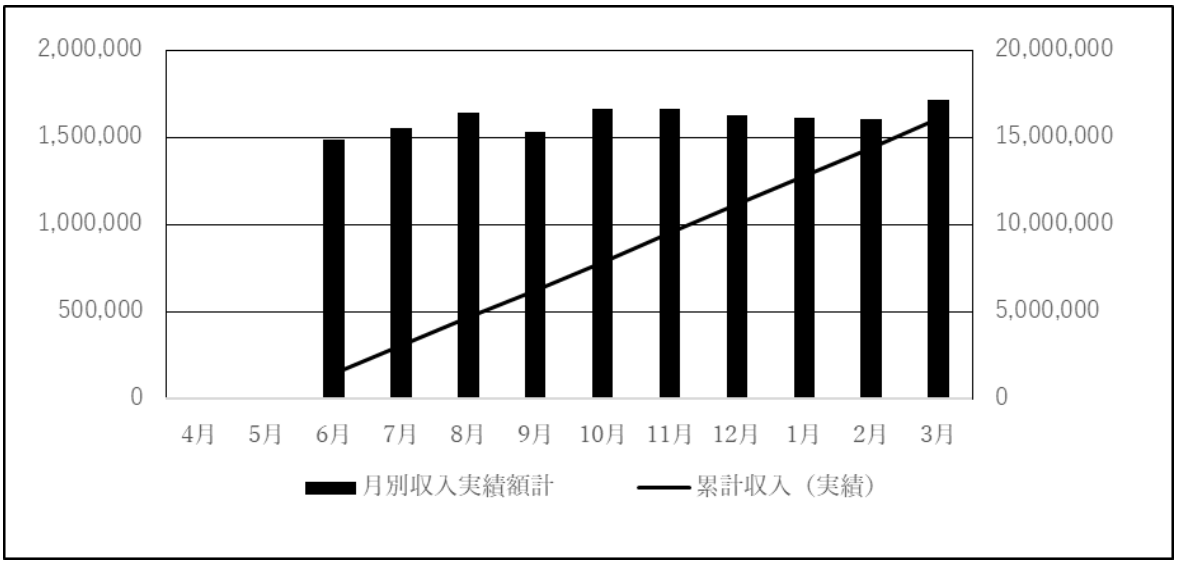
(1) サービス実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
請求実利用者数			90	92	92	91	87	81	83	81	82	90	869
予防受託件数			8	8	8	6	5	5	5	5	6	7	63

(2) 請求実利用者数



(3) 月別収入実績



(4) 要介護度別利用者数

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	延数	構成	計
要介護１	0	0	40	40	39	40	38	32	35	36	37	35	372	42.8%	68.5%
要介護２	0	0	20	20	20	21	20	22	24	23	23	30	130	25.7%	
要介護３	0	0	14	16	16	13	13	14	13	11	10	10	130	15.0%	31.5%
要介護４	0	0	9	9	9	10	8	5	4	4	5	5	68	7.8%	
要介護５	0	0	7	7	8	7	8	8	7	7	7	10	76	8.7%	
計	0	0	90	92	92	91	87	81	83	81	82	90	869		

2.　研修参加状況

(1)内部研修

ケアプランセンターおおたきに同じ

(2)外部研修

月	研 修 名	場 所	参 加 者
１０	秋田労災病院　他機関合同研修①	秋田労災病院	目時恵、上田美穂子
１１	秋田労災病院　他機関合同研修②	秋田労災病院	目時恵
１１	大館市障がい者サポーター養成講座	大館市中央公民館	伊藤恵子、目時恵 黒澤繁子、上田美穂子

3.　品質目標活動報告

ケアプランセンターおおたきに同じ

令和元年度　大館市地域包括支援センターおおたき　事業報告

高齢者をはじめとする地域住民が住み慣れた地域で自立して生活していくことを実現するため、地域包括支援センターは総合相談支援、権利擁護、包括的継続的ケアマネジメント支援、介護予防支援の四つの機能の実践を通じて、地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを行っている。

大館市では、令和元年度より包括圏域を再編し、市内に 7 つのセンターが配置され、当センターは十二所・上川沿の二地区担当に縮小した。職員数も減数となり包括専従業務 2 名、生活支援コーディネーター1 名の 3 名体制でのスタートとなった。

これまで当センターが重点的に取り組んできた、地域に対するセンターの普及啓発活動の浸透や、また市内でも高齢化率の高い地域柄もあり、新体制と同時に総合相談受付は例年以上の伸びとなり、年間計 123 件の新規対応となった。この新規相談者への対応並びに既存業務、そして新体制の構築という事業展開となった（3 月は新型コロナウイルス感染拡大予防のため地域活動を中止）。

地域包括支援センターの機能は年々多様化し、また重要性も増している。特に、2025 年を見据えた地域包括ケアシステムの構築に基づく生活体制整備事業の展開は喫緊の課題であり、地域における支え合いの体制づくりを推進し、「誰もが安心して暮らせるまちづくり」のための土台として、当センターでは地域住民とともに、「地域支え合い推進会議（資源開発等を推進することを目的としたネットワーク、以下『協議体』）」の設置を推進してきた。

令和元年度は、住民を対象とした勉強会を経て、2 月に上川沿地区に『協議体』を発足させ、十二所・上川沿の両地区に『協議体』を立ち上げることができた。

これからは、この体制を足がかりに地域住民の意識を「支え合い」に向け、住民同士の支え合い活動の取組みを支援することや住民一人ひとりの健康づくり・生きがいづくりを促進し、フレイル（虚弱状態）や要介護状態を未然に防ぐための取り組みを推進していくことで、地域住民が健康に安心して暮らしていくことができるよう、これまでに培ったセンター機能を発揮していくことを誓い事業報告とする。

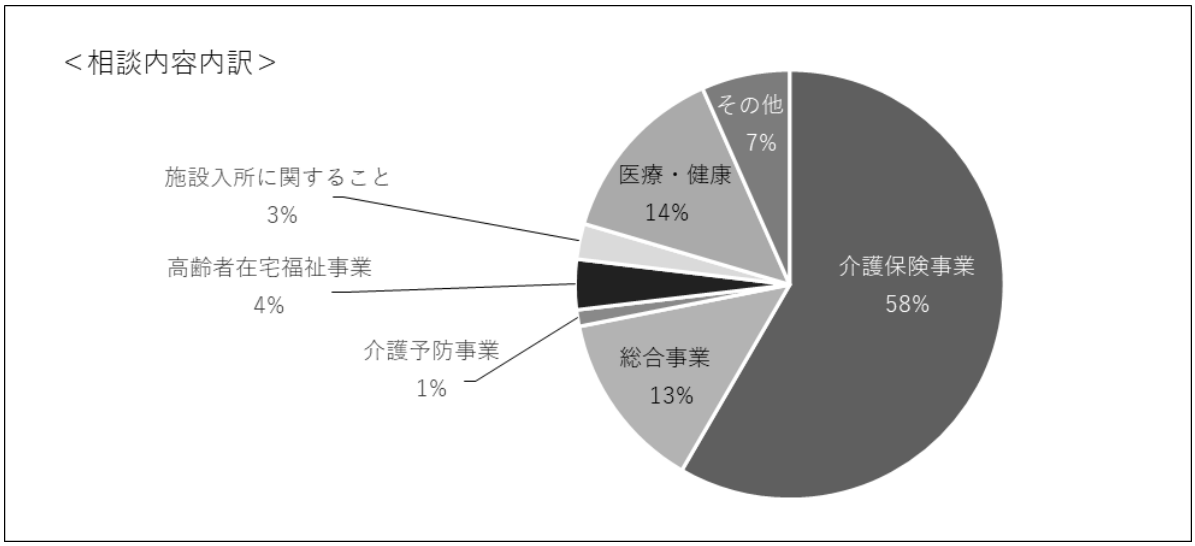
令和 2 年 3 月 31 日

大館市地域包括支援センターおおたき
管理者　虻川　江美子

1. 事業実績

(1) 相談受付状況

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
相談方法	電話相談	54	30	34	61	42	69	40	43	68	73	58	84	656
	来所相談	8	5	9	5	3	4	6	4	5	9	7	6	71
	訪問相談	53	62	52	70	53	73	76	61	66	5	64	65	740
	その他	8	4	10	12	11	4	3	1	8	7	4	4	76
相談内容	介護保険事業	75	62	49	87	60	94	88	65	78	88	61	88	895
	総合事業	11	16	21	11	14	18	20	15	26	19	16	20	207
	介護予防事業	5	1	3	3	2	0	0	1	4	0	0	0	19
	高齢者在宅福祉事業	1	6	5	13	4	4	2	3	5	1	5	9	58
	施設入所	1	1	2	4	5	2	1	6	2	7	6	4	41
	医療・健康	16	8	11	20	15	28	11	13	16	23	23	27	211
	成年後見制度	0	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	虐待の対応	0	0	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	消費者被害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	14	6	10	5	9	4	3	6	16	6	12	11	102
	合計	123	101	105	148	109	150	125	109	147	144	123	159	1,543



(2) 指定介護予防支援・介護予防ケアマネジメント

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計(実)
要支援１	22	23	29	30	29	34	33	32	32	35	33	35	367
要支援２	55	58	57	59	59	59	59	59	59	59	59	63	703
事業対象者	48	46	50	40	47	46	47	46	47	44	44	41	546
対象者数計	125	127	136	129	135	139	139	137	138	138	140	133	1,616
(うちプラン作成件数)	109	108	111	110	108	108	108	110	111	109	110	110	1,312
(うち委託件数)	13	13	15	13	13	12	10	10	10	13	14	13	149

(3) 介護予防事業など

① 生きがい健康づくり支援事業

開催回数： ３８回　　参加延べ人数： ４００名

内容：脳トレーニング、軽体操、レクリエーション

・レクリエーション内容：ゴルフ、ビーンボーリング、スカットボール、ボッチャ等

② 家族介護者教室

開催回数： ８回　　参加延べ人数： ９２名

テーマ：もしものときのために「人生会議」

～自らが望む、人生の最終段階の医療・ケアについて話し合ってみませんか～

③ 認知症予防事業

(ア)認知症予防教室

開催日： 令和元年９月３０日　　参加人数： ３４名

会場： 特別養護老人ホーム　つくし苑

テーマ： 笑いヨガを楽しもう♪

～笑うヨガで元気！笑うって体にいい！笑うって気持ちいい！～

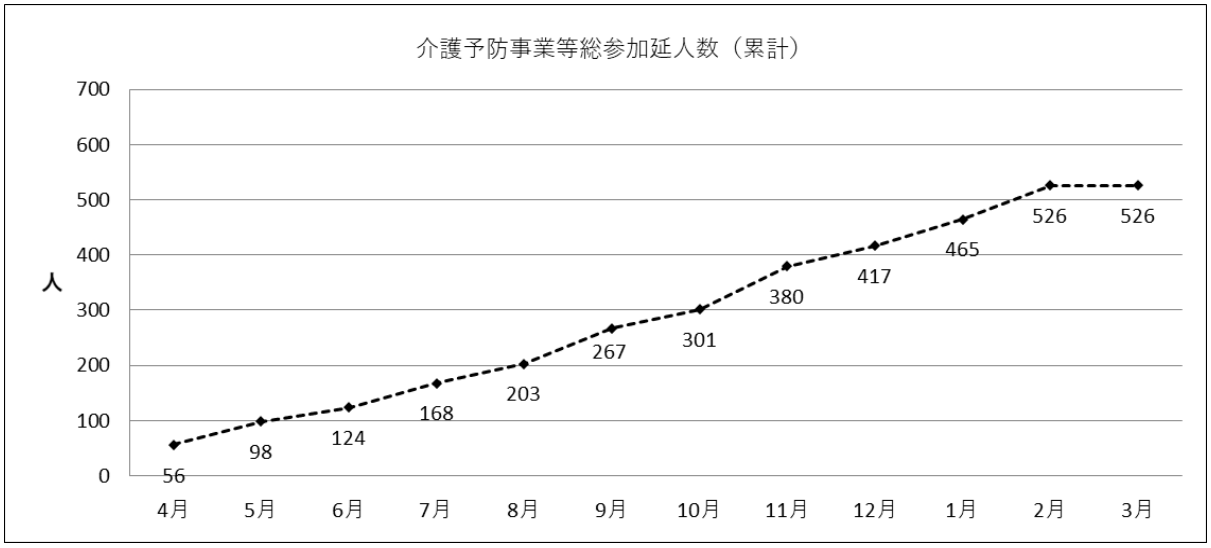
講師： 袴田　清枝氏（認定ラフターヨガリーダー・スマイル）

(イ)認知症カフェ・・・認知症予防教室終了後、同日開催

(ウ)その他）市主催の認知症カフェの運営スタッフとして協力参加（月１回）

事 業	会 場	回数（実績/予定）
生きがい健康づくり支援事業	1.北部シルバーエリアコミュニティセンター	１０　／１２
	2.十二所公民館	3　／　3
	3.五輪岱自治会館（軽井沢）	3　／　3
	4.別所会館	3　／　3
	5.沢尻生活センター	3　／　3
	6.上新町会館	2　／　2
	7.曲田自治会館	1　／　2
	8.上川沿公民館	3　／　3
	9.特別養護老人ホーム　山館苑	4　／　3
	10.根下戸会館	2　／　2
	11.舟場会館	3　／　3
	12.その他（大滝自治会館）	1　／　3

家族介護教室	各地区（上記 1.2.3.4.6.8.10.11.で開催）	8　　／１０
認知症予防教室	特別養護老人ホーム　つくし苑	1　　／　1



2.　会議開催状況

(1) ネットワーク協力員会議

開催日	会議名	概　要
4月21日	地域ネットワーク協力員会議	包括おおたき事業報告・事業計画説明、生活体制整備事業報告・事業説明、その他情報提供・意見交換等
9月27日	地域ネットワーク協力員会議	『生活体制整備事業ってなに？』 ～助け合いを体験し自分にできることを考えよう～
3月17日 （中止）	地域ネットワーク協力員会議 地域ケア会議	・品質目標活動、顧客満足度調査の報告 （新型コロナウイルス感染予防のため中止、書面にて報告） ・地域ケア会議（中止）

(2) 地域ケア個別会議

開催日	概　要	年度末の状況
6月18日	事例）要介護高齢者の老々介護 目的）個別課題解決およびネットワーク構築 参加）本人・介護者・担当ケアマネ・福祉医療関係機関ほか	在宅生活の継続
8月23日	事例）認知症独居高齢者 目的）個別課題解決およびネットワーク構築 参加）本人・家族・民生委員・担当ケアマネ・福祉関係機関ほか	長期入院
10月25日	事例）認知症高齢者 目的）個別課題解決およびネットワーク構築、地域課題の発見 参加）地域住民・担当ケアマネ・福祉関係機関	在宅生活の継続
1月24日	事例）認知症高齢者 目的）個別課題解決およびネットワーク構築、地域課題の発見 参加）本人・介護者・地域住民・担当ケアマネ・福祉関係機関	在宅生活の継続

開催日	概　要	年度末の状況
2月14日	事例）独居高齢者 目的）個別課題解決および地域課題の発見 参加）本人・支援者・地域住民・包括担当・福祉関係機関他	在宅生活の継続

(3) 高齢者虐待対応会議　・・・該当事例なし

(4) 包括おおたき圏域居宅連絡会

担当圏域内にある居宅介護支援事業所（おおたき/はぎのだい/くらす/山王台）に対し定例開催

開催日	内容/参加人数	事例提出/テーマ
4 月24日	事例検討会　（11名）	介護相談室くらす 「キーパーソンが精神障害疑いのある支援困難事例」
6月26日	事例検討会　（12名）	ケアプランセンターはぎのだい 「本人の意向とケアマネの見立てが異なる退院支援」
8月7日	事例検討会　（12名）	介護サービスセンター山王台居宅介護支援事業所 「治療と本人の自己決定を尊重する支援とは」
10月24日	事例検討会　（10名）	ケアプランセンターはぎのだい 「認知症の進行がみられるが関わりを持てない事例」
12月11日	勉強会　（15名）	『支援者のための傾聴講座』 講師：大館市立総合病院　相談支援センター 医事課長補佐兼相談支援係長　工藤賢一氏
2月26日	スーパービジョン　（11名）	介護相談室　くらす 「4月事例検討会後の経過報告とスーパービジョン」

(5) その他会議等への参加状況

会議名等	回数/職員
大館市地域包括支援センター連絡会	10 回（全員）
大館市地域包括支援センター運営協議会　（8 月 11 日） 大館市地域ケア推進会議　（　〃　）	1 回（虻川）
大館市自殺予防対策協議会委員　（任期：H31.4.1～R2.3.31）	なし（虻川）
大館市在宅医療・介護連携推進協議会「専門職の勉強会・場づくり」専門部会	2 回　（町井）
消防署防火診断（消防員との同行）	1回（町井）
グループホーム山王台運営推進会議	3回（町井）
大滝温泉サロン千歳運営推進会議	1回（虻川）
特別養護老人ホーム山館苑地域連携会議	2 回（虻川）
地域支え合い推進会議・勉強会	6回（全員）
各地区民生児童委員・福祉員会議への出席	なし
認知症サポーター養成講座	なし

3. 生活支援体制整備事業

大館市生活支援体制整備事業は、高齢者の介護予防と住民主体の助け合い・支え合い活動による生活支援（買い物・外出・その他）を、一体的に進めることを狙いに、市より受託している事業である。7 つの包括圏域（第２層）に生活支援コーディネーターが配置されており、市全域（第１層）と協働し活動している。

十二所では、居場所を取り巻く地域ニーズに対応するため、地域支え合い推進会議のテーマを「気軽に集まる場の充実」とし、委員および各自治会の協力を得て地区広報誌発行の仕組みをつくり、地域住民の社会参加の促進や担い手づくりのきっかけとなる、情報発信に取り組んだ。

また、上川沿ではこれまで関わりが薄く、それぞれの組織関係者との関係づくりからのスタートであったが、公民館の協力もあり町内会長連絡協議会で研修会を開催してからは、少しずつ地域住民と顔の見える関係を構築することができ、2 回にわたる支え合い勉強会実施後、地域支え合い推進会議を立ち上げ、目的と役割について委員と共有を図ることができた。

そのほか、大館市の第１層生活支援コーディネーターと協働し、勉強会や寸劇、行政広報誌や新聞などによる広報、事業周知を目的とした活動、サロンの継続を支援する活動等をおこなった。また、さわやかサポーターのフォローアップとして、勉強会を開催後、活動意欲のある十二所地区の五輪岱さわやかサポーターの生活支援団体立ち上げに向けて関わりを続けている。

（1）地域支え合い推進会議の開催状況

開催地区	開催日	内容	参加者
十二所地区	5月１５日	気軽に集まる場の充実に向けて、できることの検討	14 人
	9月２６日	地域で行う具体的取り組み計画の作成	13 人
	１２月１９日	支え合いに関する広報を発行する仕組みづくり	16 人
上川沿地区	2月２１日	地域支え合い推進会議の目的と役割について共有	15 人

（2）勉強会の開催状況

開催地区	会議名	概要	参加者
十二所地区	さわやかサポーター勉強会	会場　：十二所公民館 開催日：7 月 17 日 内容　：有償ボランティアの意義	20 人

開催地区	会議名	概要	参加者
		・事例紹介・グループワーク他	
	生活支援団体立ち上げ支援	会場　：五輪岱自治会館（軽井沢） 1 回目：9 月 3 日　、2 回目：12 月 3 日 3 回目：1 月 28 日	①　約 10 人 ②　7 人 ③　10 人
上川沿地区	地域支え合い勉強会	会場　：舟場会館（舟場米白クラブ対象） 開催日：5 月 5 日 内容　：事業説明・グループワーク他	約 20 人
	地域支え合い勉強会	テーマ：「安心して暮らせる地域づくり」～上川沿地区の支え合いについて考える 会場　：上川沿公民館 1 回目：9 月 9 日 　・事業説明、地域助け合い体験ゲーム 2 回目：10 月 28 日 　・協議体設置について（委員の人選）	①　38 名 ②　26 名

(3) その他

生活支援体制整備事業連絡会	5回
大館市支え合い推進会議（第1層協議体）への出席	3回
地区民生児童委員会議への出席　　（十二所地区）	2 回
〃　　（上川沿地区）	3 回
町内会、老人クラブ、地域団体、専門職団体の集会での事業周知活動	3回
各地区サロン、集いの場などへの訪問参加	毎月
担当圏域学校の地域活動行事などへの参加協力	2 回
大館市さわやかサポーター養成研修会　（　2月：中央公民館　）	1 回
みんなで集まってできる元気アップ運動教室　（10月：十二所公民館/上川沿公民館）	2回

4. 研修会への参加状況

（包括関係）

月	研修名	場　所	参加者
7	令和元年度　自立支援・介護予防普及トップセミナー 「高齢者の自立支援・介護予防を推進するため、市町村に求められるもの」	秋田市	虻川江美子

月	研修名	場　所	参加者
8	令和元年度　自立支援型地域ケア会議実践研修（司会者編　）	三種町	町井　脩徒
	介護支援専門員研修（専門Ⅱ/更新）	秋田市	虻川江美子
9	令和元年度　認知症施策担当者研修会	鹿角市	虻川江美子
10	令和元年度　秋田県地域包括・在宅介護支援センター協議会職員研修会「在宅支援事業の効果的な活用について」	秋田市	虻川江美子
	令和元年度　介護職のためのフィジカルアセスメント　「医療的マインドを持った介護職講座」～医療につなぐ新しい介護の視点～	大館市	町井　脩徒
	秋田労災病院　他機関合同研修①	大館市	虻川江美子 町井　脩徒
	大館市障がい者サポーター養成講座	大館市	虻川江美子 町井　脩徒
11	秋田労災病院　他機関合同研修②	大館市	市村めぐみ
	令和元年度　健口づくり連携推進研修会	大館市	町井　脩徒

（生活支援コーディネーター関係）

月	研修名	場　所	参加者
11	岩手県における生活支援・外出支援のあり方を考える　シンポジウム	盛岡市	市村めぐみ
12	生活支援コーディネーター活動支援研修会	秋田市	市村めぐみ

5.　品質目標活動報告

【部門目標】　　上川沿地区を可視化し情報発信に活用できる

【設定理由】

上川沿地区はこれまで関わりが薄く、また他包括と担当地区の境界線が曖昧で把握しきれていない。自分たちが知らないということは、逆に地域住民も担当包括を知らないのではないか？包括の情報発信が十分に伝わらないことで、相談先となる包括がどこになるのかわからない、行政や他包括でたらい回しとなる、教室案内が届かない等の住民の不利益に繋がる。これまで十分に関われたとは言い切れない地域であり、地域を把握し情報発信する基盤をつくることで、これからの包括支援センターの活動に役立てていきたい。

【活動状況】

	取組事項	内容
4 月	目標の設定・活動計画	課題と目標の確認・活動計画作成
5～7 月	マップ作製 マップ（拡大版）完成	マップ作製　他包括との境界線確認 住宅地図へ境界線転記・現地確認・目視
8～9 月	マップ（地区割）完成 情報発信開始	民生委員の担当範囲の確認 敬老会・地区文化祭・健康教室等でのポスター掲示やリーフレット配布による情報発信を開始（2 月まで随時）
10 月	マップ（地区割）に凡例	必要な情報を地図上に表記

	表記	
11～１月	情報発信の実績記録	情報発信の実績確認
２月	評価・まとめ	年間のまとめ

【まとめ】

上川沿地区のマップをつくり、可視化することで他包括と担当地区の境界線や、上川沿地区民生委員の担当範囲と担当地域が同じであることを確認することができた。この取り組みにより、担当地域の地域住民に包括の業務内容や、参加できる活動、支え合い勉強会の案内を情報発信することができた。当初は１枚ものの全体マップをつくる計画であったが、地図縮尺の違いがあり、活用の利便性のため、Ａ3 版に地区分割したマップも作製し必要な情報を表記した。今後も随時、地図情報を更新し、センター活動に役立つツールとして活用していきたい。

令和元年度　大館市ケアハウスほうおう　事業報告

■ 大館市ケアハウスほうおう（一般型 30 床、特定施設入居者生活介護事業 20 床）

令和元年度は新規入居者が７名、退居者は９名であった。年度当初は重度の要介護者が多数在籍している状況であったが、下半期には他施設への移設ができたことで、入居者の重度化を緩和すると共に、新規入居者の受け入れを行うことができた。新規入居者の受け入れに際し感じるのは、身元引受人が北東北３県以外の在住者や、実子以外の親戚者などのケースが増えていることである。身元引受人は金銭的な責務の他に、緊急受診等の対応なども行えるのが望ましいが対応困難なケースも増えてきている。このようなケースは今後増加することが予想される。安定的に入居者を確保するためにも、今後は身元引受人の要件についても整備する必要がある。

これまでは、基本的に入居者が要介護度３以上になった場合、特別養護老人ホーム等に入所申し込みすることとしてきた。しかし、ケアハウスの待機者状況や入所者全体の援助量や事業所の収入なども考慮して移設を検討する必要性を感じており、手順の見直しに取り組む。

また、職員の介護技術向上を図るための施設内研修を実施することを目標に、「倫理及び法令順守」、「介護予防」、「プライバシーの保護」、「認知症の理解」等々の内部研修を事業所内の事例を元に実施し、職員の理解・技術向上に繋がった。

「家族との連絡を密にとる」との目標に対しては、顧客満足度調査において「緊急受診時には必ず連絡を貰っている。」などの評価により、92.3%の満足度を得た。しかし、少数ながら「平時での連絡が少ない。」、「半年に一度位に状況を知りたい。」等の意見もあり、要望に応えるべく対策を講じていく。

令和２年１月からの新型コロナウイルスの影響により、入居者には「外出制限、面会制限、外出・集団・外来者行事の中止等の対応にて不便をかけ、ストレスを感じさせている状況にある。ウイルス収束まではやむを得ない対応であるが、引き続き入居者の生命・健康を守るための対策を講じながら、ストレスにも配慮した対応を行う。

■　配食サービス事業

平成２９年度より、大館市介護保険事業の地域支援事業として本事業を開始している。令和元年度は事業開始から三年目となり、６月からは利用者からのニーズに合わせ、ご飯無し対応（おかずのみ）も開始した。在宅部門の協力により、前年の約 1.7 倍にあたる年間 2,508 件の利用件数となった。毎日配食を利用する利用者が増えたことが要因である。栄養バランスに配慮した食事（1 食あたりの概ねの基準）を設けることで、栄養教育の教材としての配食が実施できた。

令和 2 年 3 月 31 日

大館市ケアハウスほうおう

施設長　花田　繁盛

1. 部門別報告

【介護部門】

令和元年度は「新任職員が独り立ちする為の職務基準を考える」という目標に取り組んだ。今まで教える側も新任職員も明確な独り立ちの基準がなかったため、双方が不安を抱えながらの独り立ちであった。介護員にアンケートを実施し、チェックシートを作成した。

【看護部門、相談部門】

令和元年度は、緊急時に必要な情報様式として挙げられた「情報提供書」「アセスメント表」「入院時の必要物品チェックリスト」の運用状況の確認と管理方法の確立に取り組んだ。「入院時の必要物品のチェックリスト」に関しては、入院物品のセット化により、入院時の必要物品が最小限となった為、チェックリストは廃止した。

「情報提供書」と「アセスメント表」は、未だ運用状況の確認と周知に至っていないため、次年度も引き続き、課題として取り組んでいく。

【栄養部門】

「バイキング食の充実を図る」

令和元年度、バイキング食は 7 回実施した。ケアハウスには、温冷配膳車が無いため日頃から温かい食事をあまり提供できていなかった。そのため、バイキング時は調理後すぐ大皿で提供できる献立を毎回入れるよう工夫をし、入居者にも好評を得た。しかし、入居者のＡＤＬ（日常生活動作）の低下により、バイキングに参加できる入居者は 1/3 程になっている。あらかじめバイキングメニューからセットしたメニューを食する入居者にもバイキングの雰囲気を楽しめるよう、職員が料理を持って回り選んでもらうなど工夫した。また、職員と一緒に会食することにより、入居者も会話を楽しんでいる様子が見られた。

嗜好調査でもバイキングは大変好評であり、メニューや提供方法をさらに工夫しながら今後も行う。

【事務部門】

交換の必要な設備や不具合の起きている機器等は、緊急時も含め速やかに大館市に対し予算要求を行った。

また、各居室の出窓や衛生設備等台数の多い設備も含め、経年劣化により交換が必要とされる個所は、おおよその年次計画として大館市へ提示することができた。その中から特に急を要するもの、突発的な修繕も含め大館市と協議しながら今後も予算要望を継続していく。

2.　品質目標活動報告

(1) 介護部門

【部門目標】　新任職員が独り立ちする為に必要な教育基準を考える

【設定理由】

ケアハウスでは新任職員が独り立ちをするための教育基準がなく、一定の時間と共に独り立ちさせている状況である。明確な評価基準や確認方法がない中で、新任職員も指導する側の職員も不安を感じて業務にあたっていた。

このため、新任職員が安心して次のステップに進めるよう新任職員の教育基準を考える。

【活動状況】

月	項　目	内　　容
4	目標の設定	介護部門会議で品質目標の確認
6	現状把握	担当者による現状把握
7 8	現状把握	介護員に現状把握並びに意見聴取のためアンケートを実施
9	あるべき姿の設定	アンケート結果をもとに、介護員間で話し合い、チェックシートで独り立ちの確認をすることとした。チェック内容は、介護員の意見を反映するため再度アンケートを実施
１０ ～ １２	独り立ちの基準の検討、立案	介護員のアンケートをもとに、チェックが必要な項目をまとめた。その上で暫定的なチェックシートを作成
1 2	標準化	チェックシート作成、運用方法の確認
3	歯止め、まとめ	活用できる方法について、介護部門会議で確認

【まとめ、歯止め】

新任職員と部門責任者のすり合わせ等は、これまでも行われてきたものの、明文化していなかったため、今回チェック表に明文化することができた。職員からも意見を聞きながら、独り立ちのチェック表や新任職員教育基準を作成した為、現場の声を活かすことができた。そのおかげで、内容も簡略的かつ仕事内容を網羅するものができた。

歯止めとしては、チェック表を確実に活用できるように、すり合わせ時期をスケジュールに組み込むこと、新任職員用のフォルダを作成し必要な書類を使いやすいようにすることがあげられる。

3.　事業実施状況

月	実施日	行事部門	実施日	管理部門
4	10 17 24 25 26	買物ツアー 市長・市議不在者投票 観桜ドライブ 買物代行 昼食バイキング	4 5 9 12 18 19 23 23 24	浄化槽保守点検 緊急連絡装置点検 ガス設備保守点検 敷地内ゴミ拾い 水質検査 浄化槽保守点検 エレベーター点検 グリストラップ汲み取り 大館市社会福祉施設等災害支援 NW 幹事会
5	15 23 29 31	買物ツアー 外食ツアー（味よし亭） 買物代行 昼食バイキング	8 10 15 16 20 21 23 24 25 28 28～29 28 29 31	コンビオーブン水漏れ修理 浄化槽保守点検 法人監事監査会 浄化槽法定検査 自動ドア点検 緊急連絡装置点検 エレベーター点検 浄化槽法定点検 自動ドア点検 サッシクレセント交換修理 館内ガラス清掃 102 号室温水器交換 理事会 衛生害虫駆除作業
6	12 14 17～30 24 26	買物ツアー 避難訓練 嗜好調査 買物代行 昼食バイキング	4 5 6 12 13 14 19 20 21 27	苦情解決第三者委員報告会 駐車場ライン引き 浄化槽保守点検 評議員会・理事会 県北老連協役員会 121 号室窓サッシ修理 緊急連絡装置点検 大館市いきいき事業説明会 浄化槽保守点検 空調設備保守点検

月	実施日	行事部門	実施日	管理部門
7	1 10 11 25	入居者健康診断 買物ツアー お楽しみ昼食会 買物代行	1～2 4 5 10 10 16 16 17 18 19 24 24	職員健康診断 災害ネットワーク避難訓練 浄化槽保守点検 成章小学校３年生交流会事後指導 厨房設備保守点検 まな板殺菌庫入れ替え １０１号室窓サッシ、駆動台車ユニット交換 二井田保育所避難（駆けつけ）訓練 第 25 回参議院議員通常選挙不在者投票 浄化槽保守点検 エレベーター点検 緊急連絡装置点検
8	3 14 29 30	つくし苑・ほうおう合同夏祭り 買物ツアー 買物代行 昼食バイキング	6 8 8 9 20 21 21 21 23 23 24 24 27 28	125 号室窓修理 成章園夏祭り 浄化槽保守点検 建築物定期調査 エレベーター点検 自動ドア点検 107 号室窓サッシ修理 浄化槽保守点検 管理棟床クリーニング、ワックス掛け 食堂ワックス掛け 2 階居住棟ワックス掛け 管理棟洗濯機更新 1 階居住棟ワックス掛け 害虫駆除
9	11 18 26	買物ツアー 敬老会 買物代行	6 7 12 13 20 24 28 29・ 10/1	浄化槽保守点検 男性浴室鏡交換 計量器検査 水道メーター交換 浄化槽保守点検 エレベーター点検 県処遇指導事業 ガラス清掃
１０	9 24 25 25	買物ツアー 日帰り旅行 買物代行 昼食きりたんぽ会	1・30 2 4 4 12 15 17 24 26	緊急連絡装置点検 医務室仕切り設置工事 浄化槽保守点検 消防設備点検 浴室カビ防止剤散布 停電検査 浄化槽保守点検 エレベーター点検 受水槽清掃

月	実施日	行事部門	実施日	管理部門
			28	昇降機定期検査
			29	大館市社会福祉施設等災害支援 NW 幹事会
			31	固体蓄熱式電気温水器（1 号機）修繕
１１	5・13 11 13 15 18 27 28 29	インフルエンザ予防接種 入居者相談会 買物ツアー インフルエンザ予防接種 みんなのおやつタイム（茶話会） 買物代行 外食ツアー（四六時中） 昼食バイキング	5・13 6 8 11 12 13 18 18 22 23 25 27 27 28 29	職員インフルエンザ予防接種 特殊建築物検査 浄化槽保守点検 水質検査 蓄熱暖房機メンテナンス 自動ドアメンテナンス エレベーター点検 災害図上訓練 浄化槽保守点検 厨房水道工事 105 号室 IH コンロ交換工事 緊急連絡装置点検 簡易専用水道検査 苦情第三者委員報告会 衛生害虫駆除作業
１２	11 18 24 25	買物ツアー 外食ツアー クリスマス会 買物代行	5 6 11 17 20 26	機械室給湯管接手修繕 浄化槽保守点検 厨房保守点検 エレベーター点検 浄化槽保守点検 コンビオーブンパッキン交換
1	15・29	買物代行	6 10 15 23 24 25 27	浴槽循環設備洗浄消毒作業 浄化槽保守点検 浴室水質検査 食洗器ブースターヒーター漏電応急処置 浄化槽保守点検 男性浴室タイル補修 エレベーター点検
2	3 12・26	開設記念食事会 買物代行	3 7 12 14～15 21 25・27	管理棟床ワックス掛け 浄化槽保守点検 自動ドア点検 館内床ワックス掛け 浄化槽保守点検 看護福祉大 SW 実習性受け入れ
3	11・25	買物代行	2～27 3～5 6 16～19 20 23 23	水回り設備点検（全館） 固体蓄熱式電気温水発生器修繕 浄化槽保守点検 非常照明バッテリー交換 浄化槽保守点検 消防設備点検 食堂誘導灯交換

月	実施日	行事部門	実施日	管理部門
			24	エレベーター点検

4.　研修実施状況

(1) 内部研修　※法人合同研修含む

月	日	内部研修(法人含)	参加者
4	22	腰痛予防、コンプライアンス研修	全職員対象
	24	法人研修　品質目標報告会	全職員対象
5	30	口腔ケア	直接処遇職員
7	24	プライバシー保護	直接処遇職員
8	26	身体拘束	介護員
9	4・10・18	法人研修「原因分析と再発防止」	ST4 階層職員
	24	管理職研修「スーパービジョン」	施設長補佐
１０	8	福祉職員キャリアパス対応生涯研修	法人監督職
１１	18・19	指導職研修「スーパービジョン」	法人指導職
	25～29	感染症対応について	介護員
１２	17・23	監督職研修「スーパービジョン」	法人監督職
1	20	管理職研修「福祉職員キャリアパス対応生涯復命研修」	施設長補佐
3	26	身体拘束	介護員

(2) 外部研修

月	日	外部研修(会議含)	場　所	参加者
4	19	県北地区老連協総会	大館市	花田　繁盛
	26	秋田県老人福祉連絡協議会総会	秋田市	花田　繁盛
6	20	栄養士会県北地区研修会	北秋田市	明石　淑子
7	18～19	施設等相談職員研修	秋田市	石田　浩幸
8	27	特定給食施設等関係者研修会（県北地区）	北秋田市	明石　淑子
１０	4～5	栄養指導技術研修会・学術集会	秋田市	明石　淑子
	23	秋田労災病院　他施設合同研修	大館市	石田　浩幸
１１	6	県北老連協施設長研修会	大館市	花田　繁盛 大坂　研一

5. ほうおう　利用者状況報告

集計日　　令和２年３月 31 日現在

(1) 年齢別・性別の状況（単位：人）

年齢 / 性別	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	計
男	0	0	1	0	2	1	1	1	0	6
女	0	0	1	4	5	10	11	5	0	36
計	0	0	2	4	7	11	12	6	0	42
平均男（85.8）　女（87.7）　全体（87.4）　最高（97）　最低（73）										

(2) 在所期間の状況（単位：人）

期間 / 性別	1 年未満	1 年以上 3 年未満	3 年以上 5 年未満	5 年以上 10 年未満	10 年以上 15 年未満	15 年以上 20 年未満	20 年以上　25 年未満	25 年以上	計
男	0	1	3	1	1	0	0	0	6
女	7	8	5	9	5	1	1	0	36
計	7	9	8	10	6	1	1	0	42
平均　男（5 年 5 月）、女（5 年 9 月）　最高　男（12 年 0 月）、女（20 年 11 月）全体　（5 年 9 月）									

(3) 入退所の状況（単位：人）

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
新規入所者	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	1	1	1	0	1	0	0	0	1	2	7
退所者	男	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	女	1	0	0	0	0	0	1	0	2	3	0	1	8
月末在所者数	男	7	7	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6	
	女	36	36	37	38	39	39	39	39	37	34	35	36	
	計	43	43	44	45	45	45	45	45	43	40	41	42	

（退所者の平均在所期間：8 年 0 ヶ月）

(4) 入所待機者の状況（単位：人）

	大館市内	他市町村・県外	合　計
平成 31 年 3 月末	9（内夫婦 2 組）	10（内夫婦 4 組）	19（内夫婦 6 組）
令和 2 年 3 月末	0（内夫婦 0 組）	0（内夫婦 0 組）	0（内夫婦 0 組）
増　　減	-9	-10	-19

(5) 介護度別の状況（単位：人）

要介護度	総合支援事業	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	計
平成 31 年 3 月末	4	1	3	10	9	3	3	1	34
令和 2 年 3 月末	3	5	3	10	5	2	1	0	29
増　　減	-1	4	0	0	-4	-1	-2	-1	

(6) 特定入居者介護度別の状況（単位：人）

要介護度	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	計
4 月	0	0	7	7	2	3	1	20
5 月	0	1	7	6	2	3	1	20
6 月	0	1	7	4	2	5	1	20
7 月	0	1	7	4	2	5	1	20
8 月	0	1	8	3	2	4	2	20
9 月	0	1	8	3	2	4	2	20
10 月	0	1	8	4	2	3	2	20
11 月	0	1	8	4	1	3	3	20
12 月	0	2	8	4	1	3	1	19
1 月	0	2	9	4	1	2	0	18
2 月	0	2	10	4	1	2	0	19
3 月	0	3	10	3	2	1	0	19
計	0	16	97	50	20	38	14	235
割　合	0.0%	6.8%	41.2%	21.2%	8.5%	16.2%	6.0%	

(7) 在所延べ人数（単位：人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
一　般	683	713	718	768	728	732	760	750	767	734	628	682	8,663
特　定	600	620	600	620	620	600	608	570	560	555	503	532	6,988
全　体	1,283	1,333	1,318	1,388	1,348	1,332	1,368	1,320	1,327	1,289	1,131	1,214	15,651

(8) 配食サービス延べ利用人数（単位：人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
平成 30 年度	164	161	147	122	115	127	129	111	103	100	95	123	1,497
令和元年度	143	145	120	204	214	228	221	227	274	226	235	270	2,507
増減	-21	-16	-27	82	99	101	92	116	171	126	140	147	1,010

令和元年度　大館市立老人福祉センター　事業報告

令和元年度は、予定外の休業もなく、計画通りに開館し事業運営を行うことができた。

利用者数は、目標の 42,000 人を大幅に上回る 46,300 人に達し、その内訳については回数券利用が約 6 割を占めた。

月別の利用者数では、8 月以外はどの月も見込みを上回り、年間を通じてコンスタントに利用実績があった。特に、冬季（1 月～3 月）は 1 日平均 140 人以上の利用があり、降雪量が少なく気候が安定していたことが利用者数の大幅な増加に繋がったと捉えている。

個室利用は、一般者は前年度より減少したが 60 歳以上の増加が大きかったため、トータルで 3 桁の増加となったが、大広間利用は全く実績がなかった。

時間帯別の利用においては、早朝を除く 9 時から 20 時までは、どの時間帯も平均して利用者が増加した。

低料金なことに加えて、館内外の４Ｓ（整理・整頓・清潔・清掃）に努めたことや来館者からの様々な苦情や要望について、丁寧に対応し不便の解消と利便性の向上が図られるよう取り組んだ結果、来館者から以前より良くなったとの声を聴くことができた。

また、施設の機能として、公共機関から発信された高齢者関係の様々な情報を館内に掲示や配置し、来館者に伝わるよう取り組んだ。

令和２年１月からは、受動喫煙による健康被害防止対策に基づき敷地内禁煙としたが、事前に館内に制度内容について掲示をしたことで、喫煙する利用者からの苦情もなくスムーズに移行できた。

入浴を楽しんでもらうために、７月２７日（土用の丑の日・レモン湯)と１１月２６日(いいふろの日・リンゴ風呂)を実施し、平成３０年度と同様に多くの利用があり、好評を得た。

令和２年度は、利用者数の増加により設備機器の消耗劣化の進行や浴室環境の汚染等を予測し、衛生的な環境を維持するための対応を躊躇なく実施しながら、安全で気軽に利用でき、市民の方々に親しまれる施設運営に取り組んでいく。

令和 2 年 3 月 31 日

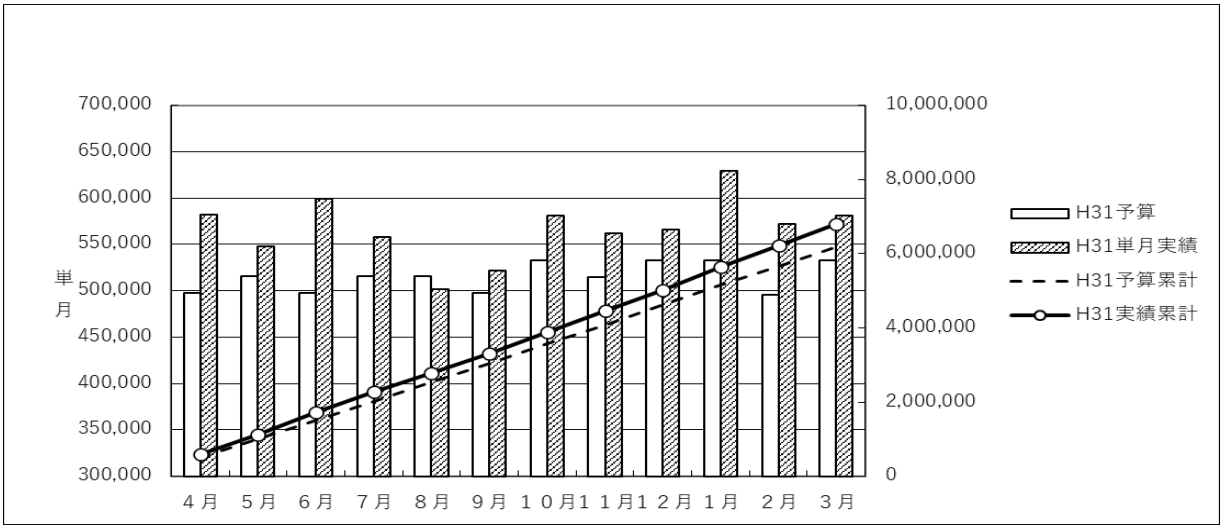
大館市立老人福祉センター

所長　花田　繁盛

1. 月別・利用区分別利用実績表

R1			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年	前差
入浴	60才～		3,459	3,380	3,461	3,271	3,014	3,086	3,433	3,558	3,494	3,743	3,350	3,602	40,851	37,930	2,921
	一般		263	260	236	221	240	229	230	233	235	278	245	281	2,951	2,739	212
	子供		3	2	2	3	16	1	1	1	15	10	1	3	58	82	-24
	計		3,725	3,642	3,699	3,495	3,270	3,316	3,664	3,792	3,744	4,031	3,596	3,886	43,860	40,751	3,109
休憩	個室	60～	97	111	147	129	61	98	124	93	129	112	143	137	1,381	1,231	150
		一般	6	2	14	9	2	6	4	3	0	12	4	6	68	96	-28
		子供	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	103	113	161	138	63	104	128	96	129	124	147	143	1,449	1,327	122
	大広間	60～	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	-4
		一般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		子供	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	-4
身障等無料			75	87	69	85	60	207	83	68	62	71	74	86	1,027	908	119
合　計			3,903	3,842	3,929	3,718	3,393	3,627	3,875	3,956	3,935	4,226	3,817	4,115	46,336	42,990	3,346
来館者数	6～9時		629	626	655	639	624	592	619	584	537	587	507	640	7,239	7,169	70
	9～12時		716	704	808	668	556	643	729	772	893	1,000	889	868	9,246	8,360	886
	12～15時		809	833	832	750	621	727	869	929	951	1,059	883	932	10,195	9,458	737
	15～18時		1,127	1,130	1,079	1,087	1,060	1,113	1,150	1,100	1,009	1,052	1,023	1,083	13,013	12,085	928
	18～20時		622	549	555	574	532	552	508	571	545	528	515	592	6,643	5,918	725
回数券使用数	60才～		2,126	2,112	2,163	2,025	1,944	2,027	2,158	2,282	2,285	2,386	2,191	2,350	26,049	23,580	2,469
	一般		82	92	67	64	59	64	82	69	70	78	71	74	872	772	100
回数券販売数	1500		13	13	16	21	13	18	14	22	21	13	22	16	202	194	8
	3000		90	82	91	82	83	83	93	86	85	101	88	87	1,051	957	94
	(一)2300		8	8	7	9	4	7	7	5	8	7	7	7	84	70	14

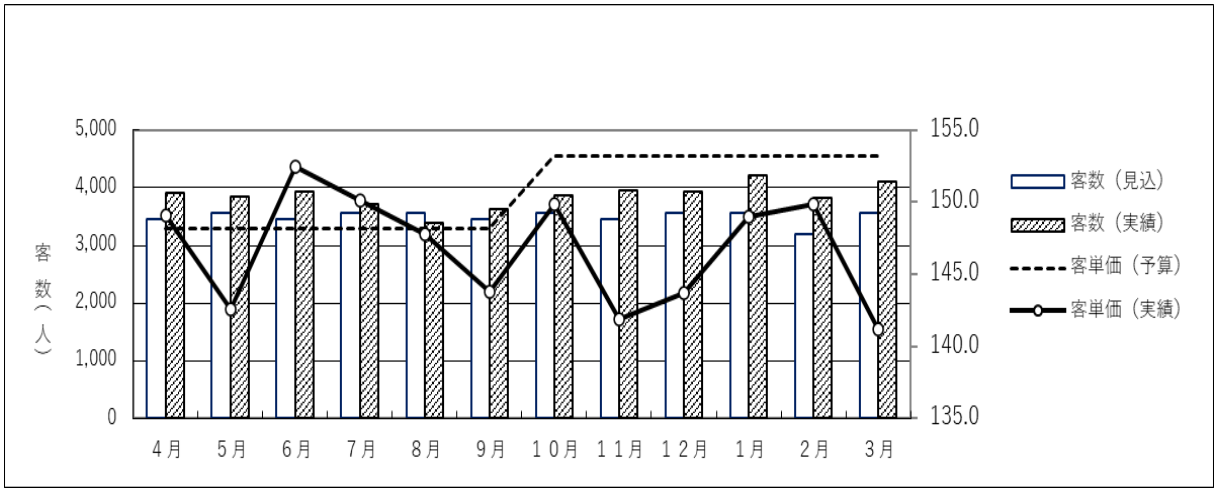
2. 売上高、単月・累計



単位：円

	予算	収入実績	予算対比	予算累計	実績累計	累計対比
4月	497,476	582,070	117.0%	497,476	582,070	117.0%
5月	515,243	548,000	106.4%	1,012,719	1,130,070	111.6%
6月	497,476	599,230	120.5%	1,510,195	1,729,300	114.5%
7月	515,243	558,100	108.3%	2,025,438	2,287,400	112.9%
8月	515,243	501,510	97.3%	2,540,681	2,788,910	109.8%
9月	497,476	521,530	104.8%	3,038,157	3,310,440	109.0%
１０月	532,614	580,530	109.1%	3,570,771	3,891,260	109.0%
１１月	514,248	561,450	109.2%	4,085,019	4,452,710	109.0%
１２月	532,614	565,550	106.2%	4,617,633	5,018,260	108.7%
1月	532,614	629,550	118.2%	5,150,247	5,647,810	109.7%
2月	495,882	572,000	115.4%	5,646,129	6,219,810	110.2%
3月	532,614	581,100	109.1%	6,178,743	6,800,910	110.1%

3. 利用者数、客単価（前年比較）



	客数 見込	客数 実績	客数 対比	客単価 予算	客単価 実績	客単価 対比	一日当り 平均客数	営業 日数	備　　考
4月	3,449	3,903	113.2%	148.2	149.1	100.6%	139.4	28	
5月	3,572	3,842	107.6%	148.2	142.6	96.2%	132.5	29	
6月	3,449	3,929	113.9%	148.2	152.5	102.9%	140.3	28	
7月	3,572	3,718	104.1%	148.2	150.1	101.3%	128.2	29	7/27 レモン湯
8月	3,572	3,393	95.0%	148.2	147.8	99.7%	117.0	29	
9月	3,449	3,627	105.2%	148.2	143.8	97.0%	129.5	28	9/16 敬老の日無料日
１０月	3,572	3,875	108.5%	153.2	149.9	97.8%	133.6	29	
１１月	3,449	3,956	114.7%	153.2	141.9	92.6%	141.3	28	11/26 りんご湯
１２月	3,572	3,935	110.2%	153.2	143.7	93.8%	135.7	29	12/31 短縮営業（11 時間）
1月	3,572	4,226	118.3%	153.2	149.0	97.3%	145.7	29	1/1 短縮営業（12 時間）
2月	3,205	3,817	119.1%	153.2	149.9	97.8%	141.4	27	
3月	3,572	4,115	115.2%	153.2	141.2	92.2%	141.9	29	
計	42,005	46,336	110.3%	150.7	146.7	97.3%	135.5	342	

令和元年度　大館市ふれあいセンターやまびこ　事業報告

ふれあいセンターやまびこは、保育事業、放課後児童クラブ事業をはじめ、幼児から高齢者までの各年代層が気持ちよく利用できる生きがいづくりや健康づくりの場として、関係各施設や地域と連携を図りながら、利用者の側に立ったサービスに努めてきた。

令和元年度の利用者数は 18,840 人と平成 30 年度より 2,868 人減少した。そのうち屋外の子ども広場・ふれあいの森公園の利用は 222 人減少し、屋内の施設でも放課後児童クラブ「にこにこクラブ」が 1,015 人減少した。中学生を含む一般の利用者も 456 人減少したが、その大きな理由としては森のおうちの入園者が 7 人に減少した影響が大きいと思われる。

森のおうちは令和元年度限りで閉園したが、今後はやまびこの施設設備の充実を図りながら、交流の場としての機能を一層発揮していく。また、地域や関係各機関との連携を強め、利用者及び市民の要望に応えられるよう努めていく。

《利用状況》

(1) 幼児から高齢者までの多世代交流事業は、成章小学校、十二所保育園や老人福祉施設への働きかけを行い、交流事業を実施してきた。生きがい・健康づくりの場として実施しているフラワーアレンジメント教室、屋外のグランドゴルフも好評を得ている。引き続き活動の場を提供していきたい。

(2) 「森のおうち」、「にこにこクラブ」の行事は、入所者はじめ地域の方々の参加も多かった。今後も広報活動も含め、一層充実した活動内容にしていきたい。

(3) 「にこにこクラブ」については、登録児童数が 50 人前後で推移している。今後は、活動のメニューやプログラムを多彩にするなど工夫を凝らし、児童が楽しく過ごせる環境になるよう努める。

令和２年３月３１日

大館市ふれあいセンターやまびこ

管理者　渡部　清美

1. 令和元年度　ふれあいセンター利用状況調べ

令和２年３月３１日現在（各月の下段は前年度実績）

月	成章保育ルーム森のおうち	にこにこクラブ	幼児	小学生	一般中学生含む	子ども広場ふれ森公園	見学	計	主な利用団体及び事業
4	133	636	213	77	210	390	0	1,659	フラワーアレンジメント･十二所グランドゴルフ・森のおうち入園式・にこにこクラブ開講式
	218	665	255	123	269	478	0	1,998	
5	129	493	314	102	287	1,129	8	2,462	十二所グランドゴルフ・フラワーアレンジメント・城南保育園分園・錦木保育所
	230	645	282	71	269	1,174	10	2,665	
6	141	560	169	50	260	426	5	1,611	十二所グランドゴルフ・フラワーアレンジメント・鹿角あおぞらこども園・早口小・花輪にこにこ保育園・こどもプラス
	250	666	162	82	269	755	0	2,184	
7	162	672	188	68	168	528	14	1,800	十二所グランドゴルフ・フラワーアレンジメント・成章小
	220	732	135	73	196	344	0	1,700	
8	138	590	195	63	174	477	21	1,658	十二所グランドゴルフ
	220	729	215	69	214	484	3	1,934	
9	145	514	158	28	252	890	4	1,991	有浦小・釈迦内保育園・扇田保育園子育て支援センター・成章小・十二所保育園
	209	552	234	98	312	799	7	2,211	
１０	156	615	195	26	151	880	4	2,027	花岡保育所・川口小・十二所保育園・八幡子ども園・東館小・城南子育て支援室・比内支援学校・扇田小
	228	726	158	56	172	933	0	2,273	
１１	148	583	177	72	143	343	7	1,473	フラワーアレンジメント
	226	691	169	51	174	355	0	1,666	
１２	156	560	98	25	109	23	0	971	フラワーアレンジメント・包括おおたき健康教室
	223	587	129	39	215	19	0	1,212	

月	成章保育ルーム森のおうち	にこにこクラブ	幼児	小学生	一般中学生含む	子ども広場ふれ森公園	見学	計	主な利用団体及び事業
1	128	552	170	36	154	0	8	1,048	フラワーアレンジメント
	204	600	140	66	137	11	0	1,158	
2	135	517	173	57	162	2	2	1,048	フラワーアレンジメント
	204	575	126	32	146	0	0	1,084	
3	146	519	142	31	131	111	12	1,092	包括おおたき健康教室・森のおうち卒園式・にこにこクラブ閉講式
	206	668	275	105	300	69	0	1,623	
計	1,717	6,811	2,192	635	2,201	5,199	85	18,840	
昨年	2,639	7,826	2,280	865	2,657	5,421	20	21,708	
前年比	△922	△1,015	△88	△230	△456	△222	65	△2,868	
備考	・各月の下段（数字）はH30年度の利用人数								

2. 令和元年度　にこにこクラブ　事業報告

月	行　事　内　容	参　加　人　数
4	５（金）にこにこクラブ開講式 １５（月）避難訓練 １７（水）新入生を迎える会	４３人、保護者等１１人 ３２人　森６人 ４０人
5	１３（月）じゃがいも植え １３（月）交通安全教室 １４（火）防犯訓練 ２２（水）さつまいも植え	１４人 １４人　森７人 ２１人　森７人 ３３人
6	１２（水）おやつ作り(ホットケーキ) １９（水）避難訓練 １９（水）～２６（水）七夕の飾り作り ２６（水）誕生日会（４・５・６月生まれの人）	２９人 ３５人 ３１人

月	行　事　内　容	参　加　人　数
	２７（木）防犯訓練	３１人　森７人
7	5（金）七夕集会 １０（水）避難訓練 １２（金）夕涼み会 ２３（火）じゃがいも掘り ２５（木）カレーライス　クッキング ３１（水）どろ団子作り	１８人 ３５人 ４０人、保護者等４１人 ４０人 ４６人、保護者５人 ３３人
8	3（土）事業団［夏まつり］ 7（水）流しそうめん大会 ２１（水）総合避難訓練 ２３（金）スイカ割り	 ４４人、保護者１人 ３２人、森７人 ４１人、森７人
9	4（水）おやつ作り（パンケーキアイスのせ） １８（水）誕生日会（７・８・９月生まれの人） ２５（水）避難訓練 ３０（月）野外活動・バス遠足	３３人 ３６人 ３５人 ３２人
１０	1（火）野外活動・さつま芋の収穫 ～　ハロウィーンパーティー衣装作り １１（金）野外活動・焼いも会 １６（水）避難訓練 ３０（木）ハロウィンパーティー	２２人 ３０人 ３１人 ３５人
１１	6（水）防犯訓練 ２０（水）おやつ作り（さつま芋餃子） ２７（水）誕生日会（１０・１１・１２月生まれ）	２８人 ２８人 ３０人
１２	１１（水）避難訓練 ２５（水）クリスマス会 ２７（金）にこにこクラブ忘年会	２０人 ３４人 ３３人
1	4（土）令和２年度にこクラ会員募集開始 7（火）昔遊びの会 8（水）避難訓練 １０（金）作って食べよう会(だまっこ鍋)	 ３５人 ３４人 ３９人
2	3（月）節分（大滝温泉「どんと祭」参加） 5（水）避難訓練（暴風雪・着衣訓練） ２６（水）誕生日会（１・２・３月生まれ）	３０人 ３０人、森７人 ３０人
3	3（月）ひなまつり会・お茶会 １１（水）避難訓練 １９（木）にこにこクラブ閉講式 ２５（水）肩たたき会（中止） ２７（金）お別れ会	２７人 ２４人 ３８人 ３４人

3. 令和元年度　成章保育ルーム森のおうち事業報告

月	日（曜）	行　　事	参　加　者	参加人数
4	4日（木）	・入園式	入園児７・保護者１０・来賓８	25
	１５日（月）	・やまびこ合同避難訓練	園児６・にこにこクラブ22	28
5	１３日（月）	・保育参観日	園児７・保護者５・警察署員２	14
	１４日（火）	・やまびこ合同防犯訓練	園児７・にこにこクラブ21	28
	２２日（水）	・さつまいも苗植え(全園児)（世代間交流会）	森のおうち・市内各保育所・各町内寿壮会（老人クラブ）	7
	２８日（火）	・春ピクニック	園児７・職員５	12
	２９日（水）	・誕生会（４.５月生まれ）	園児７	7
6	１４日（金）	・親子遠足	園児７・保護者６・引率職員５	18
	２１日（金）	・歯科検診	園児７・保護者５・歯科医・衛生士	16
	２１日（金）	・成章学区保・小連携委員会	森職員２・十二所保職員３・小学校４	9
7	１２日（金）	・合同夕涼み会	全園児・保護者・にこにこクラブＯＢ・その他地域の方々	108
	１７日（水）	・５歳児交流 川遊び	森園児３・十二所園児７職員５（森２、十二所３）	15
	２６日（金）	・５歳児花輪市民プール	園児３・職員２	5
8	1日（木）	・成章中学校生職場体験	成章中生２	2
		・サッカー教室（5歳児交流）	森５歳児３・十二所５歳児７指導者２・引率森１　十二所３	16
	３日（土）	・５歳児お泊まり保育　事業団夏祭り	森園児３・成章小１年生５・職員２	10
	８日（木）	・５歳児花輪市民プール	園児３・職員２	5
	２１日（火）	・合同総合避難訓練	園児７・にこにこクラブ32	39
	２３日（金）	・スイカ割り	園児７・にこにこクラブ41	48
	２９日（木）	・サッカー教室（5歳児交流）	森５歳児３・十二所５歳児７指導者２・引率森１　十二所３	16
9	１２日（火）	・保小ふれあい交流会（5歳児）	森５歳児３・十二所保７成章小１年９　引率職員８	27
	１８日（水）	・つくし苑敬老会	4，５歳児４　引率職員２	6
	１９日（木）	・誕生会（7・9月生まれ）	園児７	7
	２８日（木）	・森･十二所保 合同運動会	森、十二所保全園児、保護者150鳳鳴高校野球部26名、来賓８	210
１０	1日（火）	・秋の健康診断	２,４歳児４　嘱託医１	5
	4日（金）	・秋ピクニック	全園児７　引率職員７	14
	9日（金）	・さつまいも掘り（世代間交流事業）	全園児７　引率職員６	13
	１１日（金）	・成章小就学時健康診断（５歳児）	５歳児３　保護者３	6
	２９日（火）	・総合避難訓練（にこクラ合同）	森園児７・にこにこクラブ35・職員６	48
	３０日（水）	･ハロウィンパーティー	森園児７・にこにこクラブ35	42
１１	５日（火）	･５歳児体験入学	森園児３・十二所７　引率職員５	15
	２２日（金）	・デイサービス大滝訪問	全園児７　引率職員３	10

月	日（曜）	行　　事	参　加　者	参加人数
	２９日（金）	・親子虫歯予防教室	全園児７　保護者５　歯科医衛生士４	16
１２	２１日（土）	・お楽しみ会（お遊戯会） クリスマス会	全園児　保護者　来賓 ケアハウス	30
1	７日（火）	・にこにこクラブ昔遊び	全園児	7
	８日（水）	・にこにこクラブ一日体験(５歳児)	５歳児３名	3
	９日（木）	・一年生との交流（森 OB 会）	一年生５名	5
	２９日（水）	・保育参観（餅つき会）	全園児７名　保護者８名	15
2	３日（月）	・節分豆まき	全園児７名	7
	２１日（金）	・成章小交流会(５歳児)	５歳児３名　引率職員２名	5
3	１８日（水）	・卒園式、修了式 閉園式	園児７名　保護者 13 名 大館市長、部長、課長	23

白抜…保護者参加行事

令和元年度　大館市へき地保育所　事業報告

へき地保育所は、地域の幼児教育施設として、住民から信頼され、地域に根ざした保育所としての役割を果たしてきており、保護者や地域住民の協力を得て、保育事業を行ってきた。

令和元年度も、社会やご利用者のニーズに対応できる、質の高い保育を目指してきた。特に発達上課題が見られる幼児に対する配慮や、２才児保育の充実などを重点課題として、保育士の確保に努め、保育補助員を配置しながら保育を進めてきた。

また、保育実習・保育体験の受け入れや地域の介護保険事業所への訪問、地域の行事への参加などふれあいの機会を大切にしてきた。

そして、令和２年３月には５歳児合計４２名が卒園し、小学校入学に向けて夢と希望をもって巣立っていった。

今後も質の高い保育を提供できるよう、保育環境の整備、職員の研修の充実を図りながら保育事業を推進していく。

令和２年３月 31 日

大館市へき地保育所
管理者　渡部　清美

1.　令和元年度保育所児童数

令和２年３月 31 日現在

単位：名

№.	保　育　所　名	２歳児	３歳児	４歳児	５歳児	計
1	二井田保育所	5	6	4	5	20
2	真中保育所	1	5	4	3	13
3	下川沿保育所	8	4	9	5	26
4	沼館保育所	7	5	5	7	24
5	花岡保育所	3	3	4	7	17
6	矢立保育所	0	1	2	5	8
7	長木保育所	16	11	21	10	58
	合　　計	40	35	49	42	166

令和元年度　年間事業報告（二井田保育所）

月	日	曜	行　事　名	参 加 人 数 ・ 内 容 等
4	4	木	入園式・保護者会総会	園児１６名 保護者 25 名 来賓２名
	16	火	新入児歓迎会	園児 17 名　新入児を歓迎して、年長児が手作りプレゼント
	26	金	子どもの日祝会	園児 17 名
5	12	水	保護者草取り奉仕	保護者 26 名　職員２名
	20	月	交通安全教室（大館警察署）	園児 15 名 大館市交通指導隊６名　市民生活課担当職員１名
	22	水	さつま芋苗植・世代間交流事業	年長中児９名・保育士２名
	24	金	保育参観	園児 17 名 保護者 18 名
	24	金	南小学校区保小連絡協議会	1 年生授業参観、協議、情報交換 職員 2 名 教諭 5 名
6	2	日	地区運動会	園児１５名 保護者多数 職員５名
	8	土	運動会	園児１７名　保護者、家族多数・来賓２名 桂桜高校ボランティア部生徒８名 南中学生子どもハローワーク１名
	10	水	交流保育（真中保育所と）	ばら園見学・桂城公園 年長中児９名・職員２名
	12	水	歯科検診	園児１７名・髙橋歯科医師・衛生士
7	5	金	七夕集会	園児１７名
	8	月	個人面談　９日～13 日	全保護者
	17	水	法人合同避難訓練	社会福祉事業団職員７名
	24	木	国際情報学院生インターンシップ（～２６日）	高校生１名
	30	火	保育体験　施設見学 （南小学校教諭）	校長　教諭５名
	30	火	交流保育（真中保育所と）	ブルーベリー摘み 年長中児８名・職員２名
8	7	水	歯みがき指導	園児１７名・南中学生８名・教諭１名・歯科衛生士１名
	20	火	交流保育（真中保育所へ）	年長中児７名・職員２名　お店屋さんごっこ　運動遊び
	27	火	子ども課　要請訪問	保育指導員・保育アドバイザー…３名
9	5	木	ふれあい交流学習	南中２年生 25 名 教諭２名 中学生と交流
	6	金	親子バス遠足	園児 15 名・保護者 17 名 職員５名 秋田内陸縦貫鉄道基地見学
	9	月	交流保育・真中保育所へ	年長中児８名・職員２名　りんご狩り　ひまわりの種収穫
	17	火	超人ネイガー交通安全教室	園児１６名・保護者５名・真中保育所（園児１２名・職員３名）
	16	日	二井田地区敬老会参加	年長中児 14 名・保護者他 30 名・職員４名
	20	木	健康診断	園児 11 名・梅内小児科クリニック医師・看護師
１０	3	水	歩き遠足	園児 16 名・保育士４名
	10	木	さつま芋ほり・世代間交流事業	年長児８名・保育士３名

月	日	曜	行　事　名	参 加 人 数 ・ 内 容 等
１０	15	火	総合防犯訓練	園児 17 名 職員５名
	16	水	南小学校 学習発表会予行参観	年長児８名・職員２名
	18	金	祖父母交流会・焼き芋会	園児 17 名・祖父母 18 名
	23	水	総合避難消火訓練	園児 15 名
	31	木	南小学校 就学時健診	年長児５名
	31	木	ハロウィン楽しみ会	園児 17 名 保護者と町内の方多数、郵便局、公民館
１１	1	金	ふれあい交流会・南小学校	１．２年生と交流 年長児５名 職員２名
	3	日	二井田公民館文化祭	園児 16 名・保護者・家族多数 職員５名
	6	水	親子歯科講習会	園児 15 名・保護者 14 名・髙橋歯科医師・衛生士・技工士
	8	金	祖父母交流会・おにぎり会食	園児 16 名・祖父母と保護者 18 名
	14	木	七五三お祝い	園児 17 名
	19	火	子ども課所内支援	指導員３名・地域連携委員、公民館長富樫氏・南小学校長
１２	7	土	おゆうぎ会	園児１７名　保護者 家族 多数 公民館長富樫氏・南小学校長
	20	金	クリスマス会	園児 17 名・ 保護者１８名・少年自然の家職員１名
1	9	木	保育体験	子どもハローワーク（南小学校４名）
	15	水	交流保育・真中保育所から	園児 20 名 真中保育所年長中小児 職員
	22	水	交流保育・真中保育所へ	年長・中児８名　職員２名
	24	金	体験入学・南小学校	年長児５名 保護者５名　職員２名
	31	金	節分集会	園児 20 名 少年自然の家職員１名
2	6	木	交流保育・真中保育所から	園児 20 名 真中保育所年長中小児１２名 職員３人
	12	水	足型とり	園児 20 名
	13	木	２年度健康診断 入園説明会・新入児面接	健康診断対象児 15 名・新入児保護者２名
	14	金	保育参観 親子お楽しみ会（５歳児）	園児 20 名・保護者 17 名
	20	火	避難訓練 通報引き渡し訓練	園児２０名　職員５名
3	3	火	ひな祭り会	園児 20 名
	4	水	お別れ会	園児 20 名
	5	木	卒園・終了記念写真撮影	園児２０名　職員５名
	6	金	南小学校区保小連絡協議会	連携事業確認 情報交換 職員２名 教諭６名
	14	土	卒園式	卒園児５名　保護者５名　職員６名

毎月の行事　・交通安全指導　・防災避難消火訓練　・防犯訓練　・身体測定　・誕生会

令和元年度　年間事業報告（真中保育所）

月	日	曜	行　事　名	参 加 人 数 ・ 内 容 等
4	4	木	入園式	園児１２名　保護者 10 名 来賓２名
	9	火	新入児歓迎会	園児 12 名　新入児を歓迎し遊戯披露 手作りプレゼント
5	8	水	子どもの日祝会	園児 12 名　会食
	11	土	早朝作業活動	保護者 12 名 職員５名 草取り、草刈
	17	金	交通安全教室	園児 12 名　大館市交通指導隊６名　市民生活課担当職員１名
	20	月	ひまわりの種植え	園児１１名　南小学生（子どもハローワーク） 南小学校長　地域の方　公民館長　公民館所長
	24	金	南小学校区保小連絡協議会	1 年生授業参観、協議、情報交換　教諭５名　職員１名
	25	土	保育参観	園児 12 名　保護者 11 名　参観　制作　ふれあい遊び
	28	火	祖父母交流会	園児 11 名　祖父母 10 名 公民館２名 さつま芋・野菜の苗植え　ひまわりの種植え　ふれあい遊び・会食
6	4	火	歯科検診	園児 12 名 戸田歯科医師・衛生士
	9	日	真中地区運動会	園児１２名 保護者２５名・祖父母　かけっこ おゆうぎ参加
	10	月	交流保育・二井田保育所と	年長中児７名・職員１名 ばら園見学・桂城公園
	22	土	保育所運動会	園児 12 名　保護者祖父母多数　来賓４名 子どもハローワーク（南中学生２名）
7	1	月	個人面談（～3 日）	全保護者　情報交換
	5	金	七夕集会	園児 11 名 七夕由来のお話を聞く
	7	土	保護者プール早朝清掃作業 シルバー人材センター会員草刈り奉仕（真中地区）	保護者 12 名 職員４名 シルバー人材会員１７名
	29	月	保育体験　施設見学 （南小学校教諭）	校長　教諭３名
	31	水	交流保育・二井田保育所と	年長中児７名・職員１名 ブルーベリー摘み
8	1	水	プール参観（～2 日）	保護者他 14 名
	5	月	歯みがき指導・南中学生	園児９名　中学生８名　教諭２名　歯科衛生士１名
	7	水	子ども課　要請訪問	保育指導員１名　保育アドバイザー２名
	9	金	子どもハローワーク（９・１９日）	南中学生４名　保育体験
	20	月	交流保育・二井田保育所から	園児 11 名　二井田保育所年長中児７名 お店屋さんごっこ　運動遊び
	27	火	じゃがいも掘り	園児 10 名
9	9	月	交流保育・二井田保育所から	園児１２名 二井田保育所年長児８人 りんご狩り　ひまわりの種収穫（種…大森山動物園に届ける）
	10	火	交流保育 花岡・矢立保育所から	園児 11 名 花岡・矢立保育所年長中児
9	12	木	健康診断	園児９名　佐々木内科医院医師　看護師

月	日	曜	行　事　名	参 加 人 数 ・ 内 容 等
	13	金	親子バス遠足	園児 12 名　保護者１１名　職員５名 梨狩り 北部シルバエリア
	14	土	真中地区敬老会	園児 10 名　お遊戯披露
	17	火	交流保育・二井田保育所へ 超人ネイガー交通安全教室	園児１１名　職員３名
	19	木	総合避難消火訓練	園児 12 名 大館消防署員３名
	21	土	保護者早朝作業	保護者 12 名　職員５名
	27	金	北教育事務所要請訪問	北教育事務所指導主事１名　大館市保育指導員２名 保育アドバイザー１名
１０	3	木	歩き遠足	園児 12 名　出川の欅方面
	4	金	祖父母交流会（さつまいも掘り）	園児 12 名　祖父母 11 名　ふれあい遊び・会食
	16	水	南小・学習発表会予行参観	年長児３名　職員１名
	18	金	総合防犯訓練	園児 12 名
	25	金	親子歯科講習会	園児 12 名 保護者 11 名 保健所歯科衛生士
	29	火	ひまわりの種贈呈式	園児３名 保護者４名 大森山動物園
	30	水	焼き芋会	園児 12 名
	31	木	南小学校 就学時健診	年長児３名
	31	木	ハロウィン練り歩き	園児 12 名 職員５名 真中公民館・お寺
１１	1	金	ふれあい交流会・南小学校	年長児３名 職員１名　1.2 年生と交流
	10	日	真中地区文化祭	園児１２名　保護者多数　職員５名
	15	金	七五三祝い会	園児 13 名
	30	土	おゆうぎ会	園児 13 名　保護者他多数 いきいき学級会員多数 来賓６名
１２	20	金	クリスマス会	園児 13 名
1	15	水	交流保育・二井田保育所へ	年長中小児 12 名 職員３名
	16	木	お寺見学	園児 13 名
	22	水	交流保育・二井田保育所から	園児１３名　二井田保育所年長中
	24	金	体験入学・南小学校	年長児３名　保護者３名　給食体験
	31	金	節分集会	園児 14 名　少年自然の家職員
2	1	土	保育参観（親子サンドウィッチ会）	園児 11 名・保護者 12 名 子育て講座 講師 菅原光子氏・サンドイッチ会
	3	月	足形取り	園児１３人
	4	火	健康診断・面接・新入所児説明	健康診断対象児１２人　新入児保護者２名
	6	木	交流保育・二井田保育所へ	年長中小児 12 名 職員３名
	19	水	いきいき学級生と交流会	園児 13 名　生き生き学級会員 12 名 公民館２人
3	3	火	ひな祭り会	園児 13 名　ケーキ会食
	5	木	卒園記念写真撮影	園児１３名　職員５名
	6	金	お別れ会	園児 13 名　お弁当会食
	19	木	卒園式	卒園児３名　保護者６名 職員５名

毎月の行事：・交通安全指導・避難訓練・防犯訓練・身体測定・誕生会

令和元年度　年間事業報告（下川沿保育所）

月	日	曜	行　事　名	参　加　者　（人数）　・　内　容　等
4	4	木	入園式、進級式	児童２６名　保護者３９名　来賓７名
	25	木	子どもの日祝う会	児童２５名　弁当会食
5	8	水	じゃがいも種芋植え	児童２６名　祖父母等８名
	9	木	交通安全教室	児童２５名　大館警察署に依頼（２名来所）
	16	木	保育参観、講演会、ＰＴＡ総会	児童２４名　保護者２７名　比内支援学校教育専門監 畠山佳子氏による子育て講話
	23	木	さつまいも苗植え	児童２５名　祖父母等６名
6	2	日	下川沿地区親睦運動会	３・４・５歳児１８名　保護者３０名　かけっこ・フォークダンス
	3	月	個人面談始まる	保護者の都合に合わせた時間で実施
	7	金	親子バス遠足	児童２６名　保護者３４名　能代市子ども館
	13	木	祖父母草取り交流会	児童２６名　祖父母１９名　ロイヤル学級等１０名
	21	金	北教育事務所要請訪問	指導主事２名来所　保育参観後、保育指導
	24	月	ラベンダー摘み	立花ファームで摘み取り体験（2月お茶会にて祖父母へ手作りポプリをプレゼントする）
	25	火	川口小４年生との交流会①	川口小４年生１７名と一緒に七夕飾りつくり・飾り付け 小林地域連携委員笹竹提供
	26	水	沼館保育所との交流	沼館保育所から４・５歳児１２名来所
	27	木	歯科検診	児童２５名　ひがしだい歯科クリニック（斎藤歯科医師）
7	4	木	七夕集会・川口小４年生と交流会②	児童２４名　川口小４年生１７名来所
	8	月	プール開き	
	17	水	PTA 作業奉仕	保護者１０名　園庭草取り・草刈り
	23	火	北教育事務所立入調査（監査）	北教育事務所（中嶋副主幹、佐藤指導員）、子ども課工藤補佐、寺山さん来所
	23～26	火～金	子どもハローワーク	4日間で27名 夏祭りの準備手伝い、当日の出店補助
	26	金	夏祭り	児童２５名　保護者・小・中学生と地域の方々等約１２０名 来賓２名　子どもハローワーク７名
	30～1	火～木	川口小４年生との交流③職場体験	４年生１７名が４日間に分かれて来所　各クラスで保育手伝い
8	1	木	じゃが芋掘り	児童２５名　祖父母等７名
	6	火	子ども課訪問指導	工藤補佐、北林アドバイザー、日景指導員来所　保育指導
	8	木	デイサービスセンターえがお夏祭り	５歳児が招かれ、遊戯披露した後、出店で交流
	20	火	川口小学校の先生方来所交流	川口小学校先生方９名来所　保育を参観後情報交換
	27	火	総合避難訓練	児童２３名　田代分署から６名　地震→火災の想定で避難訓練・消火訓練
	29	木	親子歯科講習会	ひがしだい歯科クリニック斎藤歯科医師他４名来所

月	日	曜	行　事　名	参　加　者　（人数）　・　内　容　等
				虫歯予防の話・ブラッシング指導
9	3	火	下中２年生との交流会	下中２年生 25 名・教師４名来所　準備してきたコーナーで 遊ぶ
	10	火	健康診断	児童 20 名　梅内小児科クリニック医師
	11	水	デイサービスセンターえがお敬老会参加	５歳児５名参加　遊戯を披露し、交流する
	15	日	地区敬老会	５歳児４名参加　遊戯を披露し、お祝いする
	25	水	川口小学校学習発表会予行見学	児童 25 名　見学
１０	5	土	保育所運動会	児童２６名　来賓５名 保護者・祖父母約１２０名（川口小グランド）
	10	木	さつまいも掘り	児童２５名　祖父母等１１名
	16	水	防犯パレード	５歳児５名　保護者・駐在所・地域防犯協会等１８名
	17	木	なかよし遠足	バラ園、桂城公園へ　児童１８名たしろ保育園バス利用 2 歳児は近場で行う
	20	日	地区文化祭	３歳児～５歳児１８名、絵画・遊戯で参加
	23	水	沼館保育所との交流	４・５歳児１４名　たしろ保育園バスで沼館保育所へ
	25	金	防犯訓練	児童２５名　大館警察署より３名・県チャイルドセイフティセンターより３名来所
	29	火	ハロウィーンごっこ	児童２５名　ディサービスセンターえがお・公民館・町内を回る
	31	木	焼き芋会	児童２５名　小林地域連携委員等２名手伝い
１１	6	水	川口小４年生と交流会④	川口小４年生１７名来所　準備してきた遊びのコーナーで交流
	30	土	発表会	児童２６名　保護者約１００名　来賓２名
１２	2	月	下川沿地区合同研修会	下川沿中学校体育館　講師：畠山佳子氏
	3	火	デイサービスセンターえがお慰問	３～５歳児１７名　お遊戯披露し交流
	10	火	法人合同避難訓練（かけつけ訓練）	事業団本部より、10 名来所
	24	火	クリスマス会	児童２４名　少年自然の家にサンタ依頼、ゲーム等
1	14	火	個人面談始まる	保護者の都合に合わせた時間で実施
	24	金	年長児カレー作り	年長児５名野菜切り
	29	水	保育参観日、親子ふれあい体操	児童２５名　保護者２９名 ふれあい体操講師：菅原恵子先生
2	3	月	豆まき	児童２３名　小林地域連携委員（鬼役）
	6	木	Ｒ２年度入所時健康診断・説明会	児童２１名　新入園児４名と保護者 梅内小児科クリニック
	13	木	総合避難訓練(通報)	児童２２名
	19	水	川口小にこにこ交流会	５歳児５名参加　川口小にて一年生と交流
	20	木	お茶と和菓子の会（祖父母交流）	児童２６名　祖父母２２名　ロイヤル学級等１０名 小林地域連携委員　保護者５名手伝い

月	日	曜	行　　事　　名	参　加　者　（人数）　・　内　容　等
	27	木	卒園記念写真撮影	児童２６名
3	3	火	ひな祭り会	児童２５名　おすし弁当会食（各クラスで）
	10	火	お別れ会	児童２１名　プレゼント交換等（各クラスで）
	21	土	卒園式・修了式	児童５名　保護者９名　来賓なし　簡素化して実施

・毎月の行事：交通指導・身体測定・避難訓練・防災訓練・誕生会

令和元年度　年間事業報告（沼館保育所）

月	日	曜	行　事　名	参 加 人 数 ・ 内 容 等
4	4	木	平成３１年度入所式	参加人数：児童２２人とその保護者、来賓
	25	金	子どもの日祝会	ゲームや会食で祝う
5	10	金	ジャガ芋植え	児童・保育士で実施
	20~	月	個人面談開始	降所時間利用（25日迄）
	22	水	交通安全指導	大館市交通指導隊による指導
	23	木	なかよしお風呂	年長７人
	24	金	さつま芋苗植え	地域老人会より１３人参加
6	6	木	なかよしお風呂（4歳児）	年中児5人の参加
	12	水	釈迦内小学校授業参観	年長児担任参観
	18	火	歯科検診	保護者なし　児童２４人が伊藤歯科医の検診を受ける
	19	水	城南保育園分園交流	バラ園にて年長児７人参加交流
	26	水	下川沿保育所交流会	沼館保育所→下川沿保育所へ
	28	金	北教育事務所保育訪問指導	大館市保育・連携アドバイザー参加
7	4	木	桂城小学校授業参観	年長児担任参観
	5	金	七夕集会（祖父日交流）	所父母：１５人　父母：８人参加　ゲームや笹飾り作りを楽しむ
	12	金	親子遠足	秋田犬の里→花善→小坂レールパーク経由で実施
8	1	木	城南保育園分園交流	年長児：５人　長木川にて川遊び
	3	土	夏祭り会	保護者・来賓：３人参加
	5	月	北教育事務所による立ち入り調査	運営管理及び保育状況調査
	8	木	ジャガ芋掘り	農作業、収穫の喜びを体験
	30	金	総合避難訓練	消防署員３人、「地震による調理室からの火災発生」で実施
9	5	木	なかよしお風呂	年少児５人
	10	火	おみこし練り歩き	児童と保護者が町内を練り歩く
	１６	月	釈迦内地区敬老会	３．４．５歳児参加。遊戯披露
	26	木	健康診断	根田内科医　２５人受診
１０	1	火	城南保育園分園交流	沼館保育所にて
	5	土	運動会	園庭において実施
	8	火	大館市子ども課による要請訪問	アドバイザー３人来訪
	10	木	さつま芋掘り	町内老人会６人来訪
	11	金	歩き遠足	中道公園
	17	木	城南小学校学習発表会予行見学	年長児６人参加
			町内老人会交流「サロン」	「運動会ごっこ」で交流を楽しむ
	18	金	東中学校ボランティア	八幡クラブ（老人会）地域交流　7人参加
	23	水	下川沿保育所交流会	下川沿保育所⇒沼館保育所
	29	火	焼き芋会	祖父母２６人参加
	31	火	ハロウィンごっこ	町内7軒を回り、お菓子を頂いた
１１	3	日	町内合同避難訓練	町内、保育所８世帯の参加により実施

月	日	曜	行　事　名	参 加 人 数 ・ 内 容 等
	9	土	地区公民館祭	３．４．５歳児参加。遊戯披露
	12	火	保育参観・歯科講習会	伊藤歯科医による講習
	13	水	大根掘り	
	21	木	町内老人会交流「サロン」	「触れ合い遊び」実施
１２	14	土	遊戯会	来賓・老人会・保護者参加
	24	火	クリスマス会	少年自然の家出前講座活用
1	14	火	個人面談	迎えの時間活用
	16	木	町内老人会交流「サロン」	「正月遊び」実施
	31	金	節分	少年自然の家出前講座活用
2	5	水	令和２年度児童健康診断 入所説明会・面接	新入児２人　在所児１７人受診
	18	火	お別れ会	プレゼント交換他
	25	火	総合避難訓練	「調理室より出火」を想定
3	3	火	雛祭りお茶会	児童のみの実施
	6	金	引き渡し訓練	一斉メール発信による緊急避難を想定した訓練
	14	土	修了式	卒園児7人

・毎月の行事：交通指導・身体測定・避難訓練・防災訓練・誕生会

令和元年度　年間事業報告（花岡保育所）

月	日	曜	行　事　名	参 加 人 数 ・ 内 容 等
4	4	木	入所式・進級式・保護者会総会	児童１８名、保護者１５組、来賓６名
	24	水	子ども読書の会・矢立保育所交流	児童 18 名絵本読み聞かせ、矢立保育所と花岡保育所で年長児交流
5	10	金	地域交流・畑作り、野菜の苗植え	児童 19 名、地域の方７名　野菜の苗植え・種まき・触れ合い交流
	12	日	花岡小学校運動会参加	5 歳児 7 名参加、保護者付き添い、引率 2 名、玉入れ・大玉転がしに 1 年生と一緒に参加
	23	木	保育参観日・子育て講座	講師　幼保推進課花田一雅氏による子育て講座、保護者１5 組参加、矢立保育所と合同、矢立・児童 9 名、保護者 8 名、クラス別懇談会
	29	水	チャレンジデー・地域交流	児童 18 名、工営(株)の方と道路わきのゴミ拾い
6	8～15	土～土	保護者草取り奉仕開始 1 回目	園舎の周囲、保護者の都合のつく時間で
	12	水	子ども読書の会・矢立保育所交流	児童 18 名、絵本読み聞かせ、矢立保育所と交流、ミズの皮むき体験
	14	金	親子バス遠足	児童 17 名、保護者 15 組、職員 4 名、能代エナジアムパーク
	18	火	ローズガーデン、秋田犬会館見学	5 歳児 7 名・4 歳児 4 名・職員 2 名、田代バス利用
	19	水	神山荘シルバーオリンピック参加	18 名参加、遊戯・玉入れ・遊競技参加
	25	火	歯科検診	児童１8 名、こう歯科医師、衛生士 1
7	1	月	保小七夕交流 1 回目	児童 18 名、花岡小学校 2 年生 18 名、教師 2 名、七夕飾り制作
	4	木	保小七夕交流 2 回目	児童 18 名、花岡小学校 2 年生 18 名、教師 2 名、笹飾りを一緒に飾り付ける・ブラックシアター・おやつ
	5	金	年中長児地域交流	大森商店、地域包括センター、神山荘に笹飾りを届け交流
	23～8/2	火～火	子どもハローワーク	花岡小学校 6～2 年生１１名、北陽中学校 2 年生 6 名、国際情報学院中学校 5 名、期間中に 2 名～8 名ずつ、普段の遊び(プール、水遊び)
	19	金	夕涼み会	児童１８名と家族、地域の方々、花岡小校長、昨年度卒園児、子どもハローワーク１５名（中学生 7 名、小学生 8 名）110 名　　出店や手作りおもちゃを楽しむ
8	8	木	子ども課訪問指導	指導員 3 名、花岡小教師 5 名、幼保推進課より 1 名
	28	水	総合避難訓練	児童１７名、消防北分署署員 3 名、避難・煙体験・消火訓練

月	日	曜	行　事　名	参 加 人 数 ・ 内 容 等
9	9～17	月～火	保護者草取り奉仕２回目	園舎の周囲、保護者の都合のつく時間で
9	7	土	敬老会	5 歳児７名、4 歳児４名、引率２名、遊戯と歌（公民館にて）
	10	火	りんご狩り	5 歳児７名、4 歳児４名、引率２名、赤石富樫りんご園、矢立保育所と合同、田代バス利用
	18	水	運動会予行練習	保護者役員お手伝い６名
	21	土	運動会	児童 17 名、保護者と祖父母 85 名、地域の方４名、来賓３名、北陽中学生子どもハローワーク４名、グループホーム神山 15 名
１０	1～15	火～火	個人面談	保護者の都合に合わせて全員行う
	16	水	2.3.4 歳児健康診断	児童１０名、石田内科医師・看護婦１
	18	金	秋の遠足	福祉エリアへ１７名全員、職員４名
	23	水	さつま芋掘り　地域交流	児童１７名と地域の方７名、さつま芋ほり、触れ合い遊び
	29	火	焼き芋会　矢立保育所交流	年長児１７名全員、職員５名　焼き芋・パン作り体験他
１１	3	日	花岡地区産業祭	児童１７名参加　遊戯・歌を披露
	13	水	虫歯予防指導	児童１７名、保護者１６名、こう歯科医師、歯科衛生士２名
	19	火	総合防犯教室	児童１７名、大館警察署から３名
	20	水	りんご狩り	児童１７名、地元の方から毎年招待、６個ずつもらう
１２	7	土	遊戯会	児童１７名、来賓２名、保護者家族 60 名
	13	金	祖父母交流	児童１７名、祖父母１５名、昔遊び、遊戯披露、おやつ会食
	24	火	クリスマス会・地域交流	児童１７名、少年自然の家職員２名、ゲーム他、サンドイッチ会食
1	20	月	保育参観日	児童１７名、保護者１５組、講師　菅原恵子先生の運動遊びの話と親子運動遊び
	21	火	保小新春カルタ大会	年長児７名、花岡小１年生と花岡カルタ、鳥潟会館にて
2	3	金	豆まき	児童１７名、少年自然の家職員１名、ゲーム他
	5	水	花岡小学校１日体験入学	5 歳児４名、引率１名、保護者同伴
	7	金	桂城小学校１日体験入学	5 歳児１名、保護者同伴
	13	木	有浦小学校１日体験入学	5 歳児２名、引率１名、保護者同伴
3	3	火	ひなまつりお茶会	児童１７名、年長児がお茶をたて、みんなでいただく
	10	火	お別れ会	児童１７名、プレゼント交換、お寿司会食
	19	木	卒園式	児童７名、保護者祖１４名、保育証書授与他コロナウイルス対策の為、縮小で行う

毎月の行事　　・身体測定・交通指導・避難訓練・防犯訓練・誕生会(9 月から毎月カレー会食)・絵本読み聞かせ（小学校、矢立保育所との交流の月もある）

令和元年度　年間事業報告（矢立保育所）

月	日	曜	行　事　名	参 加 人 数 ・ 内 容 等
4	5	金	進級式	児童８名　　保護者３名　　来賓１名
	24	水	花岡保育所との交流① （絵本読み聞かせ）	児童８名　往復路線バス利用　花岡保育所で読み聞かせ
5	8	水	矢立小の避難訓練に参加	児童７名
	15	水	交通安全教室（矢立支部に依頼）	児童８名　保護者２名　交通安全矢立支部５名 警察署３名　大館交通安全協会１名
	15	水	～23 日　個人面談	
	16	木	地区祭典（神社参拝）	児童８名参拝　お菓子いただく
	１６	木	じゃがいも種芋植え	児童８名
	22	水	さつまいも・野菜苗植え	児童８名
	23	木	保育参観　花岡保との交流② （講演、鳥潟会館見学）	児童８名　保護者８名　県教育委員会副主幹　花田氏 保護者は講演、児童は交流　終了後、鳥潟会館を見学
6	4	火	石田ばら園、桂城公園	児童８名
	6	木	歯科検診	児童８名　神成歯科２名
	7	金	親子バス遠足（弥生いこいの広場）	児童８名　保護者８名
	11	火	矢立小学校 1､2 年生との交流	児童８名　小学生 13 名
	12	水	花岡保育所との交流③ （絵本読み聞かせ）	児童５名　保育士２名　年長児の交流
	14	金	矢立小学校 1, 2 年生との交流	児童８名　　小学生 13 名　教諭２名
	26	水	矢立小学校と登山	児童５名　矢立小全校児童　風穴⇒男神山
	27	木	子ども課による訪問指導	児童８名　指導員２名　アドバイザー１名
7	１７	水	矢立小学校 2, 3 年との交流	児童７名　小学生 16 名　矢立小へ
	１８	木	ブルーベリー狩り	児童８名
	20	土	夕涼み会	児童７名　保護者 12 名　来賓６名　矢立育成園 13 名 北陽中５名　地域・小学生等多数
8	5	月	プール参観日 (4，５歳児小学校プール)	児童５名　　保護者１名
	5	月	じゃがいも掘り	児童５名
	28	水	大根の種まき	児童８名
	31	土	矢立地区敬老会参加	児童８名
9	5	木	健康診断	児童３名(３、４歳児)　梅内小児科クリニック２名
	10	火	りんご狩り(花岡保育所④、真中保育所との交流)	年長児５名　りんご狩り後、３保育所で交流　花岡保育所と合同でたしろ保育園のバス利用
	２１	土	運動会	児童８名　来賓５名　保護者・祖父母 17 名
	25	水	矢立小学校学習発表会予行見学	児童８名
１０	4	金	歩き遠足（清水町公園）	児童８名　　行きは電車、帰りは路線バス利用

月	日	曜	行　事　名	参 加 人 数 ・ 内 容 等
	16	水	花岡保育所との交流⑤	児童６名　（5 歳児 5 名、3 歳児 1 名）
	17	木	保育参観　（花育体験） 親子歯科講習会	児童７名　保護者６名　　講師　畠澤　美咲子氏 神成歯科２名
	18	金	さつまいも掘り	児童７名
	27	日	公民館祭り	児童８名
	29	火	焼きいも会　花岡保育所との交流⑥	児童 8 名　花岡保育所児童 16 名来所　更生保護女性の会お手伝い４名
	30	水	防犯訓練	児童８名　大館警察署２名
１１	10	日	矢立育成園祭	児童８名　(3～5 歳児)
	16	土	餅つき会(公民館子育て講座)	児童８名　保護者 12 名　　小学生７名　手品あり
	26	火	矢立小学校 1,2 年生との交流	児童８名　矢立小へ
１２	14	土	お遊戯会	児童８名 保護者・祖父母 15 名　来賓６名　育成園 10 名 地域・小学生 10 名
	25	水	クリスマス会・誕生会	児童７名
1	14	火	～１７日　個人面談	5 歳児 5 名
	21	火	引き渡し避難訓練	児童８名
2	3	月	祖父母交流・豆まき	児童８名　祖父母６名　育成園３名
	13	木	1 日体験入学	5 歳児 5 名　　保護者３名　　矢立小へ
	20	木	令和 2 年度入所児健康診断・説明会	2～3 歳児４名(1 名欠)　梅内小児科クリニック２名
	21	金	感謝祭	児童８名　保護者７名　来賓５名
3	3	火	ひな祭り会･お茶会　（手作りピザ他）	児童８名
	12	木	お別れ会･誕生会(カレー会食)	児童８名
	21	土	卒園式・修了式	卒園児５名　修了児３名　保護者 11 名

・毎月の行事　避難消火訓練、防犯訓練、交通指導、身体測定、お誕生会

令和元年度　年間事業報告（長木保育所）

月	日	曜	行　事　名	参 加 人 数 ・ 内 容 等
4	4	木	平成 31 年度入所式	児童 56 名・保護者・来賓/欠席 1 名
	21	日	水交苑お花見会	年長児 10 名・保護者/歌遊戯披露
	27	金	子どもの日祝い会	全児童 52 名（欠 5）/制作したこいのぼりの紹介、歌、お話
5	15	水	じゃが芋種芋植え・祖父母交流会	3.4.5 歳児 46 名・祖父母 23 名/祖父母とふれあい遊び
	21	火	保育参観日・親の会総会	児童 57 名（欠 1）・保護者/ヤマハ音楽講師、クラス懇談会
	22	水	さつま芋苗植え（祖父母手伝い）・ 年長組夏野菜の苗植え	3.4.5 歳児 39 名・祖父母/祖父母手伝い・2 歳児応援 年長児 10 名・年長児祖父母/夏野菜を一緒に植える。
	27	月	3・5 歳児個人面談(～5/30)	保護者の希望で実施
	29	水	チャレンジデーin 大館に参加	児童 54 名参加（欠席 4）/樹海ドームで運動遊びに挑戦
	31	金	親子バス遠足（親の会主催）	全児童 53 名＋保護者/場所…鹿角運動公園アルパス
6	4	火	児童歯科検診	全児童 58 名/大館市立総合病院歯科医師
	7	金	所内研究会	5 歳児指導計画見直し研究（職員 8 名）
	9	日	長木地区運動会	児童・保護者/親子競技・フォークダンス参加
	10	月	長木小学校 1 年生授業参観	職員 2 名。授業参観・情報交換
	12	水	交通安全教室	全児童 53 欠席 5 名/大館警察署員 2 名
	17	月	2・4 歳児個人面談（～6/27）	保護者の希望で実施
	27	木	ロータリークラブ引き渡し式参加	年長児 10 名/郷土博物館
	28	金	年長組お泊り保育	年長児 10 名/大館少年自然の家→29 日（土）
7	1	月	草取り奉仕（～11 日）	保護者/園庭草取り奉仕
	5	金	七夕集会	児童 53 名（欠席 5）/七夕飾り・願い事の紹介・写真撮影
	10	水	保・小交流会 所内研究会	年長児 10 名/長木小 1 年生とシャボン玉遊びで交流 年中組の児童の様子・問題点の意見交換、これからの保育
	11	木	公民館夏のお楽しみ会参加	4・5 歳児 29 名（欠席 2）/公民館で流しそうめん体験・他
	20	金	夕涼み会（親の会主催）	全児童５６名（欠席２）・保護者・卒所児・他、/16：30～18：30 実施
	22	月	4 歳児個人面談（～8/2）	保護者の希望で実施
	31	水	北教育事務所立ち入り調査	北教育事務所主幹・幼保指導員/所長、主任対応
8	1	木	自由保育参観（～2 日）	保護者（1 日 14 名　2 日 10 名）
	6	火	じゃがいも掘り	3・4・5 歳児 30 名・祖父母 12 名/祖父母手伝い、2 歳児応援
	30	金	北教育事務所要請訪問	北教育事務所指導員・市アドバイザー/保育見学・指導助言

月	日	曜	行　事　名	参 加 人 数 ・ 内 容 等
9	1	日	長木地区敬老会参加	年長児 10 名/歌・遊戯披露。
	2	月	親の会草取り奉仕の週	保護者/園庭草取り奉仕
9	8	日	雪沢地区敬老会参加	年中児 18 名（自由参加）
	17	火	水交苑ディサービスのぎく慰問	年中児 19 名/歌・遊戯披露・プレゼントを渡す。
	19	木	公民館長寿学級交流会	全児童 50 名（欠 8）/遊戯披露、ふれあい遊び
	21	日	運動会	全児童 57 名（欠 1）・保護者・来賓/長木小グランド使用。
	19	水	交通安全教室	児童 47 名（欠 5）
	26	木	総合避難訓練（地震・火災）	全児童 52 名（欠 6）・消防士 3 名/AED 確認・水消火器体験
	29	日	水交苑祭参加	年長児 9 名/遊戯披露
１０	1	火	所内研究会	配慮を必要とする児童の保育・助言/保育アドバイザー２名
	2	水	健康診断	2・3・4 歳児 49 名/脊柱運動機能検査含む
	4	金	歩き遠足（郷土博物館）	全児童 57 名（欠 1）/郷土博物館で自然探索、2 歳児天下町
	16	水	さつまいも掘り	全児童 55 名（欠 3）・祖父母 10 名手伝い
	17	木	長木小学習発表会予行練習見学	全児童 52 名（欠 6）/予行練習を参観する
	23	水	やきいも会、保・小交流会	全児童 57 名（欠 1）祖父母 12 名・長木小学校 1 年生/収穫したさつま芋を祖父母と一緒に焼いて食す。１年生と焼き芋準備をした後小学校遊具で交流する。さつまいもを地域に届ける。（三浦木材、公民館、小学校）
	29	火	子ども課所内研究支援	子ども課アドバイザー2 名・小学校長・公民館長・民生委員他
	30	水	防犯実施訓練・防犯教室	児童 50 名（欠 8）/大館警察官・サポーターによる訓練
	31	木	ハロウィンごっこ 所内特別支援委員会会議	児童 57 名（欠 1）/公民館と小学校を回る 発達支援を必要とする児童の経過観察・報告/職員 4 名
１１	6	水	防犯避難訓練・防犯教室	全児童 56 名（欠 2）/大館警察署・スクールサポーター
	15	金	親子歯科講習会	児童 54 名(欠 4)/医師の講話・磨き方指導
	17	日	長木公民館祭	年長児 10 名/遊戯披露
	18	月	フッ化物洗口指導	年長児 10 名/フッ素洗口確認・お話/健康課歯科衛生士
１２	7	土	発表会	児童 56 名（欠 2）・保護者・来賓/遊戯・劇披露
	11	水	保・小交流会	年長児 10 名/長木小 1 年生と自然物遊びで交流
	12	木	杉ツリー贈与	児童 49 名（欠 9）/米代東部森林管理署より提供・飾りつけ
	17	火	祖父母交流会	児童 51 名（欠 7）/遊戯披露・ふれあい遊び・弁当会食
	19	木	認知症カフェ慰問	年長児 10 名/公民館へ認知症カフェ慰問/遊戯・ふれあい

月	日	曜	行　事　名	参 加 人 数 ・ 内 容 等
１２	20	金	クリスマス会	児童 57 名（欠 1）/少年自然の家職員のサンタと記念写真
１２	23	月	ショートステイとんぼ慰問→24 日	年長児 10 名/歌・遊戯披露、プレゼントをいただく
	29	日	年末年始休み	～1/3
1	17	金	保育参観日・親の会・フッ素洗口	児童 57 名（欠 1）・保護者/山本多鶴子先生講話/健康課
	20	月	５歳児個人面談（～22 日）	保護者の希望で実施
	28	火	避難訓練（引き渡し訓練）	児童 53 名（欠 5）降所時に引き渡し用紙に記入
	29	水	令和２年度入所児童健康診断・面接	令和２年度入所児童 48 名・新入児保護者/健康診断・面接
2	3	月	豆まき会（鬼役…少年自然の家職員）	児童 55 名（欠 3）/豆まき・お話/感染症により各クラスに分かれて行う
	4	火	総合避難訓練（通報訓練） 法人駆けつけ訓練	児童 53 名(欠 5)/避難誘導と通報の訓練をする。 法人への駆けつけ訓練の要請・反省
	6	木	卒園記念写真撮影	児童 55 名（欠席 3）/欠席児童後日取り直し
	7	金	保・小交流会	年長児 10 名/長木小 1 年生との交流会・学校探検他
	12	水	お別れ遠足	年長児 10 名/電車体験・いとくランチ・おやつ購入体験
	13	木	バイキング会食	児童 56 名（欠 2）/親の会補助により会食、年長盛り付け
	15	土	R2 年度入所説明会	新入所児童保護者/保育方針・内容・持ち物説明
	25	火	秋田犬とのふれあい	児童 49 名（欠 9）/ふるさわ温泉秋田犬はなちゃん触れ合い
3	3	火	ひな祭り会 保・長木小情報交換	児童 51 名（欠 7）/感染症を受けて各クラスごとに行う。 年長組担任/新 1 年生情報交換
	10	火	お別れ会	児童 54 名（欠 4）/親の会お弁当会食・プレゼント交換
	13	金	修了式	２・３・４歳児クラスで修了式を行う。/証書の手渡し
	14	土	卒園式	卒園児 10 名/保育証書授与、他　感染症により縮小挙行
	25	水	所内特別支援委員会会議	発達支援を必要とする児童の経過観察・報告/職員 4 名

毎月の行事：誕生会、交通安全指導、避難訓練、防犯訓練、シーツ洗濯、布団・内ズック持ち帰り、絵本配布、絵本代集金